



報 會 師 劑 藥 沖 繩

No.307. 2021(令和3年) 3・4月号



沖 繩 県 薬 劑 師 会

目次

トピックス	新型コロナウイルス ワクチン専門電話相談業務開始 …………… 大城喜仁 (1)
寄附・支援金	沖縄県交通遺児育成会募金贈呈式報告…………… 大城喜仁 (2)
表彰	沖縄県公衆衛生大会知事表彰 (新川重一先生) …………… 長嶺勇作 (3)
巻頭言	医薬品卸の使命と役割…………… 島袋さゆり (4)
総会	第83回臨時総会開催…………… 大城喜仁 (5)
総会資料	令和3年度事業計画および令和3年度収支予算…………… (8)
	令和3年度会費額、その他議題資料 …………… (21)
医療安全対策	令和2年度医療安全講習会開催 …………… 安次富唯 (25)
健サポ推進	薬剤師の臨床判断に基づく要指導医薬品・一般用医薬品の適正販売等に関する研修会… 阿嘉秀寅 (28)
地域保健	令和2年度薬剤師認知症対応力向上研修報告 …………… 中尾滋久 (30)
	令和2年度自殺予防対策事業ゲートキーパースキルアップ研修会報告 … 島袋さゆり (31)
女性薬部会	女性薬剤師部会主催 第31回漢方講座 …………… 与儀和子 (33)
学薬部会	令和2年度学校薬剤師九州ブロック連絡会議 …………… 知名博樹 (36)
県民の皆様へ	あまくま薬立つ情報…………… (38)
DI	薬事情報おきなわNo. 264…………… 薬事情報センター (39)
公示	一般社団法人沖縄県薬剤師会監事選挙に関する公示…………… 亀谷浩昌 (58)
告示	一般社団法人沖縄県薬剤師会代議員選挙結果の告示について…………… 亀谷浩昌 (59)
薬草学	身近な薬草を知ろう 第49回 スタジイ：イタジイ…………… 狩俣イソ (60)
リレー随筆	NAHAマラソン…………… 宮本直樹 (62)
薬連だより	自由民主党沖縄県選挙区支部長との意見交換会開催…………… 大城喜仁 (64)
	令和2年度若手薬剤師フォーラム開催 …………… 大城喜仁 (66)
	沖縄県薬剤師連盟役員会議開催…………… 大城喜仁 (67)
	政幸だより～コロナ禍でもできることを着実に～・～全国支部訪問が始まりました～ … 神谷まさゆき (68)
	本田あきこ オレンジ日記 ～新型コロナワクチンの接種に向けて～・～自殺対策強化月間～ … 本田顕子 (70)
	国会レポート ～第204回通常国会開会～・～来年度予算案審議は参議院へ～ … 藤井基之 (71)
	次期参院選組織内統一候補に聞く：転載記事…………… (72)
	現場に向き合う、参院「不安勉強会」～生き心地の良い社会へ：転載記事…………… (76)
転載記事	「沖縄の薬剤師」魅力発信～人材確保へ県薬剤師会～人口比全国最少の打開図る～ (77)
	沖縄県難病相談支援センター 難病情報誌「アンビシャス」連載記事 …… 吉田典子 (78)
	県内医療者4団体 交通遺児に61万円…………… (80)
ぶれいくたいむ	「新聞小説楽しみ」：転載記事…………… 新垣正次 (80)
	薬草園だより…………… 与儀和子 (81)
理事会	令和2年度第10回理事会議事概要 …………… (82)
	令和2年度第11回理事会議事概要 …………… (85)
計報	仲吉文男先生、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。…………… (84)
会務報告	令和3年1月～3月分 …………… (92)
	沖縄県薬剤師連盟会務報告 (令和3年1月～3月分) …………… (95)
国保・社保	令和3年度診療 (調剤) 報酬等の受付締切日等について …………… (96)
医療保険	調剤報酬請求業務Q&A：調剤報酬請求業務質問票…………… 医療保険委員会 (98)
会員作品	誌上ギャラリー (裏表紙) について…………… (100)
編集後記	…………… (100)
お知らせ	日本薬剤師研修センター薬剤師研修・認定電子システム (PECS) への登録…………… (3)
	Facebookをご覧ください！…………… (28)
	地区・部会からの原稿をお寄せ下さい！…………… (35)
	県薬が会員に販売している印刷物等…………… (35)
	医療薬学フォーラム2021・第29回クリニカルファーマシーシンポジウム…………… (57)
	沖縄県薬剤師連盟Facebookをご覧ください！…………… (67)
	会報原稿募集のご案内…………… (81)
	会員にかかる弔事に関する薬剤師会への連絡について…………… (84)

・表紙

「フランスの薬局」 photo by 成川玲子 (有限会社成和興産)

とよ ひら ほう うん
題字：豊平峰雲

トピックス

新型コロナウイルス ワクチン専門電話相談業務開始

新型コロナウイルス感染症に係るワクチンの接種に当たっては、国及び自治体において相談体制を確保していくことが重要であるため、国の新型コロナワクチンコールセンターが令和3年2月15日に開設された。その後、各自治体においてもコールセンターまたは相談窓口の設置により、住民や医療機関等からの問い合わせに対応する体制の構築が進められた。

沖縄県も同様に新型コロナウイルス感染症対策本部に相談窓口が設置された。対応困難な専門的な相談等に対する体制の確保のため、本会へ「新型コロナウイルスワクチン専門電話相談業務」を委託した。業務内容は、①ワクチン副反応等の医学的知見が必要となる専門的な相談への対応（副反応症状の聞き取りや医療機関の受診案内等）、②県と連絡調整が必要な事案の県担当者への連絡（専門的医療機関の受診調整が必要な場合等）、③対応マニュアルの作成及びマニュアルに沿った相談対応と相談内容の記録、④受診及び対

応件数の集計となっている。

本会では、薬事情報センター委員会が中心となって、同業務に係る薬剤師及び事務員の募集を行い、応募した薬剤師を集めてキックオフミーティングを行うなど、開始に向け積極的に取り組んだ。業務拠点として、本会館に「沖縄県新型コロナウイルスワクチン専門相談センター」を設置し、電話機・備品等のインフラを整備した。

同専門相談センターは令和3年3月15日より、薬剤師・事務員各1名体制で業務開始となった。但し、4月1日から9月31日の期間の土日祝祭日は、薬剤師2名・事務員1名体制となる（平日は薬剤師・事務員各1名体制）。営業時間は、平日・土日祝祭日ともに午前9時から午後5時までである。

なお、本会では、同専門相談センターの業務に係る薬剤師（条件：本会会員）を下記要領にて随時募集している。

（文：事務局 大城喜仁）

【募集要領】

期 間：令和3年3月15日（月）～ 令和3年9月30日（木）

勤務時間：9時～17時（平日・土日・祝祭日）

場 所：沖縄県薬剤師会 薬事情報センター

業務内容：市町村では対応困難なワクチン接種に係る専門的な相談への対応

例) ワクチン接種前の安全性[妊婦、授乳婦・服用中の薬（抗凝固剤、免疫抑制剤等）・基礎疾患等]、有効性情報およびワクチン接種後の副反応等について、相談内容のQ&A作成並びに記録

*参加申込および詳細（手当て等）は、本会ホームページ（会員頁）に掲載。また、質問は、同頁の問い合わせフォームから受け付けている。



新型コロナウイルスワクチン接種専門相談センター開設

寄附・支援金

沖縄県交通遺児育成会募金贈呈式報告

日時：令和3年3月16日（火）14:00～14:20

会場：琉球新報社 応接室



写真左より、真境名勉歯科医師会会長、安里哲好医師会会長、玻名城泰山交通遺児育成会理事長、仲座明美看護協会会長、亀谷浩昌薬剤師会会長

去る3月16日、四師会による沖縄県交通遺児育成会への募金贈呈が、琉球新報社にて行われた。本会は、沖縄県交通遺児健全育成資金造成のため、沖縄県医師会、沖縄県歯科医師会、沖縄県看護協会と協力して、毎年、募金活動を行っている。

四師会会員他、関係者の皆様の温かい支援により、今年度は619,447円の寄附をすることができた。平成2年より寄附を始め、今年で31回目で総額は2151万6821円となった。平成11年度まではチャリティー写真展を開催、その後も寄附を続けるため四師会が協力、各関連施設へ募金箱を設置し、募金活動を行っている。

玻名城泰山沖縄県交通遺児育成会理事長（琉球新報社長）から、「当育成会の事業推進にご理解を頂き、大変貴重な寄附金まで賜り、御礼を申し上げます。この度の尊いご芳志については、遺児達の学業上の不安を和らげ、強く逞しく成長して将来立派な社会人になるよう有効に活用させていただきます。また、新型

コロナウイルス感染症拡大禍で医療従事が逼迫していたにも関わらず、募金活動をされていたことに、重ねてお礼申し上げます。」と挨拶された。

同育成会は、昭和55年より、交通事故で父母を亡くした、または父母が後遺障害を負った小・中・高・特別支援・専門・大学生を対象に“奨学・育成金”等を給付してきた。給付開始以来、現在に至る41年間で、延べ7,104人の交通遺児を支援した。令和2年度は、73人の交通遺児に奨学・育成金、中学校入学・卒業の交通遺児7人に激励金、合わせて延べ80人に対して、7,316,000円の給付を行っている。（文：事務局 大城喜仁）

○令和2年度四師会募金額

沖縄県医師会	469,477円
沖縄県薬剤師会	50,000円
沖縄県歯科医師会	50,000円
沖縄県看護協会	50,000円
合 計	619,477円

沖縄県公衆衛生大会知事表彰



新川重一先生、おめでとうございます



新川氏は、昭和45年に宜野湾市に新川薬局を開局し、薬局経営の傍ら、厚生労働省の事業にて「宜野湾市生活習慣改善まちかど相談所事業」や「宜野湾市回想法“かたりあしばな教師”」などを実施する等、地域住民の健康、病気の予防等に積極的に取り組み、公衆衛生の普及に現在も貢献している。また、昭和47年から宜野湾小・中学校の学校薬剤師に委嘱され、以来、複数の学校を受け持ち、積極的に学校薬剤師活動を行いながら学校環境衛生に係る定期検査や指導助言、薬物乱用防止の講話や禁煙活動を行い、児童生徒の健康保持に取り組まれた。これらの活動が認められ、その業績が顕著である者に贈られる同表彰を受賞した。

沖縄県公衆衛生大会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止により中止となったため、氏の新川薬局にて伝達受賞となった。
(文:事務局 長嶺勇作)

お知らせ

日本薬剤師研修センター薬剤師研修・認定電子システム(PECS)への登録

日本薬剤師研修センターより、研修受講単位の管理、研修会参加の確認、認定薬剤師申請等について、全て電子システム(PECS)での運営を進めているとの通達がありました。

日本薬剤師研修センター認定単位が付与される研修会の受講、認定薬剤師の認定申請等のためには、薬剤師個人がPECSに登録する必要があります。本電子システムは令和3年9月稼働開始(予定)としているため、**令和3年7月末日**までにご登録をお願い致します。

ご登録等につきましては、日本薬剤師研修センターのホームページ、または本会ホームページの日本薬剤師研修センターPECSよりご確認下さい。

■日本薬剤師研修センターホームページ

<http://www.jpec.or.jp/faq/about/ninteitetudukidenshika.html>

【認定手続き等の電子化(お知らせ)】→【2-2 薬剤師のPECS登録(令和3年3月版)】

ご質問等のお問い合わせは、日本薬剤師研修センターへお願い致します。

・質問用メールアドレス: pecs-info@jpec.or.jp

巻 頭 言



医薬品卸の使命と役割

卸勤務薬剤師部会代表理事
島袋 さゆり



医薬品卸の管理薬剤師として勤務していますが、「医薬品卸ってどんなことしているの？薬剤師は必要なの？」と尋ねられることがあります。今回は、「医薬品卸」「医薬品卸の管理薬剤師」の業種について、少し触れさせていただきます。どのような使命を担い、どのような役割を果たしているのか、ご参考になればと思います。

最初に医薬品卸についてですが、その役割は「安定供給」「品質管理」「情報機能」が柱になると考えます。「医薬品の供給」が途絶えることは、患者さまの生命に影響します。医薬品卸の使命として、必要な時に、必要な量を、必要な場所へ、正確・迅速にお届けすることが最大の責務となります。また、医薬品は、メーカー様より出荷されて患者さまに届くまで「品質を確保」されなければなりません。医薬品卸は流通の中間を担う存在として、温度管理、ロット・期限管理など、配送・保管体制を厳格にする必要があります。卸では全商品の「ロット」「期限」をコンピューターで一元管理し、納入した商品の履歴管理ができ、お得意さまからの問合せや商品回収が発生時にも迅速に対応が可能です。この流通経路を、追跡可能性「トレーサビリティ」と呼んでいます。「卸の情報機能」としては、「市販直後調査への協力」「製品情報の配布」や、品質管理にも関わる「商品回収情報の提供」等があり、医薬品の適正使用に貢献できるものと考えます。また、お得意さまからの情報収集をメーカー様へ報告し、品質改善や副作用報告に繋がることもあります。

次に、卸の管理薬剤師についてです。卸管理薬剤師は、医薬品卸売販売業の許可を受けるために必ず設置しなければならない薬事に関わる管理者です。薬機法などに関わる業務推進のための管理、指導、監督にあたる職務権限を付与されています。そして「卸管理薬剤師の業務」は、皆様に安心安全な医薬品等の商品をお届けする「卸の使命を支える」ものだと思います。「品質管理」「薬事管理」「情報の収集・提供」「社員の教育研修」などの業務のなか、やはり重要となるのは、「法令の遵守」「事件事故防止」「適正流通の確保」だと考えます。「法令の遵守」は、卸の信頼を頂くため、医薬品等の品質管理、販売管理について、薬事関連法規を遵守した業務を行っています。「事件事故防止」は、薬事関連事件事故を防止し、健全な経営を支えることで、医薬品等の安定な流通を確保します。「適正流通の確保」は、近年ハーボニー配合錠等で問題となった偽造医薬品の流通防止や、適正使用のため特別な管理が必要な商品などを、適正な医療機関へ届けるための管理を行っています。

最後になりますが、今年8月1日施行の改正薬機法について触れさせていただきます。卸売事業に係る改正薬機法は、「法令遵守の体制整備」が要と捉えられ、卸を取り巻く環境も大きく変わろうとしています。卸がお得意さまと強い信頼関係を得るためにも、マスコミ報道や行政処分など、信頼失墜とならないよう、法令遵守体制を強化して参りたいと考えています。

総会

第83回 臨時総会 開催

日時：令和3年3月21日（日）13:00～14:15

会場：沖縄県薬剤師会館 ホール

第83回臨時総会は、司会の宮城幸枝常務理事が進行した。司会より、代議員には新型コロナウイルス感染症の発生を踏まえた今回の臨時総会開催の取り扱いについて、海外渡航者、感染者への濃厚接触者、発熱や風邪症状がある、体調に不安がある場合等は、参加の自粛を要請、そして、「書面による議決権行使」に基づき委任状提出による出席を依頼し、さらに参加に際しては、マスク着用や手指消毒等の感染予防を心掛け、濃厚接触を避けていただくことを、事前に案内したが、多くの代議員が参加したことへの御礼が述べられた。

開会の辞を中村克徳副会長が述べた。

議長に宜野湾支部の新垣慶朗代議員、副議長には糸満支部の名嘉紀勝代議員が選出され、代議員47名中34名（最終的には36名：2名が遅れて出席。この他に議長へ委任10名：書面による議決権行使）の出席を確認し、議決権定数（代議員総数の過半数）を満たしていることが述べられ、総会の成立を宣言した。

亀谷浩昌会長が、「新型コロナウイルス感染症禍の中、我々を取り巻く状況は厳しい状況が続いている。日本薬剤師会の、そして薬剤師の存在価値が低く見られていることも散見された。世間の評価と我が国の財政状況から今後の医薬分業を考えると、そのあり方に改めて議論が起こる可能性があるかもしれない。これを跳ね返すためには、保険薬剤師はもちろん、会員個々人が医療チームの一員としての価値が認められるよう常日頃から努力しなければならない。薬剤師会としては、外部の協力も得ながら存在意義を世間一般に周知すべく事業を進めなければならない。本日の臨時総会には次年度への多くの大切な事項が掲げられている。しっかり審議していただきたい。」と挨拶し、議題に入った。

報告第1号「令和3年度事業計画について」は、佐藤雅美常務理事が、配布資料に沿って事業計画を滞りなく説明した。各委員会、各支部の事業計画については、特に新規、変更のあった箇所について具体的に説明した。

代議員から「かかりつけ薬局・薬剤師の推進として、地域の薬局・地区薬剤師会FAXコーナーと連携する旨の記載があるが、具体的にどのようなものか。」の質疑に対し、西川常務理事が、「主に、医薬分業対策委員会が主催する、地区薬剤師会担当者・病院薬局長を招いて意見交換する医薬分業対策会議や、FAXコーナー担当者連絡会議がこれにあたる。」と回答した。

報告第2号「令和3年度歳入歳出予算について」は、川満直紀理事より、これら予算は、今年度の収支状況を踏まえ本会顧問税理士を通し、財務委員会においても調整と確認をし、3月理事会にて承認を得ていると先に述べ、資料に沿って一般会計予算、各収益事業部予算（会営薬局うえはら、会営薬局とよみ、試験検査センター、その他事業会計、琉球大学病院FAXコーナー、会営薬局医療センター前）の各会計の経常収益、事業費、正味財産期末残高等を順次説明、特に前年度予算や今年度決算見込額と差額が大きい科目については具体的に説明した。合算内訳予算表より公益事業にあたる実施事業等会計、共益事業にあたるその他会計（会営薬局うえはら・とよみ等）、薬剤師会本体の管理にあたる法人会計について説明した。また、歳入については会費だけに頼らず、収益事業部の収益強化、国や県の補助金の獲得・拡充を図っていることも述べた。

次ページへ続く

＜第83回臨時総会次第＞

1. 開会の辞 (議長・副議長選出)	司 会	常務理事	宮城 幸枝
		副 会 長	中村 克徳
2. 議長・副議長登壇あいさつ (点呼、宣告)		議 長	新垣 慶朗
		副 議 長	名嘉 紀勝
3. 会長あいさつ		会 長	亀谷 浩昌
4. 議題			
報告 第1号 令和3年度事業計画について		常務理事	佐藤 雅美
第2号 令和3年度歳入歳出予算について		理 事	川満 直紀
議案 第1号 令和3年度会費額に関する件		理 事	川満 直紀
第2号 一般社団法人沖縄県薬剤師会予備代議員の選任について		選挙管理委員会委員長	野崎 真敏
第3号 一般社団法人沖縄県薬剤師会会長候補者選挙について		選挙管理委員会委員長	野崎 真敏
		常務理事	金城 雄一
5. 閉会の辞			

議案第1号「令和3年度会費額に関する件」は、川満直紀理事より、各種会費額は昨年度と同じ設定額となっているが、前記報告第2号と同様に本会顧問税理士、財務委員会において調整と確認をし、3月理事会にて承認を得ていると先に述べ、各種会費について説明した。また、会員からの会費は、あるから使うのではなく、節約するところは節約して、国や県からの補助金が利用できるところは補助金を利用し、無駄が無いように、また効率的に事業を行うように心がけるとも述べられた。

議案第1号について、賛成方への挙手を求め、全員挙手にて承認された。

議案第2号「一般社団法人沖縄県薬剤師会予備代議員の選任について」では、名嘉紀勝副議長が、選挙管理委員会の野崎真敏委員長から経緯説明等をさせるため、入室させるよう事務局に指示。登壇した野崎選挙管理委員長が、「本会代議員選挙規程の第20条第1項により、去る令和2年12月理事会にて、予備代議員を選出すること、および予備代議員定数を定めたところ、全選挙区から選出されてきた。同選挙規程第20条第3項により、去る令和3年3月理事会において、全選挙区から選出

されてきた予備代議員について、本日の総会へ提案することが承認された。そこで、同代議員選挙規程第20条第4項により、本臨時総会において選任いただきたい。」と述べた。

議案第2号について、選任することへの挙手を求め、全員挙手にて承認された。

議案第3号「一般社団法人沖縄県薬剤師会会長候補者選挙について」では、議案第2号に続き野崎選挙管理委員長が登壇し、同選挙の経緯説明を次の通り述べた。

「去る令和2年12月14日に亀谷会長名で今回の選挙の公示をした。これは、来る6月20日に開催予定の第84回定時総会とその直後に開催される臨時理事会において選定する、会長（代表理事）に係る候補者を決定するための選挙である。令和2年12月理事会において、同選挙の公示日ならびに選挙期日（本日の臨時総会開催日）等を決定し、本会ホームページ等に会長候補者に関する公示およびスケジュールを掲載した。この公示に基づき、3月5日金曜日の午後5時を以て候補者の届け出を締め切り、選挙規則第6条により候補者一覧表を本会事務所に掲示した。会長候補者には、前濱朋子現理事一人から届け出があった。

届け出に不備はなく、多くの推薦を得てこれを承諾し立候補の届け出をされている。本日執行される会長候補者の選挙については、立候補者数が一人で員数を超していないことから選挙規則第9条に則って、出席の代議員の議決を経て、投票を行わずに、その候補者をもって当選者としていただきたいこと、また、今回の候補者は推薦を承諾して被推薦者として立候補していることから、選挙規則施行細則第9条に則って、立候補者による所信表明はもちろん、推薦代表者による推薦演説を設けていただきたい。」

野崎選挙管理委員長の説明の後、議長と副議長の議事進行により、会長候補者立候補の所信表明と推薦代表者の推薦演説を執行することが宣言された。まず、推薦代表者である村田美智子現常務理事の推薦演説が行われた。

「前濱朋子現理事を推薦するポイントは3つ。第1は、本会学校薬剤師部会的那覇支部長、部会長と歴任し、10年以上も前から現在に至るまで、組織作りからその運営まで中心になって貢献し、同部会の活動を支えてきたこと。第2は、沖縄県薬物乱用防止協会に約10年も関わり、薬剤師の職能を広げている。行政からの信頼も厚い。第3は、本会役員歴が約10年、そのうち副会長として約5年、会員のために会の運営に携わってきた。この間、日本薬剤師会や九州山口薬剤師会の役員の方々とも親交ができ、その人脈は、今後、本会が発展していくうえで重要である。以上より、会長候補者に推薦する。」

そして、会長候補者に立候補した前濱朋子現理事が所信表明をした。

「最初に、地区薬剤師会、女性薬剤師部会、学校薬剤師部会、その他にも多くの会員から推薦をいただいたことに感謝する。新型コロナウイルス感染拡大により、社会情勢が大き



く変わり、それに伴い医療の現場でも厳しさが増している。薬局も例外ではない。しかし、新しい様式に向けて、新たな取り組みが構築されようとしている。これまで、会の役員として様々な会務に関わり、経験したことを活かし、会員との連携はもとより、関係各所との連携も密にし、会の発展に寄与できればと思立候補する。」

その後、代議員、選挙管理委員長、担当事務局員以外を議場から退場させ、議場を閉鎖し、改めて出席代議員数を確認（議長・副議長を含め36名）。選挙管理委員長の説明の通り、出席の代議員の議決を経て、投票を行わずに、立候補者に対して挙手にて当選の承認を得ることになった。

結果、出席代議員全員の挙手を得て承認された。

議長が、退場させていた役員と立候補者を再び入場させ、改めて会長候補者に前濱朋子現理事が選出された旨の報告をした。

滞りなく会を進行させた議長と副議長が降壇した。

司会の宮城常務理事が、本日の臨時総会まで2年にわたり務めた代議員への労いの言葉、そして、次回6月20日に開催される定時総会から新任代議員が務めることを述べた。

閉会の辞は、金城雄一常務理事から述べられ、予定よりも早い閉会となった。

（報告：沖縄県薬剤師会事務局 大城喜仁）

第83回臨時総会資料

<報告第1号 令和3年度事業計画について>

令和3年度沖縄県薬剤師会事業計画

～はじめに～

令和3年は、再度「緊急事態宣言」が発令される波乱の幕開けとなった。新たな変異株も発見されるなど、新型コロナウイルス感染症（COVID19）感染拡大防止対策は、医療関係者と地域住民が一丸となって取り組まなくてはならない課題と言える。感染リスクの高い高齢者、医療従事者を中心にワクチン接種の準備が進められてはいるものの、患者や地域住民への感染防止意識の啓発は薬剤師に課せられた大きな役割と認識しており、地域住民への啓発活動とともに、薬剤師自身が感染防止のための行動を実践し、地域への医薬品提供体制の崩壊を防ぐ活動を進めていく必要がある。コロナ禍にあっても、薬局・薬剤師は医療提供施設として国民に安心・安全な切れ目のない医薬品等の供給を継続していかねばならない。本会は、受診控え等による医療機関、薬局等の経営に大きな影響が出ていること等を踏まえ、地元国会議員や関係行政機関等に対し薬局・薬剤師を支援するために必要な要望を引き続き行っていく。さらに、コロナ禍で診療から薬剤の受取りまでオンラインで完結する仕組みについては、いわゆる「0410 事務連絡」に基づく時限的・特例的な措置としての電話等による服薬指導の結果検証をもとに、医薬品の「安全使用の確保」が損なわれることのないよう、適切なルールの下での体制構築に向けた検討や準備を進める。

一方、少子高齢化が加速する中、2025年を目途に進められてきた社会保障・税一体改革に続いて、現役世代の人口急減と人生100年時代を見据え、全世代型社会保障制度の構築、次世代への継承を目指した改革への取り組みが始まっている。国民皆保険の維持は極めて重要な国民的課題であり、負担と給付のバランスを目指しつつ、自助・公助・共助を適切に組み合わせ、健康寿命の延伸を図ることが求められている。

こうした環境の下で、令和元年12月に公布された改正医薬品医療機器法等では、薬局は「全ての医薬品の供給施設」として再定義された。住民・患者から信頼されて選ばれる「かかりつけ」としての機能を充実・強化し、地域包括ケアシステムにおいて期待される「医薬品の供給拠点」としての役割を果たしていくことが強く求められている。薬剤師に対しても、処方箋の応需・調剤、服薬指導にとどまらず、患者の服薬期間中の適切な薬学的フォローアップを行うことが求められている。薬剤師・薬局には、患者、住民との関わりをさらに深め、必要かつ適切なサービスを提供するとともに、医薬品・医療材料等の供給拠点として、チーム医療の一員として地域医療提供体制に貢献することが一層求められる。本会は医薬品供給や薬学的管理指導、多職種連携等の環境を整備するための各種の取り組みを引き続き推進する。今後は地域包括ケアの進展を見据えて、医と薬の「医薬分業」＝「処方箋」という従来の考え方から脱却し、「地域社会への医薬品提供」の体制を構築していく必要がある。そのため、地域包括ケアシステムの中で地域住民の相談役としての役割を担う、かかりつけ薬剤師・薬局を普及推進するとともに、患者の医療安全確保のため、薬局薬剤師と病院（診療所）薬剤師の連携を一層推進する。

以上を基本として、本年度は、改正医薬品医療機器法の施行に向けた対応の強化と会員への周知徹底、入会促進施策等による組織強化、新型コロナウイルス感染症対策に重点的に取り組むとともに、診療報酬・調剤報酬、介護報酬のあり方、薬剤師養成教育の充実に向けた諸活動、薬剤

師の自己学習・研鑽への支援など、地域住民の健康な生活の確保・向上に寄与するため、以下に掲げる事項に取り組む。

1. 時代の変化に即した社会的ニーズに適合した薬剤師・薬局の在り方

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に揺れた令和2年は、様々な局面で難しい対応を迫られた1年だった。薬剤師・薬局にとっても4月には調剤報酬改定、9月には改正医薬品医療機器等(薬機法)の施行など大きな出来事があった。今回の法改正では、過去130年間変わらなかった薬局の定義が変わり、薬局は「調剤の業務ならびに薬剤および医薬品の適正な使用に必要な情報の提供および薬学的知見に基づく指導の業務を行う場所」と定義された。薬機法改正に伴い、「機能別の薬局認定制度」も令和3年8月から始まり、「地域連携薬局」や「専門医療機関連携薬局」を標榜した薬局ができることになる。これからのwithコロナ、afterコロナの時代は、処方箋枚数がぐんぐん伸びていた時代と違い、患者が住み慣れた地域で安心して医薬品が使用できるように、「患者が自分に適した薬局を選ぶ」仕組みが加速していく。

こうした時代の変化を「薬剤師・薬局」が令和の新たな時代の要請に的確に对应していく転換する機会と受け止め、患者・住民が使用する医薬品の一元的・継続的な薬学管理指導だけでなく、健康等に関する多様な相談に対応し、必要な医薬品や情報を提供する「セルフメディケーションを支援するかかりつけ薬剤師・薬局」の推進に引き続き力を尽くしていく必要がある。

以上を踏まえ、地域包括ケアシステムの構築に向けてその一翼を担うとともに、患者・住民から信頼されて選ばれる「かかりつけ」としての機能と役割を充実・強化していくために、以下の事業を行う。

(1) 安全で有効な薬物治療のための各種研修会の実施

薬剤師が主体的かつ多職種連携の下で専門職能を発揮し、薬物療法の高度化や在宅医療を含む地域医療推進に取り組む。併せて地区薬剤師会との協力のもと、遠隔研修体制を整備し会員サービスのさらなる向上を図る。

一般用医薬品や高度管理医療機器等を含めた服薬情報を一元的・継続的に把握し、薬学的管理・指導が行えるように支援する。

薬機法の改正を周知し、個々の薬局・薬剤師が的確に対応していくことを支援する。

薬剤師の関与が県民の健康増進、地域医療に寄与し、また医療経済的に有用であることを明らかにするための事例収集・調査研究を実施し、その結果を広報する。(日本薬剤師会主導のDEM事業等。)

(2) かかりつけ薬局・薬剤師の推進

① 服薬情報の一元的・継続的把握とそれに基づく薬学的管理・指導、その患者が受診する全ての医療機関の処方情報を把握し、重複投薬や相互作用を防ぐために、ICT（電子版お薬手帳等）を活用できるように支援する。

② 地域の薬局・地区薬剤師会FAXコーナーと連携し、離島へき地などにおいても24時間相談対応、急変時の在宅での調剤対応可能とする体制の構築をする。

(3) 在宅医療支援薬局の普及

地域包括ケアシステムにおいては在宅医療を担う薬局・薬剤師も必要でありながら沖縄県に

においてはなかなか支援できる薬局・薬剤師が増えていないのが実状である。原因は、薬局から外に出る薬剤師の人数が十分でないことに加え、どのように訪問するかがわからないという声に配慮して、引き続き県の予算を獲得して「在宅訪問見学事業」を実施する。

薬局・薬剤師が在宅医療に対応すること自体が目的ではなく、患者や利用者の在宅訪問をすることで薬学的管理・服薬指導を通して服薬情報の一元的・継続的把握を効果的に行うことが肝要であり、健康サポート薬局をめざす薬局の支援の一環という枠組みで実施していく。併せて、無菌調剤の方法ならびに在宅現場ならびに入退院時における他職種との情報交換ならびに共有についても支援していく。また、他職種に正しい在宅医療支援薬局の情報を提供する。

以上をコロナ禍で、事業実施自体、困難の中で工夫することにより、広く地域医療に貢献することを目指す。

(4) 他職種をはじめ医療機関との連携

地域包括ケアシステムを踏まえた関係職との連携を構築することが必須の課題として挙げられる。入院から地域に円滑に移行するには、病院・診療所の薬剤師と地域の薬局薬剤師の連携強化のために医薬分業対策会議等を開催し、充実させる。

薬機法の改正に伴う、「機能別の薬局認定制度」に対応できるよう「地域連携薬局」や「専門医療機関連携薬局」を支援する。

(5) 「かかりつけ薬剤師・薬局」「健康サポート薬局」数の目標達成の実現ならびに周知活動

本年度より、“健康サポート薬局推進委員会”を立ち上げ、2025年までに県内100薬局の「健康サポート薬局」認定を目標としている。現在13薬局が認定されているが、さらに目標に向けて次の事業を引き続き実施する。

① 「健康サポート薬局」モデル事業の実施

「健康サポート薬局整備事業」により健康サポート薬局数の目標達成の早期実現を目指した取り組みを行ってきた。今後は“会営薬局うえはら”のみならず他の会営薬局も健康サポートのモデル薬局として活動できることを目指す。コロナ禍で活動が難しい他職種、関連機関との連携協議体等の場を活用した事業にも工夫して取り組む。

② 「健康サポート薬局」100軒実現に向けての研修会事業

上記目標達成のために、健康サポート薬局設立のための障壁となっている、届け出書類の作成、OTC医薬品の取り扱い、県民の病気の予防、住民の健康サポートへの貢献の項目について研修会等を実施することでその解決を図る。

今後は、薬機法の改正に伴い、患者のための薬局ビジョンにおけるかかりつけ薬剤師のいるかかりつけ薬局の機能が地域連携薬局のそれに移行することならびに「健康サポート機能」を有する「健康サポート薬局」の推進を視野にその実現を支援していく。

③ 健康サポート薬局機能の充実を図る事業の実施と周知活動

「薬と健康の週間」等を始め、あらゆる事業を通し、かかりつけ薬局・薬剤師、さらに健康サポート薬局について県民へ周知・啓発を図る。コロナ禍で通常通りの開催が難しいものは、実現できるように工夫して取り組む。

2. 医療安全対策への取り組み

医療の担い手である薬剤師の職能拡大によって、その責任も重くなっている。加えて、国民

の権利意識の高まりに伴い、薬剤師に関する医療過誤訴訟が増加している。

また、薬学的患者ケアを実践して患者の不利益（副作用、相互作用、治療効果不十分など）を回避あるいは軽減した事例を報告するとともに収集し、共有することで患者の薬物療法の安全性の向上に資することができる。

昨今の現状を見るにつけ、保険薬局・病院診療所薬局において、資質向上のために情報の報告・収集や業務手順書等を用いた内部チェック体制整備などの医療安全体制の構築に努めていく必要がある。

下記を確認、順守し、取り組んでいく。

- (1) 薬局における医療安全管理指針、業務手順書の定期的な見直し（薬局並びに店舗販売業及び配置販売業の業務を行う体制を定める省令「体制省令」による）
- (2) 薬局における安全管理のための職員研修の実施
- (3) 薬局管理者へのヒヤリ・ハット報告の徹底
- (4) 医薬品医療機器情報配信サービス（PMDAメディナビ）の登録と報告
- (5) その他

3. 生涯学習

生涯学習については、今後も各種研修会、講演会など積極的に開催していく。その学習成果の確認として、JPALSのCLレベル6となる「薬剤師生涯学習達成度確認試験」や日本薬剤師研修センターなどの認定制度があり、今後も認定の取得等、積極的に研鑽することが望ましい。

地域包括ケアシステムの一翼を担うには、薬業連携の中で高度化・専門化する薬物療法に責任を持ち、高度な薬学領域の知識と経験を得ることが必要である。そのため、学会が認める資格を修得することが重要であり、福岡県薬剤師会が主催している「認定薬剤師取得へ向けた継続セミナー」へ多くの会員を参加させるための「認定薬剤師育成支援事業」を活用し、専門薬剤師の育成を行う。また、薬剤師の医学・薬学的知識及び実践力の向上によるかかりつけ薬剤師機能強化のための「研修シラバス」を組み入れた研修会を開催する。これらの研修実施にあたり、2020年に世界的流行を認めた新型コロナウイルス感染症対策としてweb開催、ハイブリッド開催などの多角的な研修形態を推進していく。

本会の「研究倫理審査委員会」では、日本薬剤師会学術大会等の発表や論文投稿など、業績として残していくよう推進していく。

そのため、研修会等の企画・実施、学術大会の開催、学会発表や論文作成の支援など、生涯学習全般を推進するための支援体制の充実を図るべく、以下の事項を推進する。

- (1) 沖縄県薬剤師会学術大会の開催
- (2) 新任・新人薬剤師研修会の開催
- (3) 医療薬学フォーラム2021第29回クリニカルファーマシーシンポジウムの支援
- (4) 地域薬学ケア専門薬剤師などの薬剤師育成支援事業への参画並びに専門薬剤師の養成
- (5) 日本薬剤師会生涯学習支援システム「JPALS」の登録及び利用促進
- (6) かかりつけ薬剤師機能強化のための「研修シラバス」を組み入れた研修会の開催
- (7) 日本薬剤師研修センター認定薬剤師の認定薬剤師取得の支援
- (8) 日本薬剤師会学術大会への参加・発表促進
- (9) 地域薬剤師会生涯研修の計画及び実施の支援
- (10) 病院薬剤師会との共催による学術講演会の開催

- (11) 他団体の実施する研修会・講演会への積極的参加の促進
- (12) 倫理審査の円滑な運用
- (13) 会員が求める新しい生涯学習の企画、実施

4. 関連事業

- (1) 健康とおくすり相談会の実施
- (2) 「薬と健康の週間」事業（10月17日～10月23日）
- (3) 各種関連協議会への参加協力
- (4) 関連機関団体との協議及び懇談
- (5) 関係行政当局との定期的連絡協議
- (6) おきなわ薬剤師会報の発行
- (7) 薬剤師求人求職斡旋事業、薬剤師確保対策事業
- (8) 日本薬剤師会各種保険への加入促進
（薬剤師賠償責任保険・個人情報漏えい保険・休業補償保険）
- (9) 財政基盤の強化
- (10) 麻薬覚せい剤及び薬物乱用防止対策行事への参加協力
- (11) 公的介護保険制度への積極的参加
- (12) 「健康おきなわ21」の企画実践

5. 委員会・部会

(1) 学術研修委員会

- ① 第34回沖縄県薬剤師会学術大会の開催
- ② 令和3年度新任・新人薬剤師研修会の開催
- ③ 医療薬学フォーラム2021第29回クリニカルファーマシーシンポジウムの支援
- ④ 地域薬学ケア専門薬剤師等の認定薬剤師育成支援事業への参画並びに専門薬剤師の養成
- ⑤ かかりつけ薬剤師機能強化のための「研修シラバス」を組み入れた研修会の管理
- ⑥ 日本薬剤師会学術大会への参加・派遣・発表促進
- ⑦ JPALSの登録及び利用促進
- ⑧ 薬剤師生涯学習の支援
- ⑨ 生涯教育担当者連絡会議等への参加
- ⑩ 倫理審査の円滑な運用
- ⑪ その他、研修会・講演会の共催及び支援

(2) 医薬分業対策委員会

- ① 医薬分業対策会議の開催（薬薬連携及び医療従事者間の連携事業推進）
- ② FAXコーナー担当者連絡会議の開催
- ③ 委員会主催研修会、講演会の開催
- ④ お薬手帳・電子お薬手帳の啓発活動
- ⑤ おきなわ津梁ネットワークの推進
- ⑥ 高度管理医療機器継続研修会の開催
- ⑦ その他、医薬分業関連事業に関すること

(3) 医療保険委員会

- ① 調剤報酬改定等説明会の開催
- ② 適正な調剤報酬請求業務についての研修会の開催
- ③ 共同指導・個別指導における指摘事項の研修会
- ④ 充実した薬歴簿作成についての研修会
- ⑤ 会報への「調剤報酬請求業Q&A」の継続掲載
- ⑥ 管理薬剤師業務講習会の開催
- ⑦ その他

(4) 医療安全対策委員会

- ① 医療安全管理指針、業務手順書の定期的な見直しを啓発
- ② 医療安全講習会の開催
- ③ 薬局・薬店における「ヒヤリ・ハット」事例の収集と解析の推進
- ④ 調剤業務・医薬品販売業務に関する過誤対策及び支援
- ⑤ DEM事業の実施
- ⑥ その他、医療安全に関する事項

(5) 健康サポート薬局推進委員会

- ① 「健康サポート薬局」モデル事業の実施
- ② 「健康サポート薬局」100軒実現に向けての研修会事業の実施
- ③ 健康サポート薬局機能の充実を図る事業と周知活動の実施
- ④ 在宅医療支援薬局の拡充と他職種への情報提供の実施
- ⑤ 在宅訪問見学事業の実施
- ⑥ 遠隔服薬指導に関する事業
- ⑥ その他

(6) 地域保健委員会

- ① 健康とおくすり相談会等の薬剤師の予防医療に関わる事業
- ② 薬剤師の地域貢献に関する事業
- ③ 薬剤師認知症対応力向上研修会の開催
- ④ 地域包括ケアシステムにおける薬局薬剤師の役割に関する事業
- ⑤ 自殺対策に関する事業
- ⑥ 禁煙支援事業
- ⑦ 薬剤師のフィジカルアセスメントに関する事業
- ⑧ その他

(7) 広報委員会

- ① おきなわ薬剤師会報の年6回隔月発行・会報掲載用取材
- ② 薬剤師職能のPR（県民への啓発・薬学生との懇談）
- ③ ホームページの効果的活用のための支援
- ④ 薬学部創設に向けての広報活動

- ⑤ マスコミへのタイムリーな情報提供
- ⑥ くすりと健康フェア（薬と健康の週間）PR活動
- ⑦ その他、広報に関すること（Facebook運営など）

(8) 薬学生実務実習受入委員会

- ① 認定実務実習指導薬剤師養成事業
 - 認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップへの参加派遣
 - 本島及び先島における認定実務実習指導薬剤師養成講習会（新規・更新）の開催
 - その他指導薬剤師のスキルアップ研修会の開催
- ② 薬学生受入事業
 - 実務実習指導薬剤師の適正配置と実習生のマッチング
 - 受入薬局への事前説明会およびサポート体制の充実
 - 早期体験実習の受入
- ③ 地区薬剤師会・他協力施設との連携

(9) 財務委員会

- ① 一般会計、収益事業部の予算・決算に関すること
- ② 本会職員の賃金、退職金に関すること
- ③ 会費徴収に関すること
- ④ 収益事業部の運営・経済面での監督、指導
- ⑤ その他、予算・決算に関すること

(10) 組織強化委員会

- ① 病院薬剤師の入会促進
- ② 未加入薬剤師の入会促進
- ③ 各委員会・部会への組織強化につながる提言
- ④ その他、会の組織強化に関すること

(11) 災害対策委員会

- ① 新型コロナ等感染症への対応
- ② 沖縄県薬剤師会BCP（事業継続計画）の訓練
- ③ 災害時の救援活動等への医薬品・支援用品の準備
- ④ 災害拠点薬局・事前登録支援薬剤師の募集・訓練
- ⑤ 災害時における公衆衛生対策方法の周知
- ⑥ 救命活動に関する事業
 - ガイドラインに基づいたBLS（一次救命救急）訓練、講習会の開催
- ⑦ 県の防災計画・訓練等への積極的な参画
- ⑧ その他

(12) 会営薬局移転推進特別委員会

- ① 琉球大学病院移転に伴う会営薬局うえはらの移転推進について

- ② その他、会営薬局移転に関する事

(13) 会営薬局委員会

- ① 調剤報酬改定等に対応した運営に関する事
- ② 会営薬局であることを意識した運営に関する事
- ③ 会営薬局の労務環境に関する事
- ④ その他、会営薬局の運営等に関する事

(14) 薬事情報センター委員会

- ① 薬剤師会関連機関および他機関との機能連携
 - 日本薬剤師会「文献書誌情報検索システムBunsaku」事業
 - 沖縄県医師会医療事故調査支援委員会への参加
- ② 医薬品情報の管理
- ③ 会員への情報提供
- ④ 一般への情報提供
(沖縄県難病相談支援センター「アンビシャス」原稿執筆等)
- ⑤ ドーピング防止活動
- ⑥ 地域公衆衛生活動の推進
- ⑦ 研究倫理審査委員会の運営支援
- ⑧ 新型コロナウイルスワクチン専門電話相談業務 (沖縄県委託業務)
- ⑨ その他 (小児救急でんわ相談#8000のデータ管理、会営薬局の支援等)

(15) 試験検査センター委員会

- ① 令和3年度計画的試験
- ② 医薬品精度管理試験 (日本薬剤師会) および
登録試験検査機関技能試験 (厚生労働省) の実施
- ③ 学校関係の水質検査等の委託業務
- ④ 会員並びに調剤薬局等からの医薬品等分析依頼への対応
- ⑤ 医薬品医療機器等法 (旧薬事法) 上における
試験検査センター業務に関連する問い合わせへの対応
- ⑥ 学校薬剤師業務の支援
- ⑦ その他、試験検査センター業務に関連する事

(16) 学校薬剤師部会

- ① 学校薬剤師としての資質の向上のための講習会・研修会の実施
※公衆衛生に関連した地域活動に係る内容を含む
- ② 学校環境衛生検査全項目実施への働きかけ
- ③ 学校給食センターでの環境衛生検査の実施
- ④ 「全国学校保健調査」の実施ならびにデータ解析
- ⑤ 組織強化、試験検査センターへの検査委託の推進
- ⑥ 学習指導要領に基づいた“くすり教育”の充実

- ⑦ 学校における薬剤師職能紹介事業への講師派遣
- ⑧ 学校薬剤師の配置（1人1校担当を具体的に進めていく）
- ⑨ なごみ会主催県民健康フェア「健康とおくすり相談会」への参加
- ⑩ 県薬ホームページ“学薬の頁”と県薬会報“学薬だより”の充実
- ⑪ 関係団体への協力と連携の推進
- ⑫ 未成年の喫煙・飲酒防止ならびに薬物乱用防止活動の推進
- ⑬ 沖縄県薬剤師会学校薬剤師部会40周年記念誌の発行
- ⑭ 学校における新型コロナウイルス感染症等への対応

(17) 病院診療所薬剤師部会

- ① 組織と役員会の強化拡大
- ② 学術・教育研修活動の推進（Web対応の強化）
- ③ 認定・専門薬剤師育成
- ④ 薬薬連携の強化・拡大（研修制度の充実、合同研修会の実施）
- ⑤ 学会・学術大会に対する協力
- ⑥ 病薬会誌発行とホームページの活用と充実
- ⑦ 実務実習の充実と新規事業への取り組み
- ⑧ その他

(18) 女性薬剤師部会

- ① 一般社団法人日本女性薬剤師会講座「令和3年度薬剤師継続学習通信教育講座」の
斡旋とスクーリングの実施
- ② 漢方講座の定期的継続開催
- ③ 沖縄の薬草への知識を深める活動
（おきなわ薬剤師会報連載「暮らしの中の薬草学」の継続、ミニ薬草園の充実）
- ④ 「妊娠・授乳とくすり」関連研修会の開催
- ⑤ 地域貢献活動として、浦添市の「乳児一般健康診査」への継続参加
（沖縄県病院薬剤師会の妊婦・授乳婦分科会との連携活動）
- ⑥ その他

(19) 青年薬剤師部会

- ① 青年部組織強化（各地区での情報交換会）
- ② 研修会・勉強会の開催
- ③ 他県薬剤師会青年部会との交流（九州各県薬剤師会との交流）
- ④ なごみ会主催県民健康フェア「健康とおくすり相談会」への参加
- ⑤ 薬剤師職能に関する啓発活動（グッジョブ事業など）
- ⑥ 薬学生とU・Iターンに関する相談（薬剤師無料職業紹介所との協働）
- ⑦ 日本薬剤師会学生会員への入会促進
- ⑧ その他（施設見学など）

(20) 卸勤務薬剤師部会

- ① 学術大会、研修会、フォーラム等への派遣
- ② 薬学生実務実習生の受け入れ協力
- ③ 令和3年度の継続研修テーマに則った研修の実施
- ④ その他

(21) 行政薬剤師部会

- ① 組織の強化拡大
- ② 全国又は地方学会等への参加
- ③ 沖縄県薬剤師会への入会取組強化
- ④ その他



役員席側



代議員席側

第83回臨時總會資料

<報告第2号 令和3年度歳入歳出予算について>

令和3年度 収支予算

(自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日)

(単位：円)

科 目	実施事業等会計	その他会計	法人会計	合 計
	小 計	小 計		
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
【 経 常 収 益 】				
基本財産運用益	0	0	0	0
基本財産受取利息	0	0	0	0
特定資産運用益	100	1,000	600	1,700
特定資産受取利息	100	1,000	600	1,700
受取入金会金	0	0	720,000	720,000
受取入金会	0	0	720,000	720,000
受取会費	0	6,000,000	97,573,000	103,573,000
正会員受取会費	0	0	59,000,000	59,000,000
賛助会員受会費	0	0	855,000	855,000
賛助会員受会費(応能会費)	0	6,000,000	37,200,000	43,200,000
特別会員会費	0	0	518,000	518,000
事業収益	73,270,000	1,760,232,000	0	1,833,502,000
出版物事業収益	1,800,000	2,500,000	0	4,300,000
広告料事業収益	100,000	0	0	100,000
その他事業収益	6,420,000	1,100,000	0	7,520,000
調剤報酬収入	25,500,000	1,590,000,000	0	1,615,500,000
一部負担金収入	6,500,000	150,000,000	0	156,500,000
小分治療剤収入	12,200,000	0	0	12,200,000
保険外	800,000	11,800,000	0	12,600,000
受取手数料	200,000	4,832,000	0	5,032,000
保険等調整増減	0	0	0	0
新規契約賦課金	50,000	0	0	50,000
利用契約金	2,500,000	0	0	2,500,000
医薬品検査手数料	200,000	0	0	200,000
水質検査手数料	13,000,000	0	0	13,000,000
空気検査手数料	4,000,000	0	0	4,000,000
保険受託収入	0	0	0	0
受取補助金	1,059,136	0	0	1,059,136
受取地方公共団体補助金	0	0	0	0
受取補助金等振替額	1,059,136	0	0	1,059,136
受取寄付金	0	0	365,207	365,207
受取寄付金	0	0	100,000	100,000
募金収入	0	0	0	0
寄付金等振替額	0	0	265,207	265,207
雑収入	801,200	208,020	3,044,200	4,053,420
受取利息	200	1,620	600	2,420
受取賃借料	0	0	0	0
雑収益	101,000	150,000	300,000	551,000
事務受託収益	700,000	56,400	2,743,600	3,500,000
経常収益計	75,130,436	1,766,441,020	101,703,007	1,943,274,463

科 目	実施事業等会計	その他会計	法人会計	合 計
	小 計	小 計		
【 経 常 費 用 】				0
事 業 費	148,248,607	1,752,448,069	0	1,900,696,676
期 首 棚 卸 高	5,348,330	84,467,367	0	89,815,697
仕 入 高	24,760,000	1,540,240,000	0	1,565,000,000
期 末 棚 卸 高	△ 5,348,330	△ 80,800,000	0	△ 86,148,330
役 員 報 酬	3,228,000	872,000	0	4,100,000
給 与 手 当	31,550,000	53,450,000	0	85,000,000
雑 賞 給 与	23,942,800	50,357,200	0	74,300,000
退 職 給 付 費 用	2,600,000	12,000,000	0	14,600,000
法 定 福 利 費	1,043,000	2,107,000	0	3,150,000
福 利 厚 生 費	6,158,000	17,052,000	0	23,210,000
会 議 費	372,500	867,500	0	1,240,000
旅 費 交 通 費	1,887,000	463,000	0	2,350,000
通 信 運 搬 費	6,351,520	5,848,480	0	12,200,000
減 価 償 却 費	2,740,000	3,110,000	0	5,850,000
消 耗 品 費	8,010,227	3,074,082	0	11,084,309
修 繕 費	4,800,000	4,450,000	0	9,250,000
研 修 費	2,300,000	1,310,000	0	3,610,000
出 版 物 印 刷 費	20,000	100,000	0	120,000
会 報 発 行 費	4,400,000	3,100,000	0	7,500,000
地 代 家 賃 費	0	0	0	0
光 熱 水 料 費	1,080,000	20,660,000	0	21,740,000
貸 借 料 費	2,622,000	4,078,000	0	6,700,000
広 報 費 料	1,836,000	1,324,000	0	3,160,000
保 險 料	5,510,000	0	0	5,510,000
諸 謝 金	292,200	887,800	0	1,180,000
租 税 公 課	550,000	50,000	0	600,000
支 払 負 担 金	2,876,360	423,640	0	3,300,000
支 払 補 助 金	1,000,000	0	0	1,000,000
支 払 寄 附 金	0	6,000,000	0	6,000,000
支 払 託 付 費	175,000	0	0	175,000
委 託 注 冊 費	0	0	0	0
外 払 手 数 料	2,500,000	0	0	2,500,000
交 際 費	2,027,000	10,793,000	0	12,820,000
管 理 諸 費	140,000	100,000	0	240,000
管 理 維 持 費	0	0	0	0
新 聞 函 書 費	1,542,000	3,858,000	0	5,400,000
貸 倒 引 当 金 繰 入 額	540,000	320,000	0	860,000
雑 費	0	0	0	0
支 払 利 息 費	0	0	0	0
商 品 廃 棄 損 失	895,000	85,000	0	980,000
雑 損 失	500,000	1,800,000	0	2,300,000
雑 損 失	0	0	0	0
法 人 会 計 (管 理 費)	0	0	45,667,000	45,667,000
役 員 報 酬			1,800,000	1,800,000
給 与 手 当			11,000,000	11,000,000
雑 賞 給 与			0	0
退 職 給 付 費 用			0	0
法 定 福 利 費			300,000	300,000
福 利 厚 生 費			2,500,000	2,500,000
			150,000	150,000

科 目	実施事業等会計	その他会計	法人会計	合 計
	小 計	小 計		
表 彰 費			0	0
会 議 費			900,000	900,000
旅 交 通 費			3,500,000	3,500,000
通 信 運 搬 費			900,000	900,000
減 価 償 却 費			1,047,000	1,047,000
消 耗 品 費			900,000	900,000
修 繕 費			600,000	600,000
出 版 物 印 刷 費			0	0
会 報 発 行 費			0	0
地 代 家 賃			0	0
光 熱 水 料 費			1,400,000	1,400,000
賃 借 料 費			800,000	800,000
広 報 費			0	0
保 険 料			120,000	120,000
諸 謝 金			0	0
租 税 公 課			1,200,000	1,200,000
支 払 負 担 金			15,000,000	15,000,000
支 払 補 助 金			0	0
支 払 手 数 料			1,500,000	1,500,000
交 際 費			1,000,000	1,000,000
管 理 維 持 費			700,000	700,000
雑 費			0	0
支 払 利 息			350,000	350,000
経常費用計	148,248,607	1,752,448,069	45,667,000	1,946,363,676
評 価 損 益 等 調 整 前				
当 期 経 常 増 減 額	△ 73,118,171	13,992,951	56,036,007	△ 3,089,213
評 価 損 益 等 計	0	0	0	0
当 期 経 常 増 減 額	△ 73,118,171	13,992,951	56,036,007	△ 3,089,213
2. 経常外増減の部	0	0	0	0
(1) 経常外収益	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0
固 定 資 産 除 却 損	0	0	0	0
什 器 備 品 除 却 損	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0
当 期 経 常 外 増 減 額	0	0	0	0
他 会 計 振 替 額	0	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 73,118,171	13,992,951	56,036,007	△ 3,089,213
法 人 税 等	38,000	132,000	0	170,000
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	△ 73,156,171	13,860,951	56,036,007	△ 3,259,213
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	△ 79,673,850	415,954,348	432,397,856	768,678,354
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	△ 152,830,021	429,815,299	488,433,863	765,419,141
II 指定正味財産増減の部	0	0	0	0
受 取 補 助 金 等	0	0	0	0
受 取 地 方 公 共 団 体 補 助 金	0	0	0	0
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	△ 1,059,136	0	△ 265,207	△ 1,324,343
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	△ 1,059,136	0	△ 265,207	△ 1,324,343
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	△ 1,059,136	0	△ 265,207	△ 1,324,343
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	0	1,598,246	20,989,698	22,587,944
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	△ 1,059,136	1,598,246	20,724,491	21,263,601
III 正味財産期末残高	△ 153,889,157	431,413,545	509,158,354	786,682,742

第83回臨時総会資料

<議案第1号 令和3年度会費額に関する件について>

令和3年度会費額は、次の基準により徴収する。

1. 正 会 員

- (1) <入会金> 10,000円
- (2) <会 費> 正会員A 年額 54,000円 (県薬会費36,000円 + 日薬会費18,000円)
 正会員B 年額 39,400円 (県薬会費32,400円 + 日薬会費 7,000円)
 正会員C 年額 12,000円 (県薬会費 5,000円 + 日薬会費 7,000円)

※新規入会者に対して、上記会費内訳に示す日薬会費は、次のとおりとする。

正会員A → (9月までに入会 18,000円) (10月以降に入会 9,000円)

正会員B・C → (" 7,000円) (" 3,500円)

- (3) <納付方法および早期納入割引>

- ※ 会費納入は原則一括納入とする。
- ※ 納入方法は、口座引き落としを原則とし、やむをえない場合は振込とする。
- ※ 一括納入支払期限は令和3年7月末日とする。
- ※ 令和3年7月末日までに一括納入の場合、早期納入割引として
 正会員A 3,000円、正会員B 2,700円を還付する。

参考 (会員規程より)

正会員Aとは、薬局の開設者および管理薬剤師又は正会員Aであることを希望する者

正会員Bとは、正会員AおよびC以外の者

正会員Cとは、勤務先業態が行政薬剤師の者

2. 賛 助 会 員

- (1) <会 費> 賛助会員A 年額 15,000円
 賛助会員B 処方せん受付回数1回あたり8円 (上限48万円)

- (2) <賛助会員B会費の納付> (会費規程より)

第7条 賛助会員Bは、薬剤師職能の向上に係る事業の経費として賛助会員B会費を毎月納付しなければならない。

2 前項の賛助会員B会費の額は、1箇月の処方せん受付回数に別表3に掲げる額を乗じて得た額 (100円未満の端数は切り捨て) とする。

3 前項の処方せん受付回数は、前年1月から12月までの総処方せん受付回数とし、これを12等分した額を当年度4月から翌年3月にかけて支払うこととする。但し、上限を48万円とする。

4 年度途中の入会等、過去の実績の無い賛助会員Bは、入会後の処方せん受付見込み回数により、1箇月の平均回数を算出するものとし、その方法は理事会で定める。

5 賛助会員B会費の納付は、原則として会員の銀行等の口座からの口座振替によるものとする。

「別表3」 賛助会員B会費 (第7条関係)

処方せん受付回数1回当たり	8.00円	上限 48万円
---------------	-------	---------

参考（会員規程より）

第9条 定款第5条に定める賛助会員の種別は、次のとおりとする。なお、この中で、(1) から (3) 及び (5) に該当する者を賛助会員A、(4) に該当する者を賛助会員Bとする。

- (1) 薬局経営者
- (2) 薬剤師以外の薬品の製造業及び卸業者等の関係者
- (3) 医薬品販売に従事する者
- (4) 薬局
- (5) その他希望する個人及び団体

2 正会員Aが在籍する薬局は、賛助会員Bとして入会するものとする。

3. 特別会員

- (1) <会費> 特別会員A 年額 10,000円
特別会員B 年額 17,000円
特別会員C 年額 0円

(2) <納付方法>

- ※ 会費納入は原則一括納入とする。
- ※ 納入方法は、口座引き落としを原則とし、やむをえない場合は振込とする。
- ※ 一括納入支払期限は令和3年7月末日とする。

参考（会員規程より）

特別会員Aとは、年齢が満80才以上の薬剤師で薬剤師業務に携わっていない者
(資格：県薬会員のみに)

特別会員Bとは、年齢が満75才以上の薬剤師で薬剤師業務に携わっていない者

特別会員Cとは、正会員、賛助会員以外の個人で、薬学を専攻する学生その他薬学及びそれに関連する知識・業務経験を有し、この法人の目的、事業に賛同するため入会を希望する者



開会の辞
中村克徳 副会長

会長あいさつ
亀谷浩昌 会長

議長：新垣慶朗代議員（左）、
副議長：名嘉紀勝代議員（右）

司会
宮城幸枝 常務理事

報告第1号
佐藤雅美 常務理事



報告第2号・議案第1号
川満直紀 理事

議案第1・2号
野崎真敏 選挙管理委員長

会長候補者立候補所信表明
前濱朋子 理事

会長候補者推薦演説
村田美智子 常務理事

閉会の辞
金城雄一 常務理事

報告第1号質疑応答
西川裕 常務理事

<議案第2号 一般社団法人沖縄県薬剤師会予備代議員の選任について>

標記の件について、令和2年度第9回理事会（令和2年12月12日）にて、予備代議員を選出すること及び予備代議員定数を定めたところ、下記のとおり全選挙区から選出され、令和2年度第12回理事会（令和3年3月13日）で承認された。

代議員選挙規程第20条により、本臨時総会において選任いただきたい。

選挙管理委員会 委員長 野崎 真敏

※敬称略

地区 薬剤師会	支部	予備代議員	予備 代議員数	代議員	当選数 ()：定数
北部地区	名 護	神山 康馬	1	玉城 純 西坂 順 屋嘉比 康作	3
中部地区	うるま	新江 裕貴	1	江夏 恭範 徳嶺 恵子 福地 健治	3
	沖 縄	四谷 祐子 高木 英子	2	阿嘉 秀寅 石川 恵市 鈴木 直志 玉城 武範 仲間 聖 普久原 隆 諸見里めぐみ	7
	嘉手納	松本 圭史	1	藤原 明人	1
	宜野湾	新川 祐作	1	新垣 慶朗 新川 祥平 仲座 方利	3
那覇地区	首 里	友利 久美子	1	新垣 紀子 上間 祥子 大塚 成一郎	3
	那覇東	新垣 正次 小野 桂子	2	磯 昭子 上原 美沙子 仲宗根 かおり 備瀬 紀子 又吉 晴美 諸見川 裕子	6
	那覇北	神山 侑子	1	狩俣 イソ 平良 博文 枅井 亮太	3
	那覇中央	松田 文子	1	阿部 義則 我喜屋 智香子 小湾 喜彦	3
	小 禄	具志堅 興信	1	國吉 直子 又吉 智賀子	2
	浦 添	鈴木 一徳 長嶺 克哉	2	大城 博次 杉山 英司 武富 弘記 日高 久美子 宮城 友寛	5
南部地区	糸 満	上原 陽子	1	伊敷 松太郎 小湾 勝敏 名嘉 紀勝 松本 圭五	4
	南風原			兼城 崇 川上 善久 川上 雄一朗 城間 盛伸 知念 大輔	5 (6)
宮古地区	平 良	下地 睦夫	1	下地 仁	1
八重山地区	石 垣	荒谷 敏巳	1	新嵩 由香	1
合計			17		50 (51)

<議案第3号 一般社団法人 沖縄県薬剤師会 会長候補者者選挙について>

会長候補者立候補名簿				
区分	受付番号	立候補者氏名	所属地区	推薦者代表
開局	101	前濱 朋子	那覇地区	村田 美智子

[第83回臨時総会出席者]

敬称略

<理事・監事>

- | | | |
|-----------------|------------------|-----------------------|
| ○亀谷 浩昌 (会長) | ○中村 克徳 (副会長) | ○宮城 幸枝 (常務理事) |
| ○村田美智子 (常務理事) | ○金城 雄一 (常務理事) | ○佐藤 雅美 (常務理事) |
| ○西川 裕 (常務理事) | ○前濱 朋子 (組織強化担当) | ○川満 直紀 (財務担当) |
| ○友寄 安彦 (北部地区代表) | ○盛本 直也 (那覇地区代表) | ○新垣 秀幸 (南部地区代表) |
| ○古謝 真己 (宮古地区代表) | ○幸地 良信 (八重山地区代表) | ○笠原 大吾 (健康サポート薬局推進担当) |
| ○中尾 滋久 (医療安全担当) | ○吉田 洋史 (災害対策担当) | ○知名 博樹 (学薬部会代表) |
| ○神谷 朝雄 (監事) | ○江夏 京子 (監事) | |

<代議員>

- | | | |
|----------------|------------------|----------------|
| ○浅沼 健一 (名護支部) | ○新垣 紀子 (首里支部) | ○大城 博次 (浦添支部) |
| ※玉城 純 (名護支部) | ※上間 祥子 (首里支部) | ○杉山 英司 (浦添支部) |
| ※屋嘉比康作 (名護支部) | ○大塚成一郎 (首里支部) | ○武富 弘記 (浦添支部) |
| ○江夏 恭範 (うるま支部) | ※上原 幸代 (那覇東支部) | ※西田 久 (浦添支部) |
| ○川平 浩子 (うるま支部) | ※青佐 傑士 (那覇東支部) | ※日高久美子 (浦添支部) |
| ○福地 健治 (うるま支部) | ※岡野 俊秀 (那覇東支部) | ○伊敷松太郎 (糸満支部) |
| ※阿嘉 貫哲 (沖縄支部) | ○入月 健 (那覇東支部) | ○小湾 勝敏 (糸満支部) |
| ○鈴木 直志 (沖縄支部) | ○屋良 愛 (那覇東支部) | ◎名嘉 紀勝 (糸満支部) |
| ○玉城 武範 (沖縄支部) | ○兼島 静江 (那覇東支部) | ○松本 圭五 (糸満支部) |
| ○諸見里めぐみ (沖縄支部) | ○平良 博文 (那覇北支部) | ○川上雄一郎 (南風原支部) |
| ○譜久原 隆 (沖縄支部) | ○枘井 亮太 (那覇北支部) | ○川上 善久 (南風原支部) |
| ○長濱 照美 (沖縄支部) | ○宮本 直樹 (那覇北支部) | ○楠見 康夫 (南風原支部) |
| ※藤原 明人 (嘉手納支部) | ※我喜屋恵美子 (那覇中央支部) | ○城間 盛伸 (南風原支部) |
| ☆新垣 慶朗 (宜野湾支部) | ○渡慶次全康 (那覇中央支部) | ○知念 大輔 (南風原支部) |
| ※新川 祥平 (宜野湾支部) | ○國吉 直子 (小禄支部) | ○下地 仁 (平良支部) |
| ○仲座 方利 (宜野湾支部) | ○又吉智賀子 (小禄支部) | ○荒谷 敏巳 (石垣支部) |

☆：議長 ◎：副議長 ※議長へ委任 (書面による議決権行使)

※令和1・2年度代議員の任期は終了しました。代議員の皆様、お疲れ様でした。

医療安全対策

令和2年度医療安全講習会開催

日時：令和3年2月21日（日）13:00～16:00

会場：沖縄県薬剤師会館 ホール

＜式次第＞

○ あいさつ

○ 講義1 『官民一体となったテロ対策の推進について』

○ 講義2 『新型コロナウイルス感染症対応店舗休業補償制度の説明

および事故過誤事例報告』

○ 特別講演 『安全な医療を提供するために薬剤師ができること』

司会進行：医療安全対策担当理事 中尾 滋 久

沖縄県薬剤師会会長 亀谷 浩 昌

沖縄県那覇警察署警備課

損害保険ジャパン株式会社 坂元 徹 矢

日本薬剤師会常務理事 亀井 美和子

去る2月21日に、令和2年度医療安全講習会が開催された。例年多くの受講者が集まる本講習会だが、今回も会場36名、Web143名、計179名の方が参加した。

始めに亀谷会長が、「医療安全という言葉は英語圏では患者安全が一般的である。アメリカの主な死亡原因は心臓病、がん、医療事故である。治療学の向上と同様に、医療安全に努めることが大切である。薬理的な基礎があってこそその薬剤師であり、薬学的観点、安全工学の考え方を取り入れて、患者のために医療安全の向上に努めなければならない。」と挨拶された。



医療安全対策委員会
安次富 唯

講演1 『官民一体となったテロ対策の推進について』

沖縄県那覇警察署警備課から講話いただいた。

過激派テロが国際的に問題となっているが、インターネットを介して過激思想に影響を受け、テロを実行する事例が海外で増えている。国内においても高性能爆発物の材料に使われる爆薬を製造・所持したとして若年者が逮捕される事例があった。

薬局・薬店にて爆発物原料の大量購入があった場合は未然に防いで欲しい。実際に購入者が来た場合、購入者の全体像（頭髪や髭、体格、服の色、靴）、使用車両（色、形）、どのルートに行ったのかなどの情報を伝えて欲しい。

テロ対策は警察だけでは難しく、官民一体となった取り組みが不可欠であり、警察への積極的な情報提供をいただきたいとの協力依頼があった。



司会進行 中尾滋久 理事



沖縄県那覇警察署警備課によるロールプレイング

講演2『新型コロナウイルス感染症対応 店舗休業補償制度の説明

および事故過誤事例報告』

損害保険ジャパン株式会社坂本徹也氏より講話をいただいた。

新型コロナウイルス感染症対応店舗休業補償制度の補償内容では損失利益、収益減少費用、感染症対策費用などの補償を保険金満額30万円が支払われる。

要件として、①会員が開設者または管理薬剤師の薬局に勤務する方が新型コロナウイルスに感染、または濃厚接触すること。②①に伴い、当該薬局を消毒すること。③①および②に伴い、所定の休業日を除き連続として2営業日以上休業することであり、全ての要件を満たした場合に補償金が支払われる。「医療機関薬局等における感染拡大防止支援事業」の申請をすることで、国の補助金により会員の保険料負担が無いことを説明いただいた。

過誤事例報告では、医療機関の代表者や医師を訴えるのが通例ではあるが、近年の医療訴訟は医療者個人を訴える事例が増えている。薬局内で転倒した事例、薬局入り口の自動ドアに強打した事例など、過量投与、誤投与以外にも施設の管理に起因する賠償が増えていると説明をいただいた。



損害保険ジャパン株式会社
坂元徹也氏

特別講演『安全な医療を提供するために 薬剤師ができること』

日本薬剤師会常務理事の亀井美和子先生より、薬局業務に関する研究、海外での薬局の取り組みについて講話をいただいた。

疑義照会等の状況調査（1998年-2013年）では、疑義照会率は処方箋全体の2-3%であった。手書きの処方箋から電子化されてもその数値に差異は無かった。処方変更が行われなかった場合、半数がリスクを伴ったまま投薬された可能性がある。また安全性、有効性に貢献したものは24.3%であった。

生活者に聞いた医薬分業の便益（2003年）では、処方箋受付の際に300円を支払ってもよいかとの問いに対して、支払いしたくない人が最も多く、支払ってもよい人のうち500円は払いたくない人が最も多かった。消費者は薬剤師が処方箋を確認する事が当たり前的事と認識しており、安全性に対する評価は難しいとのこと。

アムロジピン製剤を含む6品目以下を処方された患者への服薬期間中の電話でのフォローアップ（2010年—2011年）では、治療薬の相談以外にも副作用発現（便秘、下痢、腹部膨満感、肝機能障害等）や低血糖やシックデイの理解不足、服薬の理解不足などが見られた。薬剤師の早期支援により、副作用発現薬の処方中止または変更、低血糖の改善、インスリン単位変更や、服薬アドヒアランスの改善などの問題が解決された。また電話でのフォローアップをしたことにより、患者の意識、行動の変化も見られた。

イギリスで行われているMUR（薬剤使用評価）の紹介では、2005年より実施されているが、ただ単に服薬指導を行うのではなく、近年ではポリファーマシーの改善や吸入指導により服薬アドヒアランスを向上させるなどの見直しが進んでいる。イギリスの薬局では薬剤使用の最適化や患者の健康サポートが進められ、国民全員がかかりつけ薬剤師を持っている。またGP診療所に薬剤師を設置して、医



特別講演講師の亀井美和子日本薬剤師会常務理事にはリモートでご講義いただいた。

師の処方をサポートし、自ら処方する場合もある。それにより、処方の最適化、患者の医療への満足度や薬物療法の理解度、患者の安全に繋がっている。日本でも服薬後のフォローを実施しているが、その目的を明確にしておかなければ、薬剤師が関わった意義が示せないのではないかと指摘があった。

安全な医療を提供するために必要なこととして、薬剤師の役割は「薬剤師にしかできないこと」に変化させること。薬剤師以外の人・機器が出来る（出来そうな）ことは、薬剤師の必要性を高めることに繋がらない。人が関

わなければ解決できない所に辿り着くこと。また、地域の医療資源として薬局を最大限活用させること。薬局の「関わり」が医療安全のために必要であるとの説明をいただいた。

最後に、薬局開設者は「医療の安全を確保するために従業員に対して医療安全に関する年2回程度の研修を実施すること」が義務付けられている。本講習会は、その研修と位置付けられているので、これからもより多くの会員に参加いただき、各薬局にて従業員への周知をしていただきたい。

＜特別講演講師プロフィール＞ かめい みわこ

(略歴) 昭和62年 日本大学理工学部薬学科卒業、平成5年 筑波大学大学院経営政策科学研究科修了、平成3年 日本大学薬学部助手(薬事管理学)、平成14年 日本大学薬学部専任講師(薬事管理学)、平成17年 ニューカッスル大学客員研究員(～平成17年8月)、平成18年 昭和大学薬学部教授(社会薬学)(～平成22年9月)、平成22年 日本大学薬学部教授(コミュニケーション学)(～平成29年3月)、平成24年 日本薬剤師会理事(～平成28年6月)、平成28年 日本薬剤師会常務理事、平成29年 日本大学薬学部教授(薬事管理学)(～令和2年3月)、平成30年 千葉県薬剤師会理事、令和2年 帝京平成大学薬学部教授・薬学部長
 (学会) 日本社会薬学会会長、日本薬学教育学会理事、日本老年薬学会理事、日本薬局学会評議員、日本ファーマシューティカル・コミュニケーション学会監事、日本薬学会、日本くすりとう糖病学会
 (研究領域) 薬剤給付制度、薬剤師業務の有用性評価(ヘルスアウトカム研究)



健サポ推進

薬剤師の臨床判断に基づく 要指導医薬品・一般用医薬品の適正販売等に関する研修会

日時：令和3年2月14日（日）10:00～13:00

会場：沖縄県薬剤師会館 ホール

＜式次第＞

○開会のあいさつ

○講義

○DVD講義（グループディスカッション）

司会：健康サポート薬局推進委員会 松本圭五
健康サポート薬局推進担委員会 委員長 笠原大吾
健康サポート薬局推進委員会 盛本直也

今回の研修は、薬剤師の臨床判断をもとに一般用医薬品で対応可能と判断された来局者に対して、適切な薬剤の選定を行うための能力を養うことや、症例検討を踏まえて、薬局に備蓄すべき一般医薬品等について理解を深めることを目的とされていました。

前半の内容としては、医薬品販売制度実態把握調査報告をもとにお話が進んでいきました。業務中の名札の着用を行うことで職種の区別を明確にする必要がある。要指導医薬品や第一類医薬品販売時には使用者を確認し、文書を用いて情報提供を行い、情報提供内容について理解の確認を行う。指定第二類医薬品については禁忌の確認や使用について薬剤師等へ相談することを確実に認識できるように掲示する。汎用のおそれがある医薬品を複数販売する場合は必ずその理由を確認するなどです。また一般用医薬品と医療用医薬品では添付文書の記載に違いがあるため、両方の



レモン薬局 みはら店
阿嘉 秀寅

情報を得ることにより、適正な選別・販売することができます。お話の中では、副作用についても大きく触れており、副作用の発現や症状などの説明不足によって娘さんを亡くされた母親の言葉も紹介されており、薬剤師としての責任の重さを痛感しました。

後半には、DVDを用いたグループディスカッションを行いました。DVD中で演じられた来局者と薬剤師のわずか数分間の会話の中からSOAP方式をもとに状態を書き出し、その後トリアージを行い、その結果をもとに来局者に相応しいOTC医薬品を選定していきます。その際に来局者の年齢や仕事、生活環境や予測される基礎疾患などをイメージする必要があります。今回症例にあがったのは50代の会社



松本圭五委員



笠原大吾委員長



盛本直也委員



グループディカッション

＜健康サポート薬局推進委員会＞

員で、風邪の初期症状と思われる状態（喉の痛みや咳、くしゃみ）でした。本人より、今後1週間程度は会議の参加や出張も予定されている状況でしたので、眠気の副作用が出にくく、かつ症状を緩和する薬剤を選ぶ必要もありました。この情報をもとに、選択肢にある医薬品の成分をチェックし、選択した理由を記載。またほかの薬がなぜ選択肢に上がらないかの説明も併せて行うという流れでした。

私個人といたしましては、調剤薬局での経験がまだ浅く、かつ実店舗でのOTC医薬品の販売にかかわったことがありませんでした。今回の研修では法律的な観点や、より実践的なところまで細かく説明がなされており、大

変勉強になりました。昨今はコロナの影響などから、病院の受診を拒否や遠慮する患者様も増えていると聞いております。その中で薬局でもお薬相談に適切に対応して疾患や病状を推測し、妥当な対応方法を選択して確実に実践していくことで、セルフメディケーションの普及や適切な病院受診勧奨を促すことが行えれば、地域医療に貢献することができると感じました。

今回のようなより実践的な研修会が増えれば、必要な情報を得るとともに、様々な考え方に触れるいい機会になると思えました。今後も継続参加し、知識を深めるきっかけを作っていきたいと思います。

お知らせ

Facebook をご覧下さい！



下記アドレスより、お待ちしております。ホームページからも閲覧できます。

<https://www.facebook.com/okinawaopa>

地域保健

令和2年度薬剤師認知症対応力向上研修報告

日時：令和3年1月17日（日）13:00～17:20

会場：沖縄県薬剤師会館 ホール

去る1月17日に、沖縄県が作成したガイドラインに沿って、新型コロナウイルス感染症感染対策を施して研修を開催しました。

薬剤師は、認知症患者の状況に応じた薬学的管理だけではなく、認知症の疑いのある人に早期に気づき、かかりつけ医をはじめとした医療職や関係機関との連携、認知症患者とその家族への支援体制構築の担い手となることを目的として、平成28年度より本研修会を開始しております。

そのための知識を習得するために、Ⅰ.基本編は読谷診療所の多鹿昌幸医師（認知症サポート医）から認知症の概要について、Ⅱ.対応力編は私から薬学的管理や他職種との連携について、Ⅲ.制度編は沖縄県高齢者介護福祉課の當眞嗣貴主任から認知症政策について、那覇市地域包括支援センター繁多川の比嘉美矢子氏から実際の活動状況や事例について、講義を行いました。

今年度は使用するテキストの改訂が行われましたが、伝えたい箇所や伝わりにくい箇所等、詳細を各講師がスライドを追加し、より理解し易い内容でご講義いただきました。

理事（認知症対応力向上研修担当）
地域保健委員会
中尾 滋久



この研修を修了すると沖縄県知事名の「修了証書」を交付し、同意を得られた薬剤師は研修修了者として沖縄県のホームページに掲載されます。また、地域包括支援センターなどに修了者名簿が配布されます。

認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりのために、多職種連携・地域包括ケアシステムの中で積極的に関わりを持てる、また認知症の人とその家族からいつでも気軽に相談のできる、薬剤師が期待されています。安全な薬物治療を提供するだけでなく、「気づき」や「つなぎ」のできる地域の医療を担う専門職の一員として活動できる薬剤師が増えていくことで、認知症だけでなく罹病後も安心して生活できるようになると思います。

厚労省のサイトにある「認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）」について詳細な記載がありますので是非ご参照ください。

<講師陣>



多鹿 昌幸 氏



中尾 滋久 氏



當眞 嗣貴 氏



比嘉 美矢子 氏

＜令和2年度薬剤師認知症対応力向上研修プログラム＞

- I 基本知識 認知症サポート医 読谷診療所 多 鹿 昌 幸
 ○認知症施策の現状 ○薬局・薬剤師の役割
 ○認知症の原因疾患の特徴と症例、軽度認知障害の理解 ○観察のポイント（アセスメント）
- II 対応力 沖縄県薬剤師会理事・地域保健委員会 中 尾 滋 久
 ①薬学的管理
 ○認知症に使われる薬（効能・効果・副作用・作用機序）
 ○認知症治療薬の使用上の注意点 ○薬物以外の療法とケア ○服薬の継続管理のポイント
 ○認知症の人・家族への支援
- ②気づき・連携
 ○早期発見・早期対応や多職種連携の必要性と対応
 ○カンファレンス等での薬局・薬剤師の役割
 ○徴候からの気づき、服薬状況からの気づき、医師へのフィードバック
- III 制度等 沖縄県高齢者介護福祉課 主任 當 眞 嗣 貴
 那覇市地域包括支援センター繁多川 作業療法士 比 嘉 美 矢 子
 ○地域包括ケアシステム、介護保険制度
 ○医師やケアマネジャーが薬局・薬剤師に望むこと
 ○認知症ケアパス、認知症初期集中支援チーム、認知症地域支援推進員等の仕組み
 ○若年性認知症の現状と支援の制度 ○成年後見制度、高齢者虐待の現状

地域保健

令和2年度自殺予防対策事業
 ゲートキーパースキルアップ研修会報告

日時：令和3年3月14日（日）13:00～14:30
 会場：沖縄県薬剤師会館 ホール

令和3年度ゲートキーパースキルアップ研修会が、去る3月14日（日）、15人の会員が参加して開催されました。今回の研修会は、新型コロナウイルス感染症への感染防止対策として密集を避けるためにホールにて、十分な間隔を空け、窓を開放し、感染対策の亚克力板を設置して実施しました。講師に日本産業カウンセラー協会の仲村千枝子氏と慶留間由美子氏を迎え、下記内容でご講演いただきました。

最初に「ゲートキーパーの基礎知識」について、仲村千枝子氏よりご講義がありました。「ゲートキーパー」とは、悩んでいる人に気付き、声をかけ、話を聴いて、必要な支援につなげ、見守る人の事であり、命の門番と呼ばれています。身近な人の、ため息が多い・

理事（自殺予防対策担当）
 地域保健委員会
 島袋 さゆり



眠れていない・自殺を口にする等の変化に気づき、何か力になれる事はないかと声かけをすること、そして相手の話を否定せず、温かみのある対応で、しっかりと聴き、一緒に考えることが支援に繋がります。また、ゲートキーパー自身が、相談にのって困った時のつなぎ先を知っておくことも必要であり、自身の健康管理やストレス対処も大切である事のお話がありました。

次に「ゲートキーパーの傾聴法」についてレッスンを中心に、慶留間由美子氏よりご講義があり

＜令和2年度自殺予防対策事業ゲートキーパースキルアップ研修会 式次第＞

司会：地域保健開局委員会 草 壁 瑞 恵
開会のあいさつ 沖縄県薬剤師会理事（自殺予防対策担当）島 袋 さゆり
講義1「ゲートキーパーの基礎知識について」日本産業カウンセラー協会 理事 仲 村 千枝子
講義2「ゲートキーパーの傾聴法について」
日本産業カウンセラー協会 沖縄支部 事務局長 慶留間 由美子



左より 慶留間由美子氏、仲村千枝子氏、
島袋さゆり理事、草壁瑞恵氏



ました。傾聴の方法は、①うなずき、あいづちをし、話し手が話しやすい雰囲気をつくる。②発言の大事なことを伝え返す、事柄への応答。③話し手の伝えたい気持ちを受けとめて伝え返す、感情への応答。④話の内容や感情を整理して相手に伝え返す要約、などがあります。そして、沈黙があっても待つ、相手の言いたい事をゆっくりと聴くこと、質問攻めにしないことが大切であるとお話がありました。傾聴のレッスンでは、「聴き手が直視すると、話し手が目をそらせてしまう。視線はどうすれば良いのか？」質疑があり、「視線は目の下、鼻のあたりが良いでしょう」とアドバイスを受けながら進行了ました。話し手のテーマで「私の自慢話」が振られた時は、みんな少し恥ずかしそうにしていたのが印象的でした。

講義後には、アンケートの提出をお願いしており、その内容をご紹介します。

受講の動機は、「薬剤師として薬だけでなく、何か力になれる事はないか」「病気で心の弱った患者さんへの対応に活かしたい」「コロナの影響で不安を抱える人も増えていると思い、何か役に立てればと思った」「患者対応する中で、相手の気持ちを少しでも察することができればと思った」等、善意的な動機がほとんどでした。

そして、今回の研修を受け、ゲートキーパーとして活動できると思いませんか？の質問に対しては、「できると思う・・・1名」「どちらかといえばできると思う・・・4名」「どちらともいえない・・・9名」「できないと思う・・・1名」の結果でした。

最後になりますが、日本産業カウンセラー協会の仲村千枝子氏、慶留間由美子氏、また貴重な休日にお集まり頂いた会員の方々に、大変感謝いたします。そして、新型コロナウイルスの流行による社会情勢の変化によって、自殺者数への影響はどうであったかは気になるところですが、警察庁の自殺統計に基づく、日本全国の令和2年累計の自殺者数は、速報値20,919人、対前年比は、750人増となっております。沖縄県の令和2年累計の自殺者数は、速報値201人、対前年比48人減となっております。減少数では全国1位、減少率でも佐賀県に次いで全国2位となっています。これは、沖縄県民のゆいまーる精神によるものではないとも言われています。しかしながら、まだ多くの方が自殺で亡くなられており、自殺対策に真剣に取り組む必要があります。この研修会が、薬剤師として「自殺対策」にどう向き合えば良いのか、スキルアップに繋がれば幸いです。

女性薬部会

女性薬剤師部会主催
第31回漢方講座

日時：令和3年1月24日（日）10:00～11:30

会場：沖縄県薬剤師会館 ホール



女性薬剤師部会
副部長 与儀 和子

私たち薬剤師は、知識として漢方薬をわかっているつもりでも、実際にどの薬方薬を選ぶかという場面においては、決め手に迷うことを多々経験するのではないのでしょうか。私自身、そこをクリアしたいという思いがありました。今回、実際に漢方相談員として日々奮闘されている盛本直也先生のお話を拝聴する事が出来ましたのでご報告致します。

ただ、漢方の考え方、捉え方は奥が深く今回の報告文の殆どが、盛本先生のレジユメの書き写しになってしまったことをご容赦頂きたいと思います。

前回(第30回)の漢方講座で「主治」とはその漢方薬が適応する病態(症)のことと学びました。今回は、「本治」と「標治」という文言が出て参ります。イメージとして「本治」は森で「標治」を木(枝や葉)と捉えて頂けたら理解がし易いかと思います。

<今回の内容>

1.本治

五臓・陰陽・表裏・熱寒 を整理して漢方を選定する。そのためには八綱弁証の理

解が必要。

なぜ、人は病気になるのか:心・食・動・休・環の乱れでバランスが崩れ、五臓六腑に影響が出る。

「漢方薬選定において大切なこと」

枝葉の症状(木)に振り回されて根本(森)を見落としてはならない。根本(主治)を見つけてアプローチすること。そのために必要なことは、患者さんとのコミュニケーション(しっかり話しを聞くこと)である。

2.標治(症状に合わせた選定)

体質を確認し漢方薬を選定する。

- (1) 聞くべき体質
- (2) 体質から判断できること
- (3) 体質から選ぶ漢方薬
- (4) 間違っではいけない体質と漢方選定



テーマ：「実証例を交えた漢方薬の選定方法」

講師：盛本 直也(漢方みず堂ヴァインドラックあがり浜薬局 薬剤師・漢方相談員)

(1) 聞くべき体質

疲れやすい、風邪をひきやすい、貧血、暑がり、寒がり、肩・首・背中のコリ、のぼせ冷え(手・足・腰)、ほてり(手・足)、汗かき、寝汗、無汗、目の下のくま、肌の状態、食欲、便通、耳鳴り(音の高低)、水分摂取、女性には生理周期

(2) 体質から判断できること

(例) 疲れやすい・風邪をひきやすい→気虚。貧血→陰虚。耳鳴り→高い(ストレス・肝)・低い(腎虚)。生理周期→瘀血・血虚・気虚など

(3) 体質から選ぶ漢方薬

熱実・熱中・熱虚・中間証・寒実・寒中・寒虚
患者さんの体質をみきわめたうえで主治を確認して漢方薬を選定する。

(4) 間違っただけとはいけない漢方選定

証の取り違えによって症状の悪化が生じる事がある。

(例)： 冷え

手足の冷えの場合、「寒」と捉えて「温」の漢方薬を処方するが、身体の方が暑い場合は「熱」と捉えなければならぬ。この場合、循環が悪く末端まで温められていないので循環改善が必要になる。例えば、桂枝茯苓丸など理気か活血を用いる。

3. 実例をもとに漢方選定

症例① 頭痛(柴胡加竜骨牡蛎湯を処方した例)

背景: 一日中、パソコンに向かって仕事している。慢性的な肩凝り、酷くなると頭痛がする。

解説: 同じ姿勢を長時間維持する事で血流が滞り肝気の流れを乱し頭痛を起こしている。肝の高ぶりを沈める必要があります。肝の働きは疎泄をよくすること。吐き気や咳(気逆)がある時は、半夏厚朴湯か柴朴湯。

症例② 頭痛(加味逍遙散を処方した例)

背景: 33歳女性。身長150cm、体重45kg。暑がり。天気が悪くなる前から頭痛がする。梅雨の季節を思うと憂鬱で仕方がない。ストレスを溜め込みやすく、周りが気になりイライラしやすい。ズキズキ、こめかみを締め付けられるような痛みがする。

解説: 気圧の変動による頭痛は自律神経の乱れによると捉える。(水滯からくる場合は五苓散)

症例③ 排尿痛・血尿

背景: 60歳女性。身長156cm、体重60kg。暑がり。味の濃い食べ物を好む。お酒は週に3回ほど。1週間前から排尿痛あり。病院受診したが異常なしのため処方薬なし。しかし、血尿は検査のたびに引くかかる。家庭に於いては、母親の介護のため病院や施設の往復で忙しくしている。漢方処方: 猪苓湯が基本的な処方になるが、症状(木)を取るだけの処方で、本治(森)は別に原因あると考える。

竜胆瀉肝湯: 痰湿熱・体内の熱を冷まし排泄する働きが期待できる。処方1か月後には血尿も良くなっている。

解説: 急激なストレスから肝熱から心に熱が移り心熱となることにより痛みを伴う膀胱炎様症状が起きた。そこで本治(主治)としては、心の熱を取ることを優先する。

症例④ 慢性鼻炎

背景: 24歳女性。身長160cm、体重70kg。暑がり。甘味を好む。便秘あり。お酒(毎日500mlのビール5本) 仕事のストレスを甘味と酒で現実逃避。

症状: 起床時のくしゃみ、滝のような鼻水。午後から鼻詰まり。病院受診してアレルギーの薬のんでいる。服用時は良いが飲まない症状がでる。

漢方処方:小青竜湯と辛夷清肺湯

経過:朝の鼻水は改善されるが、鼻詰まりは改善みられず1か月経過。本治に移行→体質を改善することになる。本治を肝鬱と捉えて肝鬱を改善する。桃核承気湯を用いた所と、鼻水と鼻詰まりの症状が改善された。

症例⑤ 鼻・脳内・過度な緊張

背景:55歳男性。身長165cm、体重60kg。

症状:1年前から鼻の中がグチュグチュしてアメーバがいる感じがする。脳の中も同じ感じがして気持ち悪い。プレゼン時に話が出来ないほど緊張がひどくて仕事にならない。病院では心療内科に行くようにいわれてショックを受けている。脳内異常なし。

漢方処方:柴胡桂枝乾姜湯

経過:服用1か月後から緊張感がとれてプレゼンも上手く話せるようになった。鼻と脳内のアメーバはまだ改善みられない。患者さんとのコミュニケーションを重ねていくことにより「気滞」が強いために、

鼻の中や脳内の違和感が生じていると考え「柴朴湯」を追加。半年後、鼻のアメーバは改善し、1年後頭の中もすっきりした。

20年以上の永きにわたって漢方の相談員としてお仕事を続けて来られた盛本先生は、何より相談に来られた方とのコミュニケーションを大切にされていて、初回は、40分から2時間くらいも話を聴くことがあると仰っていました。丁寧に聴く事で、点と点を線で結び全体を捉えることが出来るということです。八綱弁証の理解には、地道な学びを継続し、実際に相談にのる事の積み重ねが大事な事だと思いました。

私もいつの日か漢方の面白さを味わいたい。その為にも、いま最大の関心事であるアンチエイジングについて情報を頂けた事が大きな収穫でした。

この拙い報告文にお目をとおしてくださった方にも！ アンチエイジングは補腎ですよ！

お知らせ

地区・部会からの原稿をお寄せ下さい！

ぜひ“おきなわ薬剤師会報”へ地区薬剤師会、部会の活動・状況報告等を投稿して下さい。活動報告以外の情報も歓迎します！

お知らせ

<県薬が会員に販売している印刷物等>

- お薬手帳
 - 薄青色 14 ページ 1 冊 12 円
 - 薄黄色 34 ページ 1 冊 22 円
- “マッシュ君”お薬手帳 1 冊 22 円
- 管理薬剤師業務日報 1 年分 1 冊 600 円
- 処方せん 100 枚 1 冊 160 円
- お薬手帳カバー 1 枚 22 円

※薄青色、薄黄色の2色ありますが、同内容・同頁です。

※表示価格は税抜きです。

学薬部会

令和2年度学校薬剤師九州ブロック連絡会議

日時：令和3年2月6日（土）16:00～18:30

会場：大分県薬剤師会館より web 配信

令和3年2月6日（土）16時より大分県薬剤師会主催、web配信にて令和2年度学校薬剤師九州ブロック連絡会議が開催され、日本薬剤師会副会長や常務理事、九州8県の代表者や山口県も加わり31名の参加者で行われた。

開催県大分県薬剤師会会長挨拶、そして日本薬剤師会副会長の挨拶後に会議に入った。

まず初めに富永孝治日本薬剤師会常務理事より「学校薬剤師部会活動の現状報告と課題について～学校薬剤師活動の充実等に向けて～」と題して下記の報告がなされた。

- ・令和2年度日本薬剤師会学校薬剤師部会事業計画
- ・学校薬剤師関係の大会、講習会等について
- ・学校環境衛生検査票様式の活用について
- ・全国学校保健調査結果報告
- ・学校薬剤師の適正配置について
- ・学校教育への協力について
- ・学校薬剤師活動の支援資料
- ・学校薬剤師に関する最近の話題

○新型コロナウイルス感染症への対応、学校の新しい生活様式の現況の報告

最初の緊急事態宣言時は全国一斉休校が続いたが、今回の場合は一斉休校要請せず感染

学校薬剤師部会
代表理事 知名 博樹



防止対策に万全を期した上での教育継続を行っている。

学校教育を進めるにあたって下記の各チェック項目を確認していく。

チェック1

健康観察の徹底、リスクの高い活動の回避等更なる感染対策の徹底しながらも学校または薬局で感染者が出た場合のフローチャートを参考に迅速な対応を取ること。

チェック2

感染防止対策のひとつとして換気をしっかり行うこと、生徒児童には役割を与え、責任を持たせる等の工夫を凝らしてみんなで感染対策に取り組むこと。

チェック3

給食活動における留意点、会話や部活動時の工夫と対応、手洗い場で密にならないための行動など。

チェック4

消毒剤と消毒する場所の検討、普段の清掃や消毒のポイント



左より、web会議に参加した
村田成夫学校薬剤師部会長、亀谷浩昌会長、知名博樹理事



＜令和2年度学校薬剤師九州ブロック連絡会議 次第＞

- | | |
|---|-----------------------|
| | 司会：大分県薬剤師会 常務理事 佐藤 英隆 |
| 1. 開催県挨拶 | 大分県薬剤師会 会長 安東 哲也 |
| 2. 日本薬剤師会代表挨拶 | 日本薬剤師会 副会長 田尻 泰典 |
| 3. 九州山口薬剤師会会長挨拶 | 福岡県薬剤師会 会長 原口 享 |
| 4. 学校薬剤師部会活動の現状報告と課題等について
～学校薬剤師活動の充実等に向けて～ | 日本薬剤師会 常務理事 富永 孝治 |
| 5. 九州ブロックにおける学校薬剤師活動等に関する協議 | |
| (1) 消毒や「マスクなどの衛生管理について（福岡県） | |
| (2) コロナ禍の学校における二酸化炭素濃度測定の実施について（福岡県） | |
| (3) 学校薬剤師の薬物乱用防止講演に対する研修会の実施や薬物乱用防止講演の実施率調査について（福岡県） | |
| (4) 学校薬剤師が未配置の学校（分校、昼間部、夜間部、通信制）や園に対する設置者への対応や要望について（長崎県） | |
| (5) 県の学校薬剤師部会、委員会などで所有している検査機器について（長崎県） | |
| (6) 学校薬剤師並びに学校薬剤師部会（委員会）の広報活動について（長崎県） | |
| (7) 新型コロナウイルス感染防止の対応について（熊本県） | |
| (8) 特別支援学校における薬の取り扱いについて（熊本県） | |
| (9) 学校薬剤師の報酬について（宮崎県） | |
| (10) 学校保健会への参画の状況（宮崎県） | |
| (11) スマホ依存防止教室等の講義（宮崎県） | |
| (12) 認定こども園への対応（宮崎県） | |
| (13) 教職員の健康管理について学校薬剤師の関わりはあるか（鹿児島県） | |
| (14) 災害時、学校が避難場所となる際の感染対策について（鹿児島県） | |
| (15) 学校環境衛生検査全項目実施に向けての予算化について（沖縄県） | |
| 6. 閉会挨拶 | 大分県薬剤師会 副会長 友成 朗 |

With Corona -After Coronaの中においても健康教育や感染対策で良質な学校教育の提供を行い、大人が子どもをCOVID-19から守ること。

引き続き、九州ブロックにおける学校薬剤師活動等に関する協議が行われた。

多数の協議事項の中、内容を大きく以下4つに分けて協議し意見交換を行った。

- ① コロナ禍における学校環境について
- ② 学校薬剤師に関する広報活動（配置や報酬等含む）
- ③ 薬物乱用防止教室やスマホ依存症等の講義・講演に関して
- ④ 検査機器等について

やはり、時事的な課題として、コロナ禍に

おける学校での基本的な感染対策について大きく取り上げられ、協議する時間が長かったと言える。「教育施設で使用する消毒剤や消毒箇所周知や指導をどのように行なっているか」「喚気について二酸化炭素濃度測定の際に必要な機器や予算はどのようにしているか」「文部科学省が示す『学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル』において、例外やマニュアルには載っていない不意な事案で対応に苦慮したことがないか」等、様々な協議事項があった。

それぞれの県がそれぞれの地域性を活かし様々な対応を行っていることが分かり、自県でも取り入れられることや参考になることがたくさんあった。今後においても、これらの協議内容や情報をみんなで共有し学校薬剤師活動に寄与したい。

県民の皆様へ

薬剤師会をご活用ください！

やくたっ
薬達ちゃーより

あまくま^{やくだ}薬立つ情報

➤ 健康とおくすり相談会

健康とおくすり相談会は、県内各地（離島も含む）の公共の施設や広場、デパート、ショッピングセンターにおいて、毎月開催！薬剤師がアドバイザーとして、直接、お薬や健康について無料で相談に応じています。また、相談会場では体成分測定機や動脈硬化度チェックなどの機器も備え、皆様の健康維持に役立つように取り組んでいます。（会場によっては、測定機器の内容が変わることがあります。）

開催日時や会場、相談会内容などについて、お気軽にお問い合わせください。

電話 098-963-8930

➤ おくすり相談室

県民の皆様からのお薬に関する疑問、質問にお答えしています。お気軽にご相談ください。（薬局・薬店で販売されているお薬や調剤されたお薬についてのご相談など）

電話 098-963-8935

➤ 試験検査センター

試験検査センターでは、薬事法施行規則第12条第1項に関する試験検査機関の登録機関として、医薬品等の検査を行っています。

薬局で調剤されたお薬について検査を行いたい時にご相談をお受けします。（検査の際は、調剤した薬局やその他の機関への協力を仰ぐことがあります。）

なお、当センター施設設備では対応が難しい場合がありますのでご了承下さい。

電話 098-963-8934

e-mail siken@okiyaku.or.jp

➤ 薬局情報・その他

沖縄県薬剤師会から県内の「薬局マップ」が得られます。禁煙サポート薬局や訪問服薬指導実施（在宅支援）薬局などの薬局情報もお知らせします。ぜひ、あなたの“かかりつけ薬局”をおもちになってください。（詳細は沖縄県薬剤師会ホームページを閲覧ください。）

沖縄県薬剤師会ホームページでは、「沖縄の薬草」や「サプリメント」などの情報も随時アップ
<ホームページアドレス <http://www.okiyaku.or.jp>>

薬事情報おきなわ No.264

2021年3-4月号 : Vol.36 No.1

薬事情報センター TEL : 098-963-8931

FAX : 098-963-8937

薬価基準追補収載品目

●新医薬品 2021年2月18日付

区分	販売名 ()内は識別コードまたは製剤表示	規格単位	薬価	会社名	成分名:適応症・効能効果
外用薬	テルリジー200エリブタ14吸入用	14吸入1キット	4,764.50	グラクソ・スミスクライン	フルチカゾンフランカルボン酸エステル・ウメクリジニウム臭化物・ピランテロールトリフェニル酢酸塩:3成分配合喘息治療剤(○気管支喘息(吸入ステロイド剤、長時間作用性吸入抗コリン剤及び長時間作用性吸入β ₂ 刺激剤の併用が必要な場合))(新医療用配合剤)
	テルリジー200エリブタ30吸入用	30吸入1キット	10,098.90		
注射薬	ラスピック点滴静注キット150mg	150mg1キット (希釈液付)	4,034	杏林製薬	ラスクフロキサシン塩酸塩:ニューキノロン系注射用抗菌剤(適応菌種)本剤に感性のプロドウ球菌属、レンサ球菌属、肺炎球菌、腸球菌属、モラクセラ(プランメハラ)・カタラーリス、大腸菌、クレブシエラ属、エンテロバクター属、インフルエンザ菌、レジオネラ・ニューモフィラ、ペプトストレプトコッカス属、ペイオネラ属、バクテロイデス属、プレボテラ属、ボルフィロモナス属、フソバクテリウム属、肺炎マイコプラズマ(マイコプラズマ・ニューモニエ) (適応症)肺炎、肺膿瘍、慢性呼吸器病変の二次感染(新投与経路医薬品)

* 識別記号の「@」は製薬会社のマークの代用としています。



Medical News

●英製接種後に血栓や脳出血～ノルウェー 50歳未満 (共同通信3月15日)

ノルウェーの保健当局は13日、英アストラゼネカ製の新型コロナウイルスワクチンを接種後、血栓や脳出血などの重症となった例が複数報告されたと発表した。一部は50歳未満の比較的若い年代とみられ、接種との関連を調べている。同社製ワクチンを巡っては既に他国でも血栓が出る症例が確認され、ノルウェーは警戒のため、同社製の接種を11日から中断している。

●健康食品からメラトニン-薬機法違反で販売中止～東京都 (薬事日報3月18日)

東京都は12日、睡眠導入等を目的とした健康食品1製品から、入眠改善剤に含有される医薬品成分「メラトニン」が検出されたと発表した。検出されたのは、渋谷区のCIGAが米国から輸入販売していた「HEMP Baby CBDグミ」の1製品。原材料としてコーンシロップや砂糖のほか、睡眠導入や炎症抑制等を目的とするカンナビジオールを含んでいる。

●コロナ再感染率は0.65% デンマーク調査 接種必要 (共同通信3月18日)

新型コロナウイルスに感染した人が一定期間後に再感染する確率は0.65%だとする調査結果をデンマーク政府系機関などのチームがまとめ、英医学誌ランセット電子版に掲載された。再感染率は低くても「感染による免疫には頼れない」と指摘。特に高齢者はやや高い傾向にあり、一度感染してもワクチン接種の必要があるとした。

●大阪府 ワクチン接種、手引き公表-住民持参物に「お薬手帳」 (薬事日報3月23日)

大阪府は18日、府下43市町村に向けた「新型コロナウイルスワクチン集団接種会場マニュアル作成の手引き」を公表した。この中で、住民への持参物としてお薬手帳を明記した。予診票の確認時には多剤を服薬している可能性のある高齢者について事前に手帳の持参を促した上で、薬剤師の配置を検討することが望ましいと記載。接種会場内の環境管理では、環境衛生の知識のある学校薬剤師の配置を推奨している。

●薬局の後発品割合8割に-バイオ後続品は処方低調 (薬事日報3月26日)

後発品の使用促進策に関する2020年度診療報酬改定の影響を検証した報告書がまとまった。保険薬局対象の調査では、「後発品調剤体制加算」について調剤数量割合の高い加算を重視して評価したことなどが影響し、薬局の平均使用割合は2.5ポイント増の80.2%に上昇した。調査は、保険薬局1500施設、診療所1500施設、病院1000施設を対象に昨年12月に実施。有効回答数はそれぞれ712施設、535施設、246施設だった。

●第106回薬剤師国試、合格率68.66% -コロナ影響、結果に響かず (薬事日報3月26日)

厚生労働省は24日、第106回薬剤師国家試験の結果を発表した。受験者数1万4031人のうち合格者は9634人と前回より324人下回った。合格率は0.92ポイント減の68.66%、厚労省は「一定数の人が合格できる例年並みの難易度であり、適切に試験が実施された」としている。6年制新卒者の合格者は7452人で合格率は85.55%、6年制既卒は2079人で41.29%。

jq 公益財団法人 日本医療機能評価機構

医療事故情報収集等事業

医療 安全情報

No.170 2021年1月

咀嚼・嚥下機能が低下した患者に 合わない食物の提供

患者の咀嚼・嚥下機能に合わせて全粥食・軟菜食などを選択したが、食事のオーダーシステムの食種の取り決めでパンが提供され、患者が窒息した事例が5件報告されています(集計期間:2016年1月1日~2020年11月30日)。この情報は、[第62回報告書「分析テーマ」](#)で取り上げた内容をもとに作成しました。

咀嚼・嚥下機能が低下した患者にオーダーした食種と合わない食物が提供され、患者が窒息した事例が報告されています。

オーダーした食種	提供された食物	主な背景
全粥食	パン	システム ・全粥食でオーダーしても、「パン禁止」と入力しないと、献立によりパンが提供されることがあった ・軟菜食の朝食は、パンに設定されていた ・全粥食の遅延食は、食パンが提供されることになっていた オーダーした医師 ・全粥食でも献立によりパンが提供されることを知らなかった ・軟菜食の朝食がパンに設定されていることを知らず、全粥に変更しなかった
全粥食・軟菜食		
全粥食・一口軟菜食		
軟菜食		
低残渣食(主食は粥)		

◆報告された事例は、患者の咀嚼・嚥下機能にパンの提供が合わなかったと記載されていた事例です。

咀嚼・嚥下機能が低下した患者に合わない食物の提供

事例 1

当院では、全粥食をオーダーした場合に「パン禁止」と入力しないと、献立によりパンが提供されることがある。医師はそのことを知らず、嚥下機能が低下した患者に全粥食をオーダーした際、「パン禁止」と入力しなかった。入院3日目、朝食にパンが提供され、看護師Aの見守りのもと患者は食事を開始した。患者は前日までむせ込まずに摂取できていたことから、看護師Aは他患者の対応のため患者のそばを離れた。数分後、看護師Bがモニター上でHR44回/分であることに気づき訪室したところ、患者の呼吸が停止していた。口腔内のパンの塊を取り除き、心肺蘇生を実施し、人工呼吸管理となった。

事例 2

当院では、軟菜食の朝食の主食はパンに設定されている。医師はそのことを知らず、食種を全粥・一口大とろみ食から軟菜食に変更した。朝食にパンが提供され、看護師の見守りのもと患者は食事を開始した。口腔内に食物が残っていたため看護師は止めようとしたが、患者はパンを食べ続け、その後窒息した。

事例が発生した医療機関の取り組み

- ・咀嚼・嚥下機能が低下した患者にオーダーする食種では原則としてパンを提供しない設定にシステムを変更する。
- ・咀嚼・嚥下機能が低下した患者にパンを提供することによる窒息の危険性を院内に周知する。

上記は一例です。自施設に合った取り組みを検討してください。

取り組みのポイント

- ・全粥食・軟菜食などのオーダーでパンが提供される設定は、窒息のリスクを伴うことを認識しましょう。

(総合評価部会)

※この医療安全情報は、医療事故情報収集等事業(厚生労働省補助事業)において収集された事例をもとに、本事業の一環として総合評価部会委員の意見に基づき、医療事故の発生予防、再発防止のために作成されたものです。

本事業の趣旨等の詳細については、本事業ホームページをご覧ください。http://www.med-safe.jp/

※この情報の作成にあたり、作成時における正確性については万全を期しておりますが、その内容を将来にわたり保証するものではありません。

※この情報は、医療従事者の裁量を制限したり、医療従事者に義務や責任を課す目的で作成されたものではありません。



公益財団法人 日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町1-4-17 東洋ビル

電話：03-5217-0252(直通) FAX：03-5217-0253(直通)

http://www.med-safe.jp/

【公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構より】
糖質コルチコイドの注射使用の取り扱いについて(周知のお願い)

糖質コルチコイドの取り扱いについて

1. 2021 年禁止表国際基準

2021 年の『S9 糖質コルチコイド』は一部例示物質が追加されましたが、禁止内容については 2020 年から変更はありません。引き続き、経口使用・静脈内使用・筋肉内使用または経直腸使用はすべて禁止されます。

2. 2022 年禁止表国際基準（改定予定）

●2022 年 1 月 1 日より、競技会（時）に現在禁止されている使用方法（経口使用、静脈内使用、筋肉内使用、経直腸使用）に加えて、すべての注射経路¹（局所注射を含む）が禁止されます。

●禁止された方法で糖質コルチコイドを治療目的で競技会（時）に使用した場合は治療使用特例（TUE）が必要です。また、競技会外において治療目的で使用した糖質コルチコイドが競技会検査で検出された場合は TUE の遡及的申請ができます。

¹注射経路の例：静脈内、筋肉内、関節周囲、関節内、腱周囲、腱内、硬膜外、髄腔内、滑液嚢内、病巣内（ケロイド等）、皮内および皮下など

3. 遡及的 TUE 申請の手続き

TUE は、原則、禁止物質・禁止方法の使用前に申請し認められれば、その禁止物質・禁止方法を治療目的で使用できる制度です。ただし、いくつかの場合には遡及的に申請することができ、2021 年治療使用特例に関する国際基準より、遡及的 TUE 申請ができる場合として、競技会（時）にのみ禁止された物質を競技会外において治療目的で使用した場合は加わりました。

競技会外で糖質コルチコイドを使用した結果として競技会（時）のドーピング検査において当該物質が検出された場合は、その後で TUE を遡及的に申請することができます。TUE の審査により TUE が付与されれば、違反が問われることはありません。TUE 付与の基準は事前申請の場合と同じで、診断と治療の正当性を証明する必要があります。

4. (まとめ) 2022 年 1 月からの対応

筋骨格損傷の急性炎症に対する糖質コルチコイドの局所注射（筋肉注射、関節内注入等）を競技会外でおこない、その後の競技会（時）のドーピング検査によって当該糖質コルチコイドが検出された場合は、TUE の遡及的申請が必要です。

TUE 申請には、診断根拠、および糖質コルチコイドの局所注射を選択した理由が必要となります。アスリートやサポートスタッフの皆様には、受診時に主治医（処方医）に対し、検査結果や診断所見等の記録を残し、必要に応じて医療情報が必要となることを依頼するようご周知ください。また、医療従事者の皆様には医療記録の保管と医療情報提出へのご協力をお願い致します。

5. (参考) 禁止表改定の変遷

	2020年まで	2021年	2022年(予定) ※内容は現時点で未定
内容	すべての糖質コルチコイドの経口使用、静脈内使用、筋肉内使用又は経直腸使用はすべて禁止される。	変更なし	すべての糖質コルチコイドの経口使用、すべての注射経路、経直腸使用は禁止される。

6. 2022年禁止表発行までの予定

2021年5月～7月：2022年禁止表国際基準ドラフトに対するコンサルテーション

2021年10月：2022年禁止表国際基準公開

2021年10月以降：2022年禁止表日本語訳作成、国内関係団体へ周知

※2022年禁止表の改定方針が確認できしだい、再度周知予定

「薬剤師のためのアンチ・ドーピングガイドブック 2021年版」について

<日薬文書より>

平成16年より毎年作成しております「薬剤師のためのアンチ・ドーピングガイドブック」ですが、2021年版につきましても、世界アンチ・ドーピング機構(WADA)の定める最新の世界アンチ・ドーピング規定及び2021年WADA禁止票に準拠した同ガイドブックを発売することといたしました。

「薬剤師のためのアンチ・ドーピングガイドブック 2021年版」の取扱いについて6月中旬頃に日本薬剤師会ホームページに本ガイドブックの全文がPDF形式にて掲載され、どなたでも**無料**で入手可能ですが、冊子としてご購入(1冊250円送料込み)をご希望の方は、**4月19日17時まで**に沖縄県薬剤師会ホームページにてご注文下さい。

○ご注文方法

沖縄県薬剤師会ホームページ - 会員の頁【アンチ・ドーピングガイドブック】よりご注文頂けます。

※窓口での受け取りは行わず、郵送のみの販売となります。ご理解宜しくお願い致します。

2021年度公認スポーツファーマシスト認証プログラム受講者募集

募集期間：2021年4月19日(月)12:00～4月23日(金)17:00

受講期間：2021年7月1日(木)12:00～7月16日(金)17:00

日本アンチ・ドーピング機構(JADA)のホームページにてお申し込みください。

(受講料(基礎講習会・テキスト代):7,600円、認定料:21,000円(4年間有効))

【 薬剤師から一般の方々に向けた 新型コロナウイルスワクチンに関する FAQ 】

(日本薬剤師会 2021年3月17日版より一般向け説明のみを抜粋しています)

*全文は日本薬剤師会ホームページをご覧ください。

【本 FAQ の目的】

ワクチン接種は新型コロナウイルス感染症を終息させる手段として欠かすことのできないものである。そのためには、国民の方々に安心してワクチン接種を受けていただくことが必要となる。そこで日本薬剤師会では、薬局やワクチン接種会場などで、薬剤師が根拠の情報を基に国民にできる限り正確に説明できるツールとして、本 FAQ を作成した。

【本 FAQ 作成の背景】

新型コロナウイルスに対するワクチンは mRNA ワクチン、ウイルスベクターワクチン、DNA ワクチンなど、新たな技術で開発されたタイプのものが多い。そのような医薬品の場合には慎重な審査が求められるが、ワクチン接種が急がれており、ファイザー社のワクチン「コミナティ筋注」は日本での審査を簡略化する特例承認の制度が適用され、承認された。その他の新型コロナワクチンも開発されたばかりである上に、関心の高さも手伝って、新型コロナワクチンに関する様々な情報が錯綜している状況である。それ故に国民のワクチンに対する不安感が十分に払拭されていない様子もうかがえる。そのため、薬剤師は科学的なエビデンスに基づく正確な知識をもって、判りやすく国民に情報を伝えていく役割を担う必要がある。

【本 FAQ の内容について】

新型コロナウイルス感染症および新型コロナウイルスに対応するワクチンについては、次々と新しい知見が公表されているが、本 FAQ ではそうした知見のうち、公的機関等によって、確認、評価された情報に基づき作成している。「一般向け説明」は薬剤師が薬局やワクチン接種会場などで国民から質問を受けた際の回答を例として示したものであり、個々の国民のリテラシーの違い（医療、感染症やワクチン製剤等に対する知識など）に配慮するとともに、徒に不安を招くことのないよう、また、十分に理解できるよう、本 FAQ に示した回答の主旨を踏まえた説明を行うことに留意する必要がある。新型コロナウイルス感染症を終息に向かわせるには、多くの国民にワクチン接種が感染拡大予防の効果的な手段であることを理解していただき、その上で、ワクチン接種にご協力いただくことが大切である。国民と向き合う薬剤師には、このような認識に立って丁寧な説明をお願いしたい。

1. ファイザー社のワクチンは新しいタイプのワクチンとのことですが、どのようなものですか？

これまでのワクチンは、ヒトの身体の中で、病原ウイルスに対する免疫を上げるために、病原体は生きていたが病原性を弱めたものや、病原性のないウイルスの一部（抗原となるた

んばく質)を接種するものが一般的でした。今回のファイザー社のワクチンは、ウイルスの表面にあるタンパク質を作る基になる情報(メッセンジャーRNA:mRNA)が含まれています。このワクチンを接種すると、人の細胞内でそのタンパク質が作られ、このタンパク質が人にとって異物であると認識されることでウイルスに対する免疫が出来上がります。新しいタイプのワクチンなので、定期的な体調のフォローアップは必要ですが、日本に先行して海外で使われてきて、有効性、安全性のデータが逐次報告されています。日本の接種実績の情報も遅滞なく公開されています。

2. 今回接種されるファイザー社のワクチンは安全ですか？

承認されたファイザー社のワクチンは、国内においての臨床試験の結果を踏まえ、有効性・安全性が確かめられ、承認されました。また既に、アメリカでは、1回以上のワクチン接種をした人が約7000万人に達しています(3月15日現在)。副反応の多くは注射部位の腫れや痛みなど局所反応で、発熱、倦怠感などの全身症状も後遺症のない一過性のものです。ごくまれにアナフィラキシーを起こす方がいますが、アメリカの報告では20万回当たり1例程度で、ほぼ全員が回復しています。国内では、3月15日までに約29万回の接種が行われ、アナフィラキシーが疑われる36例の報告がありました。そのうちの17例を専門家が国際基準で評価したところ、7例がアナフィラキシーに該当するとされました。単純な計算では、アメリカに比べて、アナフィラキシーの発生頻度が高くなりますが、仮にアナフィラキシーが発生しても、適切に治療が行われていることから、国は安全性において重大な懸念は認められないと評価しています。これまでにアナフィラキシーを起こした方の90%が接種後30分以内に症状が現れています。また適切に処置をすればいずれも治療可能なものです。注射後しばらくの間(15分~30分程度)は接種会場にて安静にさせていただくのは、こうしたまれな状況にも対処するためですので、接種会場の係員の指示に従って下さい。

3. ファイザー社のワクチンは冷凍保存が必要と聞いていますが、流通は大丈夫でしょうか？

ファイザー社のワクチンは、約マイナス70°Cで有効期限(6ヶ月)まで保管ができます。そのため、ドライアイス入り保冷ボックスや、マイナス70°Cでの保管が可能な冷凍庫が準備されていますのでご安心ください。また、保存している温度によって、ワクチンの有効性を保つことができる時間が決まりますので、接種が行われるまで、移送や保管では、厳格に温度や時間の管理を行います。なお、ワクチンの安定性を検討した結果、3月1日、ワクチンを保管する温度が、-25°Cから-15°Cでも、二週間の保存が可能であるとされました。この温度での保管が可能となりましたので、接種場所への配送や接種会場での保管などが、よりやりやすくなると予想されます。

4. ワクチンは2回接種する必要がありますか？

ファイザー社、モデルナ社、アストラゼネカ社の新型コロナウイルスのワクチンは、現在のところ、いずれも、21日から28日の間隔での2回接種が必要です。また、いずれのワ

クチンも、現時点の臨床試験では「1回の接種よりも、2回接種の方が、抗体の値高い（＝より効果がある）となる傾向が見られた。」との結果がでています。このため、現状では2回接種が行われる予定です。なお、1回だけの接種での効果や、ワクチンの接種間隔をより広げた場合の効果、1回目の接種量と2回目の接種量を変える、1回目と2回目で別のワクチンを使う等については、現在、有効性・安全性の観点から、臨床試験中という状況です。

5. 一番効果のあるワクチンを接種したいので、選べますか？

接種するワクチンを選ぶことはできません。接種を受ける時期に供給されているワクチンを接種することになります。日本においても効果の検証を慎重に行いますので、いずれのワクチンも、一定以上の効果のあることが確認された後に承認され、供給されます。また、複数のワクチンが供給されている場合でも、1回目の接種と2回目の接種で、同じ種類のワクチンを接種する必要があります。

6. ワクチン接種を受けなかったら、どうなりますか？

ワクチン接種を受けると、ワクチン接種を受けない場合に比べ、発症リスクが20分の1になるというデータがあります。これは「ワクチンを接種しなかった人たち」と「ワクチンを接種した人たち」の発症率を比べたもので、接種しなかった人たちの発症率を100%とすると、接種した人たちに発症率は5%であったことを示しています。新型コロナウイルスワクチンの接種は強制ではありませんが、非常に高い効果が期待できますので、発症予防の効果と副反応のリスクを正しく理解した上で、接種に臨むことが必要と思います。また、発症予防効果のほかに、「重症化を防ぐ効果」も期待されていますが、こちらについては、現在も、検証が続けられています。

7. ワクチン接種に費用はかかりますか？

全額公費で接種を行うため、無料で接種できます。

8. ワクチン接種直後の副反応について教えて下さい。

これまでに報告された、新型コロナウイルスワクチンの接種後、すぐに現れる可能性のある副反応は、アナフィラキシーと血管迷走神経反射です。この2つの様子を見るため、接種後、15分以上は、接種会場で座って様子を見ていただきます。ただし、過去にアナフィラキシーを含む、重いアレルギー症状を起こしたことある場合や、採血等で気分が悪くなった方や、気を失ったことがある方は、接種会場にて30分ほど様子を見ていただきます。なお、医療機関や接種会場ではこれら副反応に対応できる体制を整えていますので、ご安心ください。アナフィラキシーはワクチンの副反応の一つで、じんましんなどの皮膚症状、腹痛や嘔吐などの消化器症状、息苦しさなどの呼吸器症状が、急に起こります。血圧低下や意識レベルの低下を伴う場合は、アナフィラキシーショックと呼ばれます。ファイザー社製の新型コロナウイルスワクチンの場合、アナフィラキシーの発生頻度は、米疾病対策センター(CDC)によると頻度は約20万回に1例でほぼ全員が回復しています。また90%以上の人が30分

以内に起こっています。血管迷走神経反射は、ワクチン接種に対する緊張や、強い痛みをきっかけに、立ちくらみがしたり、血の気が引いてときに気を失うことがあります。誰にでも起こる可能性がある身体の反応で、通常、横になって休めば自然に回復します。国内では、3月15日までに約29万回の接種が行われ、36例の急性のアレルギーの報告がありました。そのうちの17例を専門家が国際基準で評価したところ、7例がアナフィラキシーに該当するとされました。単純な計算では、アメリカに比べて、アナフィラキシーの発生頻度が高くなりますが、仮にアナフィラキシーが発生しても、適切に治療が行われていることから、国は安全性において重大な懸念は認められないと評価しています。

9. ワクチン接種会場から帰宅後に出る可能性のある副反応について 教えて下さい。

接種後、少なくとも2～3日間は以下の症状について注意して生活してください。ファイザー社製の新型コロナワクチン接種により、次のような副反応が認められています。

・注射部位の痛み、倦怠感、頭痛、筋肉痛、悪寒、関節痛、下痢、発熱、接種部位の腫れ、吐き気、嘔吐。注射部位の痛みは約8割の人で、倦怠感は約5割、頭痛は約4割の人で発生する可能性があります。ほとんどの場合、1～2日後には、症状が消失しています。もし、痛みや熱等が強ければ、解熱鎮痛剤（アセトアミノフェンや非ステロイド性抗炎症薬）を使用することも可能です。ただし、予防的な解熱鎮痛剤の投与はワクチンの効果が弱くなる可能性があるため、お勧めしません。なお、接種後当日は激しい運動、飲酒を避けてください。接種部位は清潔に保ち、入浴は差し支えありませんが、接種部位をこすることはやめましょう。

10. ワクチン接種後に自宅で副反応と思われる症状が出た場合、どうしたら良いですか？

まず、接種後数日間は、ご自身の体調に注意しましょう。ワクチン接種を受けて帰宅した後、接種した部位が痛みや熱をもってひどく腫れる、全身のじんましん、繰り返す嘔吐、顔色の悪さ、低血圧、高熱など、いつもと違う体調の変化や異常が発生したという報告があります。上記のような症状やその他気になる症状が発生した場合には、かかりつけ医や、各自治体の相談窓口等へお問い合わせ下さい。平日の日中、夜間、日曜、祝日など連絡先が異なることもありますので、それぞれについて知っておいてください（接種する自治体ごとに異なります）。

11. ワクチン接種の副反応により障害が生じたときの保障はありますか？

予防接種の副反応による健康被害は、極めて稀ですが、万が一、健康被害が生じた場合には、国が「予防接種健康被害救済制度」に基づき、迅速に救済するとされています。新型コロナワクチンの場合も、接種に係る過失の有無にかかわらず、接種を受けた方に健康被害が生じた場合で、その健康被害が接種を受けたことによるものであると厚生労働大臣が認定したときは、「予防接種健康被害救済制度」に基づき、市町村により給付が行われます。申請に必要な手続き等については、予防接種を受けられた市町村にご相談ください。

12. ワクチン接種を受けた後は他人にうつすことはありませんか？

ワクチン接種は発症予防（発症を抑える効果）の大きな手段であることに間違いはありませんが、感染予防（他の方に感染させない効果）があるかどうかは、まだわかっていません。さらに発症予防に高い効果を示しているとはいえ、100%発症を防げるわけではありません。また、1回だけ接種した場合や、2回目の接種後でも6日以内の場合は、効果が低い状況です。そのため、住んでいる地域や働いている地域で感染が終息するまでは、今までと同様、マスク着用、手洗い、3密を避けることを続けてください。

13. ワクチンは子供にも接種できますか？

現時点では、小児への有効性・安全性は確かめられていないため、小児には接種できません。ファイザー社のワクチン対象年齢は16歳以上となっています。小児（15歳未満）を対象としたワクチンの臨床試験は行われておらず、有効性・安全性が確かめられていないため、今回は対象になりません。開発中のアストラゼネカ社、モデルナ社の新型コロナワクチンは18歳以上に対して臨床試験が行われており、今後、提出された臨床試験のデータに基づき、接種の年齢が決められます。現在、ファイザー社とモデルナ社は、12歳以上の小児を対象とした臨床試験も開始しています。今後、インフルエンザワクチンのように小児への安全性が確保されたら状況は変わっていくでしょう。なお、小児は成人と比べて感染しにくい可能性がある、小児の症例は成人例と比べ軽症であり、死亡例はほとんどない、と報告されています。

14. ワクチンは妊婦でも接種できますか？

妊娠中の方も新型コロナワクチンの接種を受けることはできます。ただし現時点では妊婦又は妊娠している可能性のある女性に対するワクチンの安全性に関するデータが限られているので、リスクと有益性を良くお考えいただいた上で、接種されるかどうかの判断をしていただくことになっています。判らないこと、ご不安なことなど、かかりつけ医とも良くご相談ください。なお、日本産婦人科感染症学会・産婦人科学会では、次のような提言をしています。

- 妊娠している可能性がある方も含め、器官形成期（妊娠12週まで）は、ワクチン接種を避ける。母児管理のできる産婦人科施設等で接種を受け、なるべく接種前と後にエコー検査などで胎児心拍を確認する。
- 感染リスクが高い医療従事者、重症化リスクがある可能性がある肥満や糖尿病など基礎疾患を合併している方は、ワクチン接種を考慮する。
- 妊婦のパートナーは、家庭での感染を防ぐために、ワクチン接種を考慮する。
- 妊娠を希望される女性は、可能であれば妊娠する前に接種を受けるようにする（生ワクチンではないので、接種後長期の避妊は必要ありません）。また、3月1日に、米国疾病予防管理センター（CDC）の予防接種諮問委員会（ACIP）で、新型コロナワクチンの妊婦への安全性について、米国の最新情報が発表されました。それによりますと、2月16日までのデータで、少なくとも1回以上同ワクチンを接種した妊婦は3万人を超えており、

局所反応や全身反応について、妊娠されている方と妊娠されていない方の間で大きな差はなかったこと、流産等の妊娠に特有の問題については自然発生率（新型コロナウイルスワクチンが導入される前に起きていた頻度）と比較して大きな差異はなかったこと等が報告されています。

15. ワクチンは授乳婦でも接種できますか？

授乳中の方も新型コロナワクチンの接種を受けることができます。現時点では特段の懸念が認められているわけではなく、海外でも接種の対象とされています。判らないこと、ご不安なことなどは、かかりつけ医と良くご相談ください。

16. アレルギーがありますがワクチン接種できますか？

他のワクチンや食べ物でアレルギーを起こしたことのある方でも、多くの場合は、新型コロナワクチンの接種を受けることができます。ただし、このワクチンに含まれている成分で、過去に重度の過敏症のあった人は、接種できません。また、過去に他のワクチンの接種を受けて、2日以内に発熱があった人や全身性の発疹などアレルギーが疑われる症状が出たことがある人や、このワクチンに含まれる成分に対してアレルギーをおこすおそれがある人の場合は、医師が健康状態や体質に基づいて、接種の適否を判断することになっています。ただし、過去にアナフィラキシーを含む、重いアレルギー症状を起こしたことある場合や、採血等で気分が悪くなった方や、気を失ったことがある方は、接種会場にて30分ほど様子を見ていただきます。なお、米国の疾病予防管理局（CDC）では、他のワクチンや食べ物に対して、重いアレルギーのある方も、新型コロナワクチンの接種が可能としています。ただし、新型コロナワクチンに含まれる成分や、それに似た成分で重いアレルギー反応を起こしたことがある方には、勧めないとしています。

17. どんな順番でワクチン接種が開始されますか？

現時点では、次のような順でワクチンを受けていただく見込みです。

- (1) 医療従事者等
- (2) 高齢者（令和3年度中に65歳に達する、昭和32年4月1日以前に生まれた方）
- (3) 高齢者以外で基礎疾患を有する方や高齢者施設等で従事されている方
- (4) それ以外の方

新型コロナワクチンの接種対象は16歳以上の方です。ワクチンは徐々に供給が行われることとなりますので、一定の接種順位を決めて、接種を行っています。なお、全国民分のワクチンの数量の確保を目指していますので、順番をお待ちいただく方々にも、後から順次接種を受けていただくことができる見込みです。

18. ワクチン接種までの流れは？

▼事前の流れ

- ①接種の時期より前に、住民票のある市町村から「接種券」と「新型コロナワクチン接種の

お知らせ」が届きます。

- ②ご自身が接種可能な時期が来たことをご確認ください。
- ③ワクチンを受けることができる医療機関や接種会場をインターネットや市町村の広報でご確認ください。 ※以下の例を除き、原則として、住民票所在地の市町村（住所地）の医療機関や接種会場で接種を受けていただきます。
 - ・入院・入所中の住所地以外の医療機関や施設でワクチンを受ける方
 - ・基礎疾患で治療中の医療機関でワクチンを受ける方
 - ・お住まいが住所地と異なる方
- ④電話やインターネットで予約をしてください。

▼集団接種会場での当日の流れ

- ①持参するもの：市町村から郵送される「接種券」、「本人確認書類（運転免許証、健康保険証など）、（あれば）お薬手帳などの飲んでいる薬やアレルギー歴、治療中の病気や過去の病気がわかるもの。
- ②受付：検温、身分証明書の確認、予診票記載を行います。
- ③予診：体調や持病を確認する等必要な問診・診察を行います。 ※予診の結果、安全性の観点から接種できないこともあります。
- ④接種：上腕部に接種を行います。
- ⑤接種済証の交付：接種日・接種場所を記載した「ワクチンシール」を接種済証に貼用します（大切に保管してください）。
- ⑥接種後の状態観察：15分以上接種会場で安静にさせていただきます。 ※アナフィラキシーなどの重いアレルギー症状を引き起こしたことがある方、採血等で気分が悪くなったり、失神等を起こしたことがある方は30分ほど様子をみます。なお、ワクチン接種の方法は、各自治体により異なりますので各自治体の発表にご留意ください。

19. ワクチン接種を受けられない人は？

次の人は、ファイザー社ワクチンの接種を受けることはできません。

- ・16歳未満の方
- ・明らかに発熱（通常37.5℃以上）している人
- ・重篤な急性疾患にかかっている人
- ・過去にこのワクチンに含まれている成分で重度の過敏症のあった人
- ・上記以外に医師が予防接種を行うことが不適当な状態にあると判断した人

20. ワクチン接種当日の発熱や体調不良の場合は、どうしたら良いですか？

ワクチン接種当日に発熱（通常、37.5℃以上）した場合や、体調が悪い場合などは接種を控え、接種案内等への連絡先に連絡を入れて下さい。

～沖縄県新型コロナウイルスワクチン相談センターへ寄せられた質問より～
(2021年3月15日～3月31日)

- 妊娠中の女性にmRNAワクチンを接種しても大丈夫でしょうか。
- 透析を受けているが、ワクチン接種は可能か。
- アストラゼネカワクチンで接種後に血栓ができるとの事だが、ファイザー製のワクチンでは問題ないのか。私は不整脈があるのでとても心配です。
- 生後5か月の子供がいて授乳中だが、ワクチン接種は可能か。
- イコサペント酸エチル、カンデサルタン、ベニジピン、ロスバスタチン、ネキシウム、センノシド、アローゼン、エルデカルシトール、メコバラミン、オロパタジン服用中だが、ワクチン接種はできますか。
- 高血圧、糖尿病薬を服用。接種の順番は早くしてもらえるのか。医師の診断書は必要か。
- 70代。結核と軽い肺炎と気管支炎の既往歴あり。その後CTなど定期検査をしている。インフルエンザや肺炎球菌などのワクチン接種をしてもらっている。食べ物、野菜、小麦、貝、カニで皮膚、鼻水アレルギーになる。周りの人からアレルギーを持っているとワクチンを受けられないとか死ぬとか言われた。接種した方が良いのか。受けられないのか。
- 変異ウイルスに対するワクチンの効果は？
- ワクチンの副反応は、どのようなものがあるか。
- 家族が糖尿病。ワクチン接種は可能か。
- ATL（成人T細胞白血病リンパ腫）無発症だが、使用薬剤無し。担当医より発病の心配はないので大丈夫と言われた。降圧剤処方医師からも受けていいと言われた。大丈夫ですか。
- サワシリンでほてりがあった。治療によりすぐ改善したが、ワクチン接種会場でも言う必要があるか。
- 今、沖縄に入ってきているのはファイザーの製品だけですか。
- かつお、タコの食物アレルギーがある。抗生剤、バファリンにもアレルギーがあり目が腫れる。また、肺の手術もしたことがある。漢方薬、整腸剤も飲んでいるが、打っても大丈夫か。
- インフルザワクチン、肺炎球菌ワクチンにはアレルギーがないが、抗生物質アレルギーがある。ワクチン接種できますか。接種後アレルギーが出たら大丈夫ですか？
- SLE（全身性エリテマトーデス）の治療中で内服あり。B型肝炎ウイルス(-)内服あり。脳梗塞の経験もある。主治医より予防接種を受けていいと言われたが、大丈夫ですか。
- 高校生の時にスズメバチに刺されて、アナフィラキシー症状が出た。食べ物や薬剤のアレルギーはない。接種は大丈夫ですか。(50代)
- 98歳でも打てるワクチンですか。
- 高齢になり持病もある。アメリカで死亡もあったと聞いて、ワクチンを打つのは心配。周りが打ってから様子を見ようと思う。
- グルテン、牛乳アレルギーがあるが、接種できますか。
- 高齢者から打つのはなぜか。

今月の特集・論文

*薬事情報センターで購読している雑誌の中より特集および文献情報を掲載しました。

【今月の特集】

- ◇エキスパートナース 37巻3号
 - *褥瘡状態評価スケール DESIGN-R®2020 ここが変わった！
 - *サルコペニアの診断基準が変わった！私たちができる高齢者の栄養ケア
- ◇エキスパートナース 37巻4号
 - *新人教育にも活用できる！ここだけおさえる新型コロナウイルス対応
- ◇きょうの健康 2月号
 - *AI・アプリ・町ぐるみで対策！高血圧
- ◇きょうの健康 3月号
 - *不眠の悩み
- ◇きょうの健康 4月号
 - *慢性腎臓病
- ◇月刊薬事 63巻2号
 - *ここに注意！薬剤性の転倒・転落
- ◇月刊薬事 63巻3号
 - *周術期の薬の使い方 パーフェクトガイド
- ◇月刊薬事 63巻4号
 - *最適治療を目指すなら押さえておきたい C型肝炎の治療戦略
- ◇産科と婦人科 87巻2号
 - *これでわかる 婦人科希少腫瘍
- ◇産科と婦人科 87巻3号
 - *QOLを考える
- ◇総合診療 31巻2号
 - *肺炎診療のピットフォール
- ◇総合診療 31巻3号
 - *ライフステージでみる 女性診療 at a glance! よくあるプロブレムを網羅しピンポイントで答えます。
- ◇調剤と情報 27巻3号
 - *鼻アレルギーのハナシ
- ◇調剤と情報 27巻4号
 - *女性疾患の薬の使い方～薬剤師ができるウィメンズヘルス・ケアとは？
- ◇治療 103巻2号
 - *電話・オンライン診療
- ◇治療 103巻3号

- *女性医療の「困った」を乗り切る
- ◇日経ドラッグインフォメーション 279号
 - *私がファンになった薬局・薬剤師
- ◇日経ドラッグインフォメーション 280号
 - *アトピー治療の最前線
- ◇日経メディカル 638号
 - *ウィズコロナ時代の患者・職員トラブル最前線
- ◇日経メディカル 639号
 - *コロナの陰から忍び寄り「薬剤耐性菌」を侮るな
- ◇日経メディカル 640号
 - *新型コロナ流行化の複合災害に備えよ
- ◇日本医事新報 5047号
 - *知っておきたい痒疹の鑑別と治療
- ◇日本医事新報 5048号
 - *最近の過敏性腸症候群治療
- ◇日本医事新報 5049号
 - *メニエール病の診療ステップ1・2・3
- ◇日本医事新報 5051号
 - *オンライン診療の利点と注意点
- ◇日本医事新報 5053号
 - *慢性呼吸器疾患診療における遠隔（オンライン）診療の利活用
- ◇薬局 72巻2号
 - *心不全の緩和ケア
- ◇薬局 72巻3号
 - *抗菌薬供給トラブル
- ◇薬局 72巻4号
 - *病気とくすり2021
- ◇薬局 72巻5号
 - *感染症とステロイド

【今月の論文等】

■薬物療法■

- ▶ C型肝炎の治療戦略——C型肝炎治療ガイドラインの活用（第7版と第8版の改訂ポイント）
月刊薬事 63（4）p.15
- ▶ 心不全患者の浮腫 ループ利尿薬同士でなぜ変更？
日経ドラッグインフォメーション（280）p. PE037
- ▶ 主要な抗菌薬が供給不足になったときに考慮する代

替葉

薬局 72 (3) p.23

■新薬■

- ▶添付文書から RMP、審査報告書まで 新薬ななめ読み [4]

リベルサス®錠 3mg、7mg、14mg〔セマグルチド（遺伝子組換え）〕

月刊薬事 63 (2) p.145

- ▶添付文書から RMP、審査報告書まで 新薬ななめ読み [5]

アキシャルックス®点滴静注 250mg〔セツキシマブ サロタロカンナトリウム（遺伝子組換え）〕

月刊薬事 63 (4) p.133

■安全性情報■

- ▶点鼻血管収縮薬による薬剤性鼻炎
調剤と情報 27 (3) p.36
- ▶しくじり処方提案 [10] - 小児・新生児領域——小児に対する抗菌薬投与でのしくじり
月刊薬事 63 (2) p.128
- ▶まぜるな危険？ 知って得するシロップ・ドライシロップの配合変化 ツロブテロール塩酸塩ドライシロップ
調剤と情報 27 (3) p.131
- ▶まぜるな危険？ 知って得するシロップ・ドライシロップの配合変化 オキサトミドドライシロップ
調剤と情報 27 (4) p.131
- ▶カロナール増量後に皮疹が出現した理由
日経ドラッグインフォメーション (279) p. PE041
- ▶ロスバスタチンと飲み合わせの悪いサプリメント
日経ドラッグインフォメーション (279) p. PE043
- ▶クラリスロマイシンの併用で用量が制限される薬剤
日経ドラッグインフォメーション (280) p. PE041
- ▶論文で読み解くくすりのリスク ビスホスホネートと骨折リスクの関係は
日経ドラッグインフォメーション (280) p. PE022

■薬剤師業務■

- ▶薬剤師が知っておきたい転倒の病態・リスク因子・予防策
月刊薬事 63 (2) p.15
- ▶薬剤師が取り組む転倒対策～病院における取り組み - 多職種連携とその効果
月刊薬事 63 (2) p.79
- ▶薬剤師が取り組む転倒対策～地域薬局における取り組み
月刊薬事 63 (2) p.83

- ▶多職種によ～く伝わる 薬学的思考を活かした診療録記載のまとめ方 [2]

副作用の回避・早期発見につながる多職種への提案
月刊薬事 63 (2) p.109

- ▶多職種によ～く伝わる 薬学的思考を活かした診療録記載のまとめ方 [3]

検査値に関連した副作用評価と医師への提案
月刊薬事 63 (4) p.108

- ▶オンライン服薬指導

治療 103 (2) p.188

- ▶心臓リハビリと在宅に向けた地域連携における薬剤師の役割

薬局 72 (2) p.96

- ▶在宅ケアにおける薬剤師の役割

薬局 72 (2) p.103

- ▶薬の副作用で入院したという患者が来たら？

日経ドラッグインフォメーション (279) p. PE047

- ▶医師と考えるポリファーマシー 14 剤が処方された排尿障害を訴える男性への介入

日経ドラッグインフォメーション (280) p. PE025

■産科・婦人科■

- ▶一歩踏み込む 妊婦・授乳婦の服薬指導 コデイン服用中に妊娠が判明した女性
日経ドラッグインフォメーション (279) p. PE037
 - ▶一歩踏み込む 妊婦・授乳婦の服薬指導 口唇ヘルペスにアシクロビルが処方された妊婦
日経ドラッグインフォメーション (280) p. PE014
 - ▶未成年女性への低用量ピル処方や医療行為について
治療 103 (3) p.296
 - ▶薬剤師の臨床 月経困難症治療剤ジエノゲストの有効性および安全性の検討
産科と婦人科 87 (3) p.379
 - ▶妊娠・授乳中の治療薬の選び方、使い方
調剤と情報 27 (4) p.51
 - ▶世界から遅れる日本の緊急避妊薬と性教育
調剤と情報 27 (4) p.58
 - ▶しくじり処方提案 [11] - 妊婦・授乳婦領域——妊婦・授乳婦に対する薬剤投与でのしくじり
月刊薬事 63 (4) p.100
- 漢方療法■
- ▶がん悪質液症状改善薬としての六君子湯の可能性
新薬と臨牀 70 (1) p.56
 - ▶慢性頭痛を訴える患者に六君子湯を処方した理由
日経ドラッグインフォメーション (279) p. PE037
 - ▶アレルギー性鼻炎に対する漢方治療とその使用方法
調剤と情報 27 (3) p.46

Book Information

日薬幹旋図書のご注文は事務局(代表:098-963-8930)までお願いします。

※日薬幹旋図書は会員価格で購入できます。

※会員価格のない書籍については定価での購入となります。

★印は事務局カウンターまたは、情報センターに見本があります。

レセプト事務のための

★【日薬幹旋図書】薬効・薬価リスト 令和3年版

【編著】医薬情報研究所 【発行】じほう 【発行日】2021年4月

【版型/頁】B5判/1100頁 【定価】7,150円(税込) 【幹旋価格】6,400円(税込)

レセプト業務向けに、薬価基準収載医薬品の薬価、効能・効果、用法・用量、禁忌・併用禁忌、保険の扱い(厚生労働省保険局通知の概要)を1冊に収録。「内用薬」「外用薬」「注射薬」「歯科用薬剤」の投与経路別に商品名の50音順に掲載し、後発医薬品、先発医薬品、準先発品などにわかりやすいマークを付けた。

★【日薬幹旋図書】薬価基準点数早見表 令和3年4月版

【発行】じほう 【発行日】2021年3月

【版型/頁】A5判/1100頁 【定価】3,960円(税込) 【幹旋価格】2,050円(税込)

薬価基準収載医薬品を、「内用薬」「外用薬」「注射薬」「歯科用薬」の投与経路別に、商品名の50音順に配列し、点数早見表、薬効別分類表を収録した医療事務必携の書籍。

局方品目の銘柄名、請求に使用できる略称なども本文に掲載。統一名収載品目の製品も各銘柄名から検索が可能。診療報酬上評価される後発医薬品や、先発医薬品、準先発品、経過措置品目などにマークを付してわかりやすく表記した。

適応・用法付き 薬効別薬価基準

★【日薬幹旋図書】保険薬事典 Plus + 令和3年4月版

【編著】薬業研究会 【発行】じほう 【発行日】2021年3月

【版型/頁】A5判/1078頁 【定価】5,060円(税込) 【幹旋価格】4,550円(税込)

同一成分の剤形や規格単位ごとの薬価を調べられるだけでなく、「適応・用法」情報も確認することができ、さらに適応外使用に係る公知申請が認められているものについても記載。また、ジェネリック医薬品の適応・用法違いの確認においても最適で、一般名からも商品名からも検索できる医療用医薬品リスト付き。

★【日薬幹旋図書】投薬禁忌リスト 令和3年版

【編著】医薬情報研究所 【発行】じほう 【発行日】2021年4月

【版型/頁】B5判/620頁 【定価】4,620円(税込) 【幹旋価格】4,100円(税込)

“投与しない”“授乳中止”などの禁止事項がある場合のみ掲載。併用禁忌の欄では、表組を採用、“↑”“↓”の記号を用いて表現を簡潔にし、見やすくまとめた。重大な副作用は、症状のみを列記し、発現頻度は具体的な数字があるものだけをピックアップした。

マナビジュアルノート

がん薬物療法 副作用対策&曝露対策

【著者】佐藤 淳也、中西 弘和 他 【発行】南山堂 【発行日】2021年3月

【版型/頁】AB判/203頁 【定価】3,630円(税込)

薬剤師が臨床現場で求められる「がん薬物療法の副作用マネジメント・抗がん薬の曝露防止対策」でこれだけは押さえてほしい知識・スキルをまとめた入門書。カラー図表1枚と簡潔な解説で1ページが構成され、入門講義を受けている感覚で読み進められる。

Book Information

日薬幹旋図書のご注文は事務局(代表:098-963-8930)までお願いします。

※日薬幹旋図書は会員価格で購入できます。

※会員価格のない書籍については定価での購入となります。

★印は事務局カウンターまたは、情報センターに見本があります。

★【日薬幹旋図書】薬事衛生六法 2021 年版

【発行】薬事日報社 【発行日】2021年4月

【版型/頁】B5判変型/約2000頁 【定価】5,170円(税込) 【幹旋価格】4,700円(税込)

医薬品医療機器等法及び関係政省令、告示を中心に薬剤師法、毒劇、麻薬、医療保険、保健医療、食品・家庭用品、など薬事・医療・衛生関係法令を幅広く収載した法令集。今版は、改正『医薬品医療機器等法』(2020年9月施行)をはじめとした、前版発行以降に改正された法律および規則に対応してアップデート。

★【日薬幹旋図書】治療薬ハンドブック 2021 薬剤選択と処方のポイント

【監修】高久 史磨 【発行】じほう 【発行日】2021年1月

【版型/頁】B6変型判/1566頁 【定価】4,840円(税込) 【幹旋価格】4,360円(税込)

治療薬ハンドブックには便利な「粉碎可否」や「簡易懸濁」の情報がひと目でわかるように記載。また、治療薬ハンドブックの「観察」と「指導」の欄には、患者をフォローアップする大切な情報をまとめている。治療薬の最新動向、使用のポイントや注意点、適応外使用の情報まで臨床に役立つ情報を把握できる。さらに、主な診療ガイドラインを一覧で紹介。インターネット上で内容が公開されているものにはPCマークを付け、エビデンス確認がスムーズにおこなえる。

★【幹旋図書】薬剤師レジデントマニュアル 第3版

【編集】橋田 亨、西岡 弘晶 【発行】医学書院 【発行日】2021年3月

【版型/頁】B6判変型/400頁 【定価】3,850円(税込) 【幹旋価格】3,460円(税込)

疾患や治療薬に関する基本的な情報に加え、現場で役立つ「薬剤師による薬学的ケア」「処方提案のポイント」も充実したマニュアル。①現場で役立つ実践的な情報を、②箇条書きで歯切れよく、③ポケットに入るサイズにまとめた。総論は調剤、DI、高齢者、検査、薬剤管理指導の要点を簡潔に記載し、各論は感染症、糖尿病、高血圧など主要54疾患を解説。卒後1,2年目の若手薬剤師はもちろん、実務実習の薬学生にもおすすめ。

★【幹旋図書】健康食品・サプリメントと医薬品との相互作用事典 第2版

【編集】(一社)日本健康食品・サプリメント情報センター 【発行】同文書院 【発行日】2021年3月

【版型/頁】B6判/616頁 【定価】4,730円(税込) 【幹旋価格】4,300円(税込)

医薬品と相互作用のある食品(野菜、果物、健康食品、サプリメント、ハーブ、嗜好品等)について、3段階の危険度(高・中・低)で示したハンドブック。医薬品と食品の両方から調べることができる。第2版では相互作用の数が初版時から大幅に増え、約2,900の相互作用を収載。また、第2版から医薬品(一般名、分類名)一覧が加わり、医薬品名が調べやすくなった。

病院薬剤師のためのスキルアップ×キャリアアップガイド 学びと評価の指標

【編著】全国国立病院薬剤部科長協議会 【発行】じほう 【発行日】2021年2月

【版型/頁】B5判/348頁 【定価】6,050円(税込)

国立病院機構が作成した「国立病院機構薬剤師能力開発プログラム(National Hospital Organization Pharmacist Ability Development;NHD PAD)」をもとにした書籍で、病院薬剤師のキャリアアップや自己研鑽の指標、ノウハウを示した学び続ける人のための1冊。

薬事情報センターの利用のしかた

○業務内容

(1)医薬品情報の提供 (2)「薬事情報おきなわ」の編集・発行 (3)医薬品に関するお問い合わせ (4)県薬ホームページの制作・管理 (5)消費者薬相談業務「おくすり相談室」 (6)ドーピング防止ホットライン業務

○業務時間

(会員対象) 平日 午前：8時30分～12時 午後：1時～5時30分 (土・日・祝日休業)

(一般対象) 「おくすり相談室」・「薬剤師会ドーピング防止ホットライン」

平日(月～金) 午前：9時～12時 午後：1時～5時

※おくすり相談室及びドーピング防止ホットラインの電話は 098-963-8935 になります。お気軽にご利用ください。

○会員の利用方法

医薬品等に関するご質問は、電話、ファクシミリで受付けています。また、情報センター所蔵図書の見学、文献調査、オンラインデータベース・インターネット利用等の目的で直接お越しいただく場合は、係の者が対応致しますので、なるべく事前にご連絡下さい。

TEL：098-963-8931 FAX：098-963-8937

沖縄県薬剤師会 薬事情報センター

* * 海外文献から (JAPIC 医薬情報より) * *

●女性の慢性骨盤痛に対する Gabapentin (GaPP2) : 多施設共同無作為化二重盲検プラセボ対照試験 (The Lancet 396(10255)909- (2020.9))

2015年11月30日-2019年3月6日、英国39カ所の病院センターにおいて、慢性骨盤痛があり明らかな骨盤病変のない女性(306例)をGBP(最大用量2700mg/日まで漸増)群またはプラセボ群(各153例)に無作為に割り付け16週間投与した。2つの主要転帰はintention-to-treat集団において、無作為化後13-16週に別々の数値化スケール(NRS:0-10)で評価された疼痛スコアの最低値と平均値で測定された。結果：無作為化後13-16週のNRS疼痛スコアの最低値と平均値に群間で有意差はみられなかった。NRS疼痛スコアの最低値の平均はGBP群7.1(標準偏差[SD]2.6)、プラセボ群7.4(SD:2.2)であった。ベースラインからの平均変化はGBP群-1.4(SD:2.3)、プラセボ群-1.2(SD:2.1)であった(補正平均差-0.20[97.5%CI:-0.81-0.42];p=0.47)。NRS疼痛スコアの平均値の平均はGBP群4.3(SD:2.3)、プラセボ群4.5(SD:2.2)であった。ベースラインからの平均変化はGBP群-1.1(SD:2.0)、プラセボ群-0.9(SD:1.8)であった(補正平均差-0.18[-0.71-0.35];p=0.45)。GBP群の方がプラセボ群より重篤な有害事象が生じた女性が多かった(GBP群10例[7%],プラセボ群3例[2%];p=0.04)。めまい、眠気、視覚障害がGBP群でより多くみられた。乱用の報告が増え、GBP使用と関連した悪影響の可能性のエビデンスがあることから、臨床医は明らかな骨盤病変のない慢性骨盤痛の管理のために適応外GBPの代替治療選択肢を検討すべきである。

●ホルモン補充療法(Norethisterone, Levonorgestrelなど)の使用と乳癌のリスク:英国のQResearchおよびCPRDデータベースを用いたネステッドケースコントロール研究 (BMJ British Medical Journal 371(8266)m3873- (2020.10))

英国のデータベース(QResearchおよびCPRD)を用いたコホート内症例対照研究。解析対象は、1998-2018年に乳癌の初回診断を受けた50-79歳の女性98611例(症例群)と年齢、一般診療、指標日をマッチングさせた女性457498例(対照群)。指標日の1年前に、乳癌診断症例群33703例(34%)および対照群134391例(31%)がHRTを受けていた。HRT使用歴なしと比較して、最近(指標日前5年未満)の長期(5年以上)使用者では、oestrogen単独療法(補正OR,1.15)およびoestrogenとprogestogen併用療法(1.79)はいずれも乳癌のリスク増加と関連していた。併用するprogestogenの種類別では、乳癌のリスク増加はnorethisteroneが最も高く(1.88)、dydrogesteroneが最も低かった(1.24)。過去のoestrogen単独長期使用および過去のoestrogenとprogestogenの短期使用は、乳癌のリスク増加との関連していなかった。しかし、過去の長期oestrogenとprogestogen併用療法使用に関連したリスクは依然として高かった(1.16)。結論：乳癌リスクのレベルは、HRTの種類により異なり、併用療法および長期の使用で高かった。

●中国のCOVID-19患者における副作用の発生率:China Hospital Pharmacovigilance Systemによる能動的モニタリング研究 (Clinical Pharmacology and Therapeutics 108(4)791- (2020.10))

COVID-19患者における有害薬物反応(ADR)の発生率、種類、リスク因子について、Hospital Pharmacovigilance System(CHPS)を用いて評価した。(レトロスペクティブ解析)結果:ADR発生率は37.8%であり、薬物誘因性胃腸管疾患23.0%、肝臓系疾患13.8%であった。原因はlopinavir/ritonavirが63.8%、umifenovirが18.1%であった。入院日数の長さ、入院中の使用薬剤数、基礎疾患がADRの独立リスク因子であった。

お知らせ



医療薬学 フォーラム 2021

第29回

クリニカルファーマシー シンポジウム

医療薬学のグローカリゼーション
～ポストコロナに向けて～

2021年7月24(土) ▶ 25(日)

実行委員長 / 中村 克徳(琉球大学病院薬剤部 教授・薬剤部長)

主催 (社)日本薬学会医療薬科学部会 共催 (社)日本病院薬剤師会 (社)日本薬剤師会
事務局：沖縄MICEサービス 〒900-0004 沖縄県那覇市銘苅1-19-29(株式会社アカネクリエーション内)

一般演題募集期間

2021年1月26^{9:00~}(火) ▶ 3月26^{12:00}(火)

公式HP
<https://www.cps2021.org/index.html>

医療薬学フォーラム2021 

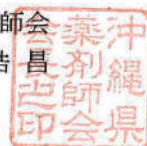


公 示

令和3年3月15日

会 員 各 位

一般社団法人 沖縄県薬剤師会
会 長 亀谷 浩



**一般社団法人 沖縄県薬剤師会
監事選挙に関する公示**

令和3年6月20日、本会の第84回定時総会を開催致します。同日に、本会の「一般社団法人沖縄県薬剤師会会長候補者及び監事選挙規則」、「同施行細則」により、監事を決定するための選挙を行います。

去る3月13日に開催された本会理事会におきまして、同選挙の公示日（令和3年3月15日）ならびに選挙期日（令和3年6月20日：定時総会）等を決定し、監事選挙に関する公示を本会事務局ならびに本会ホームページ（会員のページ）に掲示しております。また、これから発行する「おきなわ薬剤師会報 No.307（2021年3・4月号）」にも同様に掲載します。なお、公示と同時に関連資料（選挙規則・選挙規則施行細則・各種様式）も本会ホームページ（会員のページ）に掲載しています。

詳細につきましては、同公示及び関連資料をご確認下さい。

自ら候補者になろうとする正会員、候補者を推薦しようとする正会員は、下記により届け出て下さい。

記

- (1) 候補者の資格は、令和3年3月21日までに、本会へ正式入会手続きを完了している正会員に限ります。
- (2) 届出の受付期間は、令和3年3月15日から令和3年6月4日の午前9時から午後5時までとし、本会事務局（沖縄県島尻郡南風原町字新川 218-10）で受け付けます。但し、土曜日、日曜日と祝日を除きます。
- (3) 届出の締切日時は令和3年6月4日午後5時までです。締切日時後の届出は、受け付けられません。郵送による場合は、必ず書留をご利用下さい。締切日時までに到着したものを有効とします。締切日時後に到着したものは無効とします。
- (4) 立候補届出書（又は候補者推薦届出書と承諾書）をはじめ、必ず添付しなければならない書類の様式は全て規定されております。届出関係書類一式あるいは本会定款等諸規定は、ご請求下されば郵送致します。
- (5) 本会ホームページに、選挙に関する関係規則等を掲載しますので、ご覧下さい。

お問い合わせは、本会事務局（電話 098-963-8930）へお願い致します。

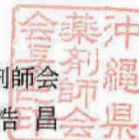
以上

告 示

令和3年3月15日

沖縄県薬剤師会 代議員選挙 結果の告示について

一般社団法人 沖縄県薬剤師会
会 長 亀谷 浩昌



令和2年12月14日に告示しました本会の令和3・4年度代議員選挙につきまして、令和3年2月12日に立候補届けを締め切り、以下のとおり各選挙区から立候補がありました。その後、立候補辞退(2月22日締切)も無く、3月12日の選挙期日となりました。各選挙区とも立候補者が定数内であったため、選挙は行われず無投票当選でありました。

以上、本会選挙管理委員会の野崎真敏委員長より、選挙区ごとの当選者の報告を受けたことから、下記のとおり告示いたします。

■当選者50名：定数51名 (※敬称略)

地区薬剤師会	選挙区(支部)	代議員	当選者数 定数()
北部地区	名護支部	玉城 純 西坂 順 屋嘉比 康作	3
中部地区	うるま支部	江夏 恭範 徳嶺 恵子 福地 健治	3
	沖縄支部	阿嘉 秀寅 石川 恵市 鈴木 直志 玉城 武範 仲間 聖 普久原 隆 諸見里 めぐみ	7
	嘉手納支部	藤原 明人	1
	宜野湾支部	新垣 慶朗 新川 祥平 仲座 方利	3
那覇地区	首里支部	新垣 紀子 上間 祥子 大塚 成一郎	3
	那覇東支部	磯 昭子 上原 美沙子 仲宗根 かおり 備瀬 紀子 又吉 晴美 諸見川 裕子	6
	那覇北支部	狩俣 イソ 平良 博文 柝井 亮太	3
	那覇中央支部	阿部 義則 我喜屋 智香子 小湾 喜彦	3
	小禄支部	國吉 直子 又吉 智賀子	2
	浦添支部	大城 博次 杉山 英司 武富 弘記 日高 久美子 宮城 友寛	5
南部地区	糸満支部	伊敷 松太郎 小湾 勝敏 名嘉 紀勝 松本 圭五	4
	南風原支部	兼城 崇 川上 善久 川上 雄一朗 城間 盛伸 知念 大輔	5 (6)
宮古地区	平良支部	下地 仁	1
八重山地区	石垣支部	新嵩 由香	1
合計			50 (51)

第49回 暮らしの中の薬草学
身近な薬草を知ろう



女性薬剤師部会 狩俣 イソ

やんばるのモコモコした樹木がどんぐりの木（スタジイ）だとは知りませんでした。スタジイのどんぐりはあくが少なくそのまま食べられるようです。絵本「ぐりとぐら」のどんぐりがやっとこの年になって生活と結びつきました。

スタジイ：イタジイ

学名 *Castanopsis sieboldii* (Mak.)Hatusima
科名 ブナ科 Fagaceae
属名 シイ属 *Castanopsis*
使用部位 実・樹皮・葉
有効成分 ビタミンC、マンガン、ポリフェノール



【スタジイの名称】

ナガジイ、イタジイとも呼ばれる。シイノキという木はなく、関東地方で単にシイノキという場合はスタジイをさし、関西ではツブラジイをさすことが多い。別名のナガジイはツブラジイに比べて実が細長いことから。学名的にはツブラジイが基準で、スタジイはその変種扱いになる。

沖縄ではイタジイ、シイジャア、シイジャアギーなどと呼ばれ、北部の森を構成する優占種で、高さ約20m、幹の直径1mに達する常緑広葉樹。遠くから眺めるイタジイの森は、樹冠がモコモコとしてブロッコリーのようにも見える。秋にはどんぐりを豊かに実らせ、冬の間は、エサの少ない森の動物たちにとって貴重な食料になる。

【スタジイの歴史】

一般的にはシイタケがなる木として、また食べられるどんぐりがなる木として知られ、古代から重要な食糧とされた。沖縄でも昔は山での生業の主要な材木で、薪炭や建築用材として用いられ、やんばる地域の人々の暮らしを支えてきた。

【スタジイの形態・生態等】

福島県及び新潟県（佐渡）以西の日本全国に分布するブナ科の常緑広葉樹。幹は上方でよく分枝して、まるみのある大きな樹冠をつくる。樹皮は黒褐色で大木になると、縦に深く裂け目が入る。新枝は褐色を帯びた灰緑色。円形の小さな皮目が多い。

葉は互生する単葉で長さ5～15cm、幅2.5～4cmの広楕円形で、厚い革質。2列に並び、やや斜めの下向きにつく。先端は細く尾状に長く伸び、基部は広くさび形。全縁または上半部に波状の鋸歯が少しある。表面は光沢のある深緑色、裏側は黄色～銀白色の毛が鱗状に生じ、街路から見上げると木全体が黄色や白に輝いて見える。葉柄は長さ1cmほど。托葉は開葉後まもなく落ちる。

『家にあれば筥に盛る飯を草枕旅にしあれば椎の葉に盛る』万葉集に、椎の葉に飯を盛るという有馬皇子の歌があるが葉はあまり大きくはない。

5～6月に咲く花は雌雄同株で、雄花は新しい枝の下部の鱗片葉や葉腋に直立する長さ8～12cmの穂状花序に多数つき、淡い黄色で独特の匂いを発し、昆虫を集める虫媒花。雌花序は新しい枝の葉腋に直立して、長さ8cmほど。穂状で、形も臭いもクリに似ている。果実は長さ12～21mmで卵状長楕円形の堅果（どんぐり）で、鱗状の突起がある殻斗（総苞）に包まれる。花が咲いた翌年の10～12月に成熟すると殻斗は3裂し、中から堅果が顔を出す。

【スタジイの食用・利用】

実はあく抜き不要で食用となる。色が白く、きめが細かく、舌ざわりがよく、餅やクッキー等に加工しやすい。ナッツ系のおいしさで腹持ちが良いと言われる。炒め物は、野趣があり、シイの好ましい風味がある。

スタジイの木材はシイタケを栽培する木としても用いる。木の表面に穴をあけ、シイタケを栽培するための菌を植え付ける。

樹皮より漁網の染料を得る。また黄八丈の黒色部の染料「黒染」に利用されている。

【スタジイの成分】

スタジイは機能性成分として、抗酸化物質（ポリフェノール等）3.3 g /100 g を含む。スタジイの栄養成分を、日本人の食事摂取基準（女性 30 歳～49 歳）で評価した場合、12.6%：252kcal。ビタミンC(110%：110mg)、マンガン(77.71%：2.72mg)、銅(45%：0.36mg)、マグネシウム(28.28%：82mg)、ビタミンB1(25.45%：0.28mg)、n-6 リノール酸(1.9%：150mg)である。上限量が定められた成分の過剰はない。

【マンガンMn】

マンガンは元素記号Mn、原子番号25、原子量54.94の銀白色の金属で、空気中では表面が酸化される。多くの元素と直接作用し、水とは徐々に反応、酸には溶けやすい性質を持つ。人体にとっての必須元素で、体内の組織や臓器に広く存在する。一部では活性酸素対策（スーパーオキシド・ジスムターゼSODの構成成分）としての必須ミネラルに挙げられることもある。

- ・酵素を活性化：たんぱく質、糖質、脂肪を消化吸収する酵素を活性化する。
- ・血液の生成：血液やビタミンE複合体の一種を、体内で生成するときに関与する。
- ・消化補助：体内の消化作用をサポートする。
- ・骨や皮膚の形成：皮膚の結合組織の合成や、骨の形成や代謝に関係し、骨や靭帯、神経を強化する。
- ・血糖調節作用：インスリン合成に関与している。不足すると合成がうまくいかない。
- ・生殖機能低下防止作用：女性、男性の性ホルモンの合成に関係している。

不足すると成長異常、平衡感覚異常、疲れやすくなる、糖尿病（インスリンの合成能力が低下するため）、骨の異常（脆くなるなど）、

傷が治りにくくなる、生殖能力の低下や生殖腺機能障害などが起こる。しかしマンガンは川など天然の水などに含まれ、上水道水としては多すぎてむしろ除去する必要があるなど、普通に生活していてマンガンが不足することはまずない。

中毒：マンガン鉱石精錬所作業員・れんが職人・鋼管製造業者など、過剰に曝露されるとマンガン中毒を起こす。頭痛・関節痛・易刺激性・眠気などを起こし、やがて情動不安定・錯乱に至る。大脳基底核や錐体路も障害し、パーキンソン症候群・ジストニア・平衡覚障害を引き起こすほか、無関心・抑うつなどの精神症状も報告されている。マンガン曝露から離れれば、3-4か月で症状は消える。

【リノール酸 C₁₈H₃₂O₂】



リノール酸は、必須脂肪酸である。植物または微生物中で、ω6位に二重結合を作るδ12-脂肪酸デサチュラーゼによりオレイン酸の二重結合が1個増えてリノール酸が生成される。ヒトを含めた動物はδ12-脂肪酸デサチュラーゼを有していないので自らリノール酸を合成することができない。

n-6系の必須脂肪酸の欠乏により、髪の毛の抜けや、創傷の治癒の遅れが見られる。リノール酸は血中のコレステロール値や中性脂肪値を一時的に低下させる作用を持つ。しかし、飽和脂肪酸の15%程度をリノール酸に代替した場合、全死因死亡、心血管死亡、冠疾患死亡リスクが上昇する可能性が、ランダム化比較試験で示された。

参考 ウフギー自然館 やんばる野生生物保護センター 庭木図鑑 植物図鑑 季節の花300 GAROP 沖縄山菜類データベース 杉並の自然学 Eatsmart 栄養成分百科 日本成人病予防協会 e840.net 日本植物油協会 日経メディカル

スタジイの実 可食部100g当たり 日本食品分析センター ・食品分析データベース

エネルギー	タンパク質	脂質	食物繊維	n-6リノール酸	ナイアシン	ビタミンK	マンガン
252 kcal	3.2 g	0.8 g	3.3 g	150mg	1.9mg	16μg	2.72mg

リン	カルシウム	ビタミンB1	ビタミンB6	ビタミンE	パントテン酸	葉酸	ビタミンC
76mg	62mg	0.28mg	0.19mg	8.9μg	0.59mg	8.0μg	110mg



NAHAマラソン

私は趣味でジョギング・マラソンをしています。沖縄に来てから30歳を機に運動不足解消のために始めました。今では県内各地で開催される色々な大会に参加して、コースの景色を楽しんでいます。今回はそんな中でも一番思い入れのあるNAHAマラソンについて書いてみたいと思います。

NAHAマラソンは毎年12月の第一週日曜日に開催される、那覇・南風原・南城・糸満・豊見城の5市町をまたぐコースを走る市民マラソンで、約3万人が出場する西日本最大規模の大会で、僕が初めて参加したマラソン大会でもあります。今思えば、フルマラソンの経験がないどころかハーフも10kmも走ったことがない状態でよくフルマラソンに挑戦したなあと思います。しかも普段ジョギングをしている人がマラソンにチャレンジするならまだしも、マラソンにエントリーしてからジョギングを始めるという無謀な挑戦でした、

とにかくエントリーしたので、走らないことには始まらないと、シューズ・ウェアなどをそろえて(格好から入るタイプ)軽めのジョギングからスタートしました。走ってみると、ペースはゆっくりながらも思っていたよりは走れる(と思い込んでいた)し、「学生の時に水泳もバスケットもやっていたし何とかできるでしょ」とか思いながら、フルマラソンもこの



クララ薬局ティエラ
宮本 直樹



調子で完走できるだろうと気楽に考えていました。半年ほど週2～3回の練習をしていざ本番。結果は、、、ギリギリ完走。制限6時間15分のところ、6時間7分でのゴール。完走とは名ばかりで、後半は痛みで足が動かずほぼウォーキング状態。帰宅後も2～3日は全身の筋肉痛で歩くだけでも一苦勞でした。

そんな感じでマラソンの厳しさを知ったわけですが、NAHAマラソンにはそんな厳しさを上回る大きな魅力があります。それは沿道の声援です。大げさではなく本当にスタートからゴールまで全く途切れません。スタート直後の国際通りでは両サイドとも応援の人でいっぱい。建物の2階3階の窓からも声援を送ってくれます。国際通りが3万人のランナーと応援の方々で埋め尽くされる景色は圧巻です。ひめゆり通りに入り、那覇警察署の前では鼓笛隊の生演奏が大会の雰囲気盛り上げます。真玉橋を越え少し進むと名物YMCAの大合唱。ランナーがみんな走りながらYMCAを踊ります。舞台上で歌っているお兄さんは「無駄な体力ありがとう～！あとたった35kmです～！！」と応援してくれます(笑)。津嘉山を越えてバイパスに入り八重瀬方面に向かうと今度はバンド演奏による応援、さらにその先の東風平中学校前では吹奏楽部による応援もあり、お祭りムードが盛り上がります。そこからまっすぐ南下し、具志頭交差点ではJAのみなさんが飲み物とJAならではの生野菜の差し入れがあります(笑)。このあともバンド演奏のポイントがあり中間地点へ。中間地点の平和祈念公園ではボランティアの元気な高校生たちとハイタッチ。全力の応援に元気をもらえます。



後半に入り、ひめゆりの塔の前では毎年出ているランナーの間では有名な沖縄そばの差し入れ。数に限りがあるので初挑戦の時は間に合わず品切れでしたが、最近では品切れ前にたどり着けるようになりました。ちなみに、ここで少しコースから外れてひめゆりの塔に手を合わせて行かれるランナーも少なくありません。少し進んだ先の名城方面では海が見えるポイントがあり、晴れた日はこの景色に癒されます。NAHAマラソンは“太陽と海とジョガーの祭典”と銘打っていますが、実は海が見えるのは中間地点前とこここの2か所だけなんです。続いて糸満に入り、ロータリーの手前では魚汁を差し入れてくださるポイントがあります。これが汗をかいた体に沁み渡ってめっちゃうまい！！塩分補給も済み、ここであと13～14kmぐらい。少し進むとチキンラーメンや吉野家さんからミニ牛丼の差し入れなどもあります。よるこんで食べ過ぎると満腹になります（笑）。この辺りは平坦で直線のコースで心が折れそうになるので、沿道の声援に本当に助けられます。名嘉地交差点から小緑バイパスに入っても応援は途切れず、ここで毎年うれしいのがコーラの差し入れ。マラソンにコーラ！？と思われるかもしれませんが、終盤でのコーラがめちゃくちゃまいんです！味の変化で気分転換になりますし、液体での糖分補給がすぐにエネルギーになり最後のパワーになります。小緑バイパスから赤嶺駅方面に曲がってゆいれール通りに。ここまで来て「やっと帰ってきた～！！」という気持ちになります。最後の力を振り絞ってセルラースタジアムに。スタジアムに入ると、コースの前半で頑張ってくれていた高校生ボランティアの子たちが集結して大声援を送ってくれます。ハイタッチしながらラストスパートし、ゴール！！この瞬間の達成感と開放感がなんとも言えないんです

よね。あとレース後のビールのうまさも格別です（笑）

ざっと書きましたが、書ききれなかったこともたくさんあります。本当に42.195km途切れず声援や飲み物&食べ物の差し入れを頂けるので、走っていてすごく力になります。このリレー随筆を読んでくださっている方の中にも沿道で声援を送ってくれている方もいるかもしれません。この場を借りてお礼を言いたいと思います。いつも本当にありがとうございます。

マラソンは完走する人・惜しくも完走できなかった人・記録を更新できた人などそれぞれにドラマがあり1人1人が主役と言われるかもしれませんが、NAHAマラソンはランナーだけではなく、応援して下さる方々も運営・ボランティアの方々も本当にみんなが主役になれるような素晴らしい大会だと思います。今はコロナ渦で延期中ですが、いつかまた開催された時は、今まで以上に感謝の気持ちを持って走りたいと思います。今年は開催されたいいな～。

最後まで読んで頂きありがとうございました！！



次号には、柘井 亮太 先生がバトンを受けて下さいました。ご期待下さい！



自由民主党沖縄選挙区支部長との 意見交換会開催

日時：令和3年2月28日（日）10:00～11:00

会場：沖縄県薬剤師会館 会長室・会議室

去る2月28日、自由民主党沖縄選挙区支部長との意見交換会が本会館で開催された。

司会進行は佐藤雅美常務理事が務め、各選挙区支部長と本会の参加役員の紹介をした。

開催にあたり亀谷浩昌会長が、日々多忙なスケジュールの中において意見交換会を調整いただいたこと、特に宮崎政久議員には、今回の貴重な意見交換会の開催の提案をいただいたことへのお礼の挨拶をした。

意見交換会の議題は、以下の3題であった。

1. 新型コロナウイルス感染症対応等について

吉田洋史理事が、日本薬剤師連盟提供の資料に沿って次の通り説明、財政支援を要請した。

(1) 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、薬局経営にも大きな影響が及んでいる。日本薬剤師会調査の処方箋回数・技術料・薬剤料等の前年比較表（2月～8月）では、主な結果として、8月分の処方箋回数（患者数）は前年同月比10.8%減、調剤報酬の技術料は同6.4%減、薬剤料は同7.0%減となっており薬局経営に大きな影響がでていることが見てとれる。調剤報酬における薬剤料と技術料の比率（3:1）を考慮すると、売上が減少しないと利用できない事業者支援策の支援金が利用できない。新型コロナウイルス感染症への対応は長期化が予想され、次年度においても薬局機能を維持するための必要な財政的な支援を是非ともお願いしたい。

(2) 新型コロナウイルス感染症ワクチンの優先接種について、地域医療提供体制の維持・確保のため、「直接医療を提供する施設の医療従事者等」に医療機関（病院・診療所）の薬剤師、保険薬局の薬剤師及び患者対応を行う従業員を、ワクチン優先接種の対象に位置づけていただきたい旨を薬剤師国会議員を通して国会にて要請し、これについては対象になった。

これに加え、発熱患者等が受診する「診療・検査医療機関」と連携して、患者がか

かりつけ薬局から安心して医薬品が入手できるよう、地域の医薬品供給を担う薬局の感染防止のための体制整備について財政支援をお願いしたい。

以上の(1)(2)の要請の他、沖縄県立南部医療センターこども医療センターと本会の会営薬局医療センター前における病院と院外薬局の取り組みフローチャートの事例紹介、オンライン診療・服薬指導の普及等についての意見交換も行った。

2. 沖縄県内国公立大学への薬学部（科）

創設の件について

亀谷浩昌会長が次の通り説明と報告をした。

最初に、薬剤師数が平成24年から全国最下位で、その差が年々拡大している現状や、本会の県内国公立大学への薬学部（科）創設に向けてのこれまでの取り組み状況を報告。

昨年9月、12月の地元紙に、政府が地方大学の魅力向上策、若者の地元定着を促すため地方国立大学の定員を2022年度以降に増員することを目指し、地方創世の総合戦略に反映する旨の記事が掲載されたことを受け、これまでの「沖縄県内国公立大学への薬学部（科）創設に関する要望」の文面に、新たに当該事項を盛り込み、沖縄県議会に提出した。

さらに、沖縄県の沖縄振興計画骨子の「薬剤師の育成」「薬剤師の確保」分野に対し、新たに「薬剤師確保対策制度」を盛り込む旨の提言が、沖縄県から政府への「新たな沖縄

出席者

<自由民主党沖縄選挙区支部長>

○國場 幸之助（第1選挙区支部長）

○宮崎 政久（第2選挙区支部長）

○島尻 安伊子（第3選挙区支部長）

○西銘 恒三郎（第4選挙区支部長）

<沖縄県薬剤師会>

○亀谷 浩昌（会長）

○佐藤 雅美（常務理事）

○吉田 洋史（理事）

○前濱 朋子（理事）

○盛本 直也（理事）

○江夏 京子（監事）



自由民主党沖縄選挙区支部長との意見交換会記念撮影

後列左より、前濱朋子理事、佐藤雅美常務理事、江夏京子監事、盛本直也理事、吉田洋史理事

前列左より、國場幸之助第1選挙区支部長、宮崎政久第2選挙区支部長、亀谷浩昌会長、島尻安伊子第3選挙区支部長、西銘恒三郎第4選挙区支部長

振興のための制度提言」中間報告に記載され、その制度の内容が「県内国公立大学への薬学部（科）の設置に要する費用に係る財政支援を創設する。」「地域枠入学試験制度の導入を義務付ける。」等が謳われていることから、前記文面に加え、先に西銘恒三郎議員と宮崎政久議員に面会し新たに提示・要請した。

今後とも同件を提示・要請し、県内国公立大学の意向も聞き取りし、引き続き、薬学部（科）創設の要望を推し進めていきたいが、本会の同活動への協力をお願いする。

國場議員が文部科学省高等教育局から受けた説明について話があった。内容は、琉球大学のこれまでの学部新設状況、国立大学新学部設置のための手続きや学部等新設審査スケジュール等。

また、要請の提言の一つとして盛り込まれている「地域枠入学試験制度の導入を義務付ける」について、薬学部定員内に地元枠の設置は難しいことが各選挙区支部長から述べられた。国への要請につき、国策に係る事項でない場合は難しいとのご指摘である。半世紀以上、国立大学に薬学部が設置されていない壁は大きい。他県の国会議員の力添えも必要である。

限られた時間内において、各議題の説明および要請をすることができた。各選挙区支部長も概ね理解されていた。特に、「沖縄県内国公立大学への薬学部（科）創設の件について」では、地元から力強く要請があがるよう力添えしていただく旨の発言もあり、大変有意義な会となった。

（文：事務局 大城喜仁）

3. 2018年度診療報酬改定率技術料割合に基づく医科：歯科：調剤の配分比率について

吉田理事が、日本薬剤師連盟提供の資料に沿って次の通り説明、要請をした。

「社会保障における受益（給付）と負担の構造」「社会保障関係費の伸び」「医療費の構造と診療報酬本体改定・薬価改定の対象範囲」「医科・歯科・調剤各科の報酬に対する改定率の設定の問題点」等の現状を説明し、令和4年度予算に関する要望を次のように述べた。

国民皆保険を維持・継承するとともに、誰もがより長く元気に活躍できる全世代型社会保障の実現に向けた取組が始まっている。改正された医薬品医療機器等法においても、地域における薬剤師・薬局の役割と機能が明確に示されており、医療及び介護提供体制を総合的に確保するための財政支援制度（基金）とともに診療報酬がその推進を支えることになる。

来年4月に予定されている診療報酬、調剤報酬の改定にあたっては、同配分比率を堅持し、将来を見据えた適切かつ公平な改定のための必要な財源措置を講じていただきたい。

薬連だより

令和2年度 若手薬剤師フォーラム開催

日時：令和3年2月14日（日）14:00～15:00

会場：沖縄県薬剤師会館 研修室

<次第>

1. はじめのあいさつ

2. 講演

講演1「だから 神谷まさゆき」

講演2「医療を取り巻く環境と薬局・薬剤師～今後の薬局機能・薬剤師職能を考える～」

3. 意見交換会

4. おわりのあいさつ

司会進行 青年薬剤師部会 副部会長 宮城 勇己
会長 亀谷 浩昌

日本薬剤師連盟 常任総務 原口 亨
(九州山口薬剤師連盟会長・福岡県薬剤師連盟会長)

日本薬剤師連盟 副会長 神谷 政幸

幹事長（組織強化担当）石川 恵市

去る2月14日、午後2時から沖縄県薬剤師会館において、青年薬剤師部会の宮城勇己副部会長の司会進行で令和2年度若手薬剤師フォーラムが開催された。講師は、日本薬剤師連盟の神谷政幸副会長と原口亨常任総務を招聘し、リモートによるご講話をいただいた。同フォーラムは、例年、沖縄県薬剤師連盟と青年薬剤師部会が共催で、薬剤師と政治の関わりを知り、政治意識を高め、若手薬剤師の組織強化を図ることを目的に開催している。

最初に、本連盟の亀谷浩昌会長が挨拶をし、講演に入った。

講演1「だから 神谷まさゆき」と題して、日本薬剤師連盟の原口亨常任総務が、「若手薬剤師の政治への関心度」「薬剤師を国会議

員にする意義」「何故、薬剤師が政治に関わるのか」などをふまえた講話をされた。

次に、講演2「医療を取り巻く環境と薬局～今後の薬局機能・薬剤師職能を考える～」と題して、日本薬剤師連盟の神谷政幸副会長が、「国会議員を設置することによる会員へのメリット」「これにより薬剤師職能（薬局経営等）にどう反映するのか」など、今後の薬局機能・薬剤師職能を考えていく講話をされた。

講話の後の意見交換会では、活発な質疑応答があり、大変有意義なフォーラムとなった。

最後に、本連盟の石川恵市幹事長が挨拶し、閉会となった。（文：事務局 大城喜仁）



講師：原口 亨 日本薬剤師連盟常任総務



講師：神谷政幸 日本薬剤師連盟副会長

薬連だより

沖縄県薬剤師連盟役員会議開催

日時：令和3年2月14日（日）13:30～13:50

会場：沖縄県薬剤師会館 研修室



去る2月14日、令和2年度若手薬剤師フォーラム開催直前の午後1時30分より、令和2年度沖縄県薬剤師連盟役員会議が開催された。

会議では、主に、神谷まさゆき紹介者・支援者名簿の収集について、収集方法やスケジュールの確認、各地区・支部・部会への協力を要請した。

また、去る2月5日に開催された令和2年度

日本薬剤師連盟組織強化ブロック会議に出席された石川恵市幹事長より、各県薬剤師連盟における会員増強プランを練っていくことになっている旨の説明があり、各役員から良いプランの提案をしてもらい、今後の計画を立てていきたいと述べられた。

（文：沖縄県薬剤師連盟事務局 大城 喜仁）

お知らせ

沖縄県薬剤師連盟 Facebookをご覧下さい！



下記アドレスより、お待ちしております。ホームページからも閲覧できます。

<https://www.facebook.com/okinawayakuren/>

薬連だより

まさゆき

政幸だより

コロナ禍でもできることを着実に



日本薬剤師連盟

副会長 神谷まさゆき

新型コロナウイルスの感染拡大により、新年早々1都3県に続き2府5県に発出された緊急事態宣言は、1県を除き3月7日まで延長されました。このため、2月から全国支部訪問第一弾として実施を計画しておりました四国ブロックの支部訪問は、当初予定していた方法を変更しての実施となりました。四国ブロックの皆様におかれましては、開始直前での実施方法変更にご対応いただきましたこと、実施にあたってご配慮いただきましたことに心より感謝申し上げます。

思い返しますと、第1回目の緊急事態宣言が発出されたのは、私が組織内統一候補に選任された翌月の4月7日でした。緊急事態宣言は4月13日に全国に拡大されましたが、前例のない事態にどのように対応をしたら良いものかと社会全体が混迷し、私自身も大変戸惑ったことを覚えています。その後、テレワークやWEB会議・セミナーなどの普及等を含め社会環境が随分変化しました。私の活動につきましても、直接訪問できない場合のオンライン訪問のほか、メールマガジンを始めとしたホームページやFacebookページ、公式LINEアカウントなど、様々な情報発信の体制を整えました。これらのツールにつきましても、下記をご参照いただき、皆様の周りの方々にもご紹介いただければ幸いです。

我が国においても2月中にはワクチン接種が開始される見通しとされていますが、withコロナの状況は当面続くことが予想されます。薬剤師は、地域における医薬品提供体制の維持と公衆・環境衛生意識の啓発を任務としています。ニューノーマルの社会生活とこれに付随した様々な新しい手法を駆使し、コロナ禍時代における薬剤師の専門性の活用を社会に訴えながら、私自身の活動内容を多くの皆様にも知ってもらえるよう取り組んでまいります。

“できないことを嘆くのではなく、できることを着実に一つずつ積み上げていく”を肝に銘じ、全国支部訪問では一人でも多くの方々と想いを共有したいと思っております。どうぞよろしく申し上げます。

全国支部訪問が始まりました

2月から四国ブロックを皮切りに全国支部訪問が始まりました。香川県については県内の移動自粛のため3月下旬に延期になりましたが、高知、徳島、愛媛の各県は、WEBを活用した「リモート訪問」を中心に、スマートフォンによるビデオ電話を通じた訪問やZOOMのミーティングルーム等を活用した交流、会議・研修会等へのWEB挨拶などを行いました。

皆様のところに直接足を運び、ご挨拶させていただくのが本来の支部訪問であると考えておりましたが、画面を通して皆様お一人おひとりとお話しをし、スクリーンショットによる記念撮影もできて、技術の進歩を改めて実感するとともに、コロナ禍におけるニューノーマルなコミュニケーション手法を実践する機会にもなりました。訪問開始直前の変更であったにもかかわらず、実施方法の検討を含め大変なお手数をおかけしました四国ブロックの皆様のご尽力に厚く御礼申し上げます。

3月の東海ブロックの支部訪問から、PCR検査の事前実施などを定めた「全国支部訪問における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」に基づき、感染防止対策を徹底しながら活動しています。訪問日程は4日間を基本に、訪問都道府県と調整しながら具体的な計画を作成いただいております。3月末からは近畿ブロックの訪問を計画しています。訪問先の皆様には、大変お世話をおかけすることとなりますが、よろしく願いいたします。

感染防止対策の切り札とされる新型コロナウイルスワクチンの接種が2月中旬から始まりました。薬剤師を含めた医療従事者の優先接種に続いて、4月中には高齢者への接種が始まることとなっていますが、ワクチン接種について不安を感じている方もいらっしゃると思います。薬剤師・薬局があらかじめ正しい知識を地域の皆さんにわかりやすく説明することによって、少しでも不安の解消を図ることにより、接種の円滑な実施の下支えに貢献できるのではないかと思います。

神谷まさゆき君を応援しよう！！

ホームページ

神谷まさゆき君の政治信条やプロフィール、活動の様子等をご覧ください



薬剤師「神谷まさゆき」の活動日誌 (Facebook ページ)

神谷まさゆき君の活動の様子をタイムリーに写真や動画とともにご覧いただけます



LINE 公式アカウント



LINE 公式 ID : @804mflcd

メールマガジン

神谷まさゆき君からコラム、トピック等を月1回お届けします



パソコンからの Email 受信拒否設定などをされている場合は、下記アドレスからの Email を受け取れるように設定してください。
info@kamiya-masayuki.com

薬連だより

本田あきこ オレンジ日記
～新型コロナワクチンの接種に向けて～



自民党厚生労働部会副部長
参議院議員・薬剤師 本田 顕子

「まず初めに新型コロナウイルスの感染状況について…」という枕詞で始まる日々が続いています。感染の終息が見通せない中、1月7日から1都3県、加えて13日には7府県を対象に2度目の緊急事態宣言が発令されるとともに、その後の感染状況から、栃木を除く10都府県を対象に3月7日まで延長されることとなりました。宣言の延長は私も委員であります議院運営委員会で審議されましたが、国民の皆様への影響を思うと心が痛む思いでした。

さて、感染拡大防止と並行して進められているのが、新型コロナワクチンの接種体制・流通体制の確保です。優先接種の対象として薬局の薬剤師等の従事者も対象となりました。接種は、医療従事者向けの先行接種(約1万人)が、続いて医療従事者(約370万人)、高齢者(約3,600万人)、基礎疾患のある人、その他の方々へと続いていきます。

今回は、通常の予防接種と異なり、厚生労働大臣が都道府県知事を通じて市町村長に指示をするため、市町村長からは情報が少ないという不安の声がたくさん寄せられています。このため1月19日、自民党内に「新型コロナウイルスに関するワクチン対策PT」が設置されました。徹底した科学的知見に基づき、ワクチン接種に関する様々な課題を冷静かつ速やかに解決することを目的としているため、役員は医療系議員を中心に構成されており、藤井基之先生、私も委員として参加し、薬剤師の立場から発言をしています。

円滑なワクチン接種が始まっても、新しい様式的生活は当分続くと思います。私は接種後の生活がより一層大切と思っています。

公衆衛生の大切さを薬剤師の先生から、継続して地域に広げていただければ幸いです。

～自殺対策強化月間～

「自殺対策基本法」では、例年、月別自殺者数の最も多い3月を「自殺対策強化月間」と定めています。地方公共団体、関係団体等とも連携して「誰も自殺に追い込まれることのない社会」の実現に向けて相談事業及び啓発活動を実施しています。

長引くコロナ禍における生活で、日本の自殺は11年ぶりの増加となりました。自殺は複合的な要素が絡んでいるのでコロナ禍だけが直接の原因とは断定できませんが、昨年10月からの統計結果を見ますと増加しています。小・中・高校生の自殺者数も統計開始以来最多となりました。困窮する女性の支援についても対策の重要性が高まり、2月12日に「孤独・孤立対策担当大臣」を坂本哲志一億総活躍担当大臣が担当されることとなり、内閣官房に担当室が設置されました。

ところで、自民党には組織運動本部の1つに女性局があり、様々な取り組みが行われています。今年からは、自民党女性局の地方議員を対象とした「政策ミーティング」と題した勉強会が始まりました。第2回目のテーマは要望が多かった「自殺」を取り上げ、私が講師を務めました。



自民党女性局政策ミーティングにて
(2021年2月22日)

私は自殺防止対策の最終目的は地域の皆様の命を守ることであり、地域・社会づくりと密接な関係にあると思っています。加えて、私は今回の講演資料を作りながらも一つの言葉を思い出していました。2025年に向けた「地域包括ケアシステム」です。包摂的に地域医療を支える仕組み作りも地域の皆様の命と健康を守るための仕組み作りだと考えます。どんな時でも地域の皆様の命を守るように、この困難な時を乗り越えて行きたいですね。

引き続きのご指導をよろしくお願い申し上げます。

薬連だより

国会レポート
～第204回通常国会開会～情報監視審査会会長
参議院議員・薬剤師
藤井 基之

第204回通常国会は1月18日に召集されました。新型コロナウイルス感染症の急増に伴い、特別措置法に基づく緊急事態宣言が11都府県に発令されている中での開会となりました。

国会では菅首相が施政方針演説を行い、新型コロナウイルス感染症の拡大防止について、これまでのコロナウイルスとの闘いの経験を踏まえた効果的な対策を行うとともに、2月下旬までには新型コロナウイルスワクチンの接種開始できるよう、体制整備することを明らかにしました。

続いて衆参の予算委員会において、新型コロナウイルスの感染拡大防止や経済対策を盛り込んだ、令和2年度第3次補正予算案の審議を行いました。補正予算案は1月26日の衆議院本会議、28日の参議院本会議にて原案通り可決しました。本補正予算の成立により、令和2年度の歳出及び歳入総額は、何れも175兆6,878円となりました。国会は引き続き令和3年度予算案の審議が行われます。

また「新型インフルエンザ等対策特別措置法等の改正法案」は2月3日に可決、成立しました。本改正法案は、感染症法及び検疫法の一部改正も含めた一括法案として提出されたもので、新型コロナウイルス感染症の発生状況を踏まえ、まん延防止等の重点措置を創設すること、緊急事態措置における施設の使用制限等の要請に応じない者に対する命令を可能とすること、宿泊療養・自宅療養の要請を法的に位置づけること等の規定が盛り込まれています。

この他、厚生労働省はこの国会に、「医療法等の改正法案」、「健康保険法の改正法案」、「B型肝炎給付特別措置法の改正法案」及び「育児・介護休業法等の一部改正法案」の4法案の提出を予定しています。

新型コロナウイルス感染症の早期収束を図るとともに、来年度予算並びに提出法案の1日も早い成立に努めて参りたいと思います。

～来年度予算案審議は参議院へ～

1月18日に召集された今国会では、令和2年度第3次補正予算に続いて、令和3年度予算案の審議が行われています。衆議院は3月2日に予算案を可決し、参議院に送付されました。来年度予算は、憲法の規定により年度内に成立することとなりますが、参議院として実のある審議を行い、その結果を示していくことが重要な役割となります。

国会では政府提案の法律案の審議が始まります。厚生労働省はこの国会に、「医療法等の改正法案」及び「健康保険法等の改正法案」の医療提供に係わる2つの法案を提出しています。

医療法等の改正では、良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制を確保することを目的として、医師の時間外労働時間の上限規制が令和6年4月に適用されるのに向け、医師の労働時間短縮及び健康確保のための措置を講じること。タスクシフト等を推進し、医師の負担軽減を図ること。医療計画に新興感染症等への対応に関する事項を追加すること等の規定が盛り込まれています。

健康保険法の改正では、昨年12月に閣議決定した「全世代型社会保障改革の方針について」を踏まえ、後期高齢者医療の窓口負担割合の見直しや傷病手当金の支給期間の通算化など、給付と負担の見直しを行うこと。子ども・子育て支援を拡充するため、育児休業中の保険料免除要件の見直しや未就学児に係る国民健康保険料の均等割額の減額措置を導入すること等を規定し、全ての世代が公平に支え合う「全世代対応型の社会保障制度」を構築することを目的としています。

新型コロナウイルスワクチンの接種が始まりました。皆様方のご協力により順調に接種が進み、感染症の収束への道筋が開けるものと期待しています。

藤井基之ホームページ <http://mfujii.gr.jp/>

薬連だより

転載記事

次期参院選組織内統一候補に聞く

日本薬剤師連盟 神谷政幸 副会長

「“ポスト藤井基之”後継目指し
不退転の決意で全力傾注」

来年7月に予定されている参議院議員選挙に日本薬剤師連盟（日薬連盟）の組織内統一候補に決定している同連盟副会長の神谷政幸氏が精力的な活動を展開している。薬剤師で当年42歳という若さとエーザイ勤務、薬局経営者という業界の現場を知り尽くした経験が武器で、今限りで勇退する藤井基之議員の後継を目指す。薬局経営者の座を捨てて政界入りを決断した同氏に未来は輝くか。

（聞き手＝取締役編集局長・西健一郎）

——プロフィールを拝見しますと、神谷副会長は1979年1月6日生まれの42歳。長い歴史を誇る日薬連盟の参議院議員立候補者をたどってみても、神谷副会長が史上最年少の候補者ではないかと思えます。現在はどんな心境ですか。

神谷 年齢は今ご指摘いただいたように、当連盟の参院選統一推薦候補としては最年少かもしれません。でも私自身はあまり年齢を意識したことはありません。

国会議員を目指そうと決意した以上、しっかりと経験を積んでいろいろ発言もし、長く務められる議員活動をしたと考えています。

われわれの業界の立場で申し上げれば、医薬分業がだいぶ進んできて国民生活の中にもその仕組みが定着してきました。この明かりをこれから先もともしていくため

にも医薬分業を担っていく若い薬剤師たちと一緒に未来をつくり上げていきたい、という強い思いがあります。

法律や政策に強く影響を受ける薬剤師のため出馬

——そもそも政治の世界に入ろうと決断された経緯と、日薬連盟の次期参院選統一候補になられた経緯をご説明ください。

神谷 私が特に政治というものを意識したのは、愛知県豊橋市の青年会議所における活動が発端です。その中で委員長として1年間事業を担当する役割を担った際に「主権者教育に関する事業」を任せられました。

18歳選挙権が話題になった頃でしたので、町の高校生たちに政治、それから投票、自分たちの未来を

つくるということ意識してもらおうという活動に1年間取り組みました。

自分自身も、日本の未来に関して政治が大事だということをもっと多くの人に知ってもらいたいと思い、そこから強く興味を持ったのです。

そうしたことが下地にあって、6年前に日本薬剤師連盟の企画実行委員会に委員として携わりました。2016年の藤井基之先生の選挙、19年の本田顕子先生の選挙など、後援会活動も含めて大変深く関わりました。

支援するに当たって、国から付託された資格である薬剤師がどれだけ政治や法律、政策というものに深く影響を受けているかということを目の当たりにしました。自分自身もそれについていろいろと調べて、法律や政策は薬剤師にとって非常に重要であると実感しました。

今回、藤井基之先生がご勇退されるということに当たり、ぜひその場に私自身が、これから引っ張っていく同じ世代と一緒に業界を盛り上げていきたいという思いから立候補をしたのです。

——日薬連盟は当初は藤井議員の続投を模索していたように聞いていましたが、本人は勇退の意思が固かったのですね。

神谷 ご指摘の通りで、日薬連盟としては、一昨年7月の参院選で本田顕子副会長（当時）が当選されて、組織内候補者議員2人体制が出来上がりました。日本薬剤師連盟としては長年の夢が実現できたわけですね。

山本信夫会長らが続投を要請した際に藤井先生は「候補者も含めて若返らなければいけない」と言われたと聞いています。それを踏まえて開催された昨年9月の臨時評議員会で議論した結果、新しい候補者を選考しようという結論に至り、各ブロックから推薦者を募る形になったのです。

——そのブロック推薦に神谷副会長が含まれていたわけですね。

神谷 そうです。

薬局経営者の座捨てての決断が候補者の決め手に

——最終的に統一候補になられたのはいつですか。

神谷 昨年3月末です。日本薬剤師連盟定時評議員会で議決されました。

——ブロック推薦された方は何人いたのですか。

神谷 6人と聞いています。

——神谷副会長が適任者となった一番の決め手はどういう点だったのでしょうか。

神谷 評議員会における役員からの説明によると、適任とした主な理由は、6年前から当会の参院選のお手伝いをさせていただいていた経緯や若さに加え、立候補をするに当たり、今まで自分が社長をしていた薬局経営の座を捨ててまで臨んだその決意、覚悟にあったと聞かされました。

——なるほど。それは大英断で



PROFILE

かみや まさゆき：1979年1月6日生まれ。愛知県出身。2003年3月福山大学薬学部卒業後、エーザイ入社。大阪で3年半MR経験後、実父の急死に伴い愛知県豊橋市内の稼業のドラッグストア・カミヤの経営を継承、現在同社相談役。09年愛知県薬剤師会・豊橋市薬剤師会理事、13年愛知県薬剤師会理事、14年日本薬剤師連盟企画実行委員会委員、18年豊橋青年会議所開発理事、19年豊橋市薬剤師会副会長、20年日本薬剤師連盟副会長。趣味は読書と音楽鑑賞で五木寛之が愛読書。音楽は大江千里のファン。

したね。薬局はどうされたのですか。

神谷 大学の後輩に譲りました。

——退路を断られたわけですね

神谷 そういうことです。

——相当な覚悟で手を挙げられたということですね。実際推薦を決まった瞬間はどんな気持ちでしたか。

神谷 それはもう、「何が何でも絶対に当選してやる」と思いまし

た。私自身、薬業界全体のために頑張りたいという思いが強くなりまして、将来的に薬業界、薬に関わる人たちがみんなが輝いて、国民のより健やかな生活が実現する、そこまでしっかり自らの職務を果たしたいという思いが一番強かったです。

——ご家族の反対はなかったのですか。



藤井基之議員と握手する神谷副会長

神谷政幸氏のマニフェスト

- 国民皆保険制度を堅持し、社会保障制度の充実・強化
- 「かかりつけ薬局・薬剤師」による、医薬分業制度の定着
- 地域や医療機関におけるチーム医療を推進し、医療提供体制の充実
- 健康寿命の延伸のため、セルフケア・セルフメディケーションを推進
- 災害に強い医療・介護の提供体制の整備など国土強靱化の推進
- 優れた医薬品・医療機器等の開発促進と安定供給のための環境整備
- 女性・高齢者・障がい者等が安心して活躍できる社会の構築
- 子育て支援など少子化対策の充実・強化
- 公衆衛生の一層の向上により、安心・安全な社会の構築
- ドーピングを含む薬物乱用防止対策の強化により、健全な社会の構築

神谷 家内からは反対されるかと思っていたのですが、「あなたが決めたのなら」と割とあっさりとしていました。

——正式に決まって約1年ですが、今どのような活動をされていますか。

神谷 各都道府県の後援会に、一度は直接お伺いをしてごあいさつをさせていただくことを主眼において活動していますが、ご承知のような新型コロナウイルスの感染拡大で、実際の訪問がままならず、ウェブを使ったりリモートでのごあいさつなどの併用で、活動しています。

——そういった環境の中でも手応えは感じていますか。

神谷 直接お話をする機会を頂きますとたいへい「ものすごく熱意を感じたので、しっかり応援し

たい」と激励を受けます。私自身が薬局の経営者として十数年間やってきたことから「国政を通じて現場の声をしっかり伝えてくれ」といった声をたくさん頂いています。

加えて、私は製薬企業（エーザイ）勤務の経験があり、流通業の方とも非常に親しくしておりましたので「製薬産業がもっと元気が出てくれないと、非常に危機感を感じている」という指摘もあり、そういった面でも期待しているというお声を頂くことが多いです。

かかりつけ薬局と薬剤師の制度への理解を促したい

——次期参院選挙は22年7月ですが、残る1年半の事実上の選挙活動期間中に具体的に何を訴えて、自分がどのような政治を目指そうと

しているのかについて、お考えをお聞かせください。

神谷 まず今回、日薬連盟における次期参議院議員選挙の組織内統一候補として機関決定を頂いたのを踏まえて作製したポスターには「かがやけ 未来の やくぎょうかい」というキャッチコピーを掲示しました。

三つの文言の頭は「か み や」をもじったものです。同時に、私自身は薬局薬剤師の経験があるので、薬剤師、薬局、それから薬業連携なども含め、その声をしっかりと届けていきたいというのがベースにあります。そして薬業界全体、製薬産業、それから医薬品流通業もしっかり輝かせていきたいという思いも根底にあります。

その上で特に私は「3本柱とプラス1」という形で考えていることが

お家にいながらサンプル商品を無料でGET!!

第21回 JAPAN ドラッグストアショー

※オンライン Online

ドラッグストアから未来の健康社会づくり
～ライフスタイルの転換期セルフメディケーション生活実現へ～

ビジネスデー 2021年3月17日(木)・18日(金) 一般デー 2021年3月13日(日)～21日(日)

最新情報はこちら
JAPANドラッグストアショーホームページ
<https://drugstoraeshow.jp>

主催 JACDS 一般社団法人 日本チェーンドラッグストア協会
協賛 オールジャパンドラッグ株式会社 株式会社ニッド・日本ドラッグチェーン

入場無料 オンライン展示会なので いつでもどこからでも アクセス可能!

QRコード

ドラッグストアショー で検索

あります。

国民皆保険をしっかりと守っていくことがまず一つ。

二つ目が薬局薬剤師出身ということもあり、やはりかかりつけ薬局、薬剤師の制度をしっかりと国民に理解をしていただくこと。

そして医薬分業制度のさらなる定着化です。医薬分業という言葉は国民にしっかりと浸透してきてはいますが、制度としてよりしっかりと薬剤師の職能が発揮でき、そのことを国民自体にも実感をしていただけるような活動をしたいと考えています。

先ほども申し上げたように私は、一般用医薬品（OTC 医薬品）を置いている薬局と家が一緒であり、職住一体となった環境で生まれ育ちました。

私の店の店頭では「先生、ちょっとここの調子が悪いんです」といった地域の生活者からの相談を受ける姿を小さい頃から見ました。

だから処方箋応需だけでなく、一般用医薬品などを使ってセルフケア、セルフメディケーションに

よって国民の身近な健康に携わること。これが三つ目です。そのためにもかかりつけ薬局、薬剤師の役割の重要性を訴えていきたいと考えています。

セルメ税制の拡充も政治信条

——神谷副会長が掲げているマニフェストには、今、日本一般用医薬品連合会などが中心に普及活動を展開している「セルフメディケーション税制の拡充」には触れていません。OTC 医薬品の店頭活性化という点では大事なテーマだと思います。

こういうテーマはやはり日本薬剤師会、あるいは日本チェーンドラッグストア協会などともっと連携していかないと、世論の喚起にはつながらないと思いますが、どうお考えですか。

神谷 ご指摘の通りで大事な取り組み課題だと認識していますし、日本薬剤師会もセルフメディケーション税制の拡充活動に協力していると承知しています。

——仮定の話になりますが、仮に神谷副会長が当選された場合、本田顕子議員との連携、役割分担については、何かお考えになっていることはありますか。

神谷 本田先生とは現段階ではそういう話はしておりませんが、本田先生は医薬品流通業での勤務経験が長く流通には精通されています。それから災害などもご自身が熊本出身で経験されていますので、国土強^{きょうじん} 靱化などの問題でも大変心強いと思っています。

私は薬局の現場の薬剤師の声、それから経営、調剤報酬、診療報酬という社会保障の中の枠組みでの薬局、薬剤師、医療機関の声を国政に届ける。そんな観点からの活動を通じて、本田先生と連携できるのではないかと考えています。



神谷副会長（左）と小社社長の安藤俊仁

肩のコリ、筋肉の痛みにも

スポールバン

痛くないはり治療

酸化鉄粉末成型板（圧電子）





1 指で押して痛いところを探す

2 貼る

3

4

最も痛むところ（圧痛点）にまず1個、それに接近させて2～4個はってください。



「貼る」を確かな技術で。

ユートク薬品

転載記事

「沖縄の薬剤師」魅力発信

薬剤師を養成する大学薬学部が4年制から6年制になって今年で15年がたつ。薬剤師数は全国で年々増えているが、沖縄は人口当たり全国最少で人材不足の状況が際立つ。県薬剤師会(亀谷浩昌会長)は県などに対し県内大学にない薬学部の新設を訴え続けるとともに、県外で学ぶ学生らのU・Iターン就職を増やすため、沖縄で働く魅力発信を強化する考えだ。

人材確保へ県薬剤師会

と沖縄をつないで開かれたオンラインワークショップ(WS)。沖縄出身者3人を含む県外6大学5年の薬学生12人が2日間、沖縄の医師や薬剤師から離島医療の現状や課題、薬局の取り組みなどを学び、意見交換した。

都心部とは違い、薬の流通や患者搬送などが天候に左右される。こうした離島・へき地の実情を知るなど、参加した学生の多くは大学の講義や自身の居住地域だけでは学ぶことのできない職業観に触れた。



生涯学習フェスタ「U・Iターン・U・Iターン」で、県内の高校生に薬剤師の仕事の説明する実務実習中の大学生たち。2019年7月、宮野濱市・沖縄コンベンションセンター(県薬剤師会提供)

宮古島の飲酒の風習「オトリリ」について話し合った場面では、多量飲酒を懸念しつつ、地域特有の文化や住民生活を尊重しながら疾患予防に努める重要性を理解した。「この診療科の患者も総合的に対応できるようになれば、離島医療を経験してみたい」といった感想もあった。

WSは星薬科大(東京都)、明

人口比全国最少の打開図る



在宅訪問に同行する実務実習中の大学生(右から2人目)。2017年8月、宮野濱市・すこやか薬局野高店(佐藤雅美さん提供)

治薬科大(同)、京都薬科大(京都府)が取り組む文部科学省委託事業「大学における医療人養成の在り方に関する調査研究(薬学実務実習の諸課題についての調査・研究)」の一環で、県薬剤師会も協力した。

同会によると、毎年沖縄から100人前後が薬学部へ入学するが、待遇面やより経験が積めるとの判断から、卒業後はそのまま県外で就職するケースが多い。同会

が把握しているだけで2012年度からの5年間で161人が薬剤師資格の取得に必須となる実務実習(22週間)の場に沖縄を選んだが、実際に県内で就職したのは4人と3割に届かない。

佐藤雅美常務理事は今回のWSを受け「学生たちにとっては1、2週間の短期実習を経験するだけでも、たくさん収穫が得られると感じた」と手応えを語る。今年の実習受け入れ予定は56人で過去最多だが、今後も学生の出身地にかかわらず、さまざまな取り組みで受け入れの裾野を広げたいという。

▶ことば

沖縄県の薬剤師 厚生労働省の2年ごとの調査によると、沖縄県の人口10万人当たりの薬局・医療施設に従事する薬剤師数は2018年12月末現在139・4人で全国最少。233・8人で最多の徳島県より100人近く少なく、全国平均の190・1人も開きがある。沖縄県薬剤師会が中心となり18年、薬学部設置を求める10万筆超の署名を琉球大に提出。県は20年度から薬剤師の需給予測を調査するなど、県内国公立大への設置の可能性を検討している。

転載記事

沖縄県難病相談支援センターの依頼により、同センターの難病情報誌「アンビシャス」に、薬に関する情報や啓発文を本会薬事情報センターの吉田典子氏が執筆を担当し、連載されています。

Vol.216 (2020年5月号)

今月のおくすり箱

お薬にも、食品と同じように使用期限があります。

処方箋がなくても薬局やドラッグストアなどで購入可能なお薬（一般用医薬品、OTC薬、市販薬等と呼ばれています）には、外箱や瓶などに使用期限の記載があります。これはあくまで未開封で、適切に保管していた場合の使用期限を意味しています。いったん開封されたお薬は、時間とともに温度・湿度（湿気）や光などの影響を受けて変色したり、粉薬などは湿気により固まってしまいうこともあります。そのように変質したお薬や使用期限の過ぎてしまったお薬は十分な効果が得られないばかりか、服用すると体調不良となることもあります。開封後の薬は、変質があれば使用期限の表示内であっても服用は避け、破棄した方が安全です。

また、調剤薬局や病院から処方されるお薬（医療用医薬品）は、医師が診察した時に、患者さんの症状に合わせて処方したお薬です。処方された期間が使用期限となります。

ご家庭にある薬の使用期限が切れてないか、変質してないか等定期的なチェックを心がけましょう。



沖縄県薬剤師会
吉田典子



Vol.217 (2020年6月号)

今月のおくすり箱

保湿剤を効果的に使おう

皮膚は皮脂が不足して乾燥状態になると、水分の蒸発や刺激を防ぐ皮膚表面のバリア機能が低下し、肌荒れやかゆみを伴います。ひどくなると、あまりのかゆさについて掻きむしったりして炎症を起こし出血することもあります。

乾燥した皮膚に使用される保湿剤は白色ワセリンやビタミン剤配合などの軟膏タイプ、尿素やヘパリン類似物質などを含有するクリームやローションタイプ等があります。保湿作用のほか、血行を良くする作用、炎症を抑える作用をもつ薬剤もあります。保湿剤の使用により良好な皮膚のバリア機能の維持、改善が期待できます。保湿剤は皮膚から水分が逃げないようにする役割があるため、保湿剤の使用はできるだけ入浴後5分以内の皮膚が水分を多く含んでいるときに塗るのが最も効果的です。1日2〜3回などの指示の場合、入浴後でない場合には保湿剤を塗る前に水や化粧水などで皮膚を湿らせておくとよいでしょう。

ドラッグストア等で保湿剤を購入する際は、薬剤師と相談して皮膚の状態や部位に合ったものをご購入しましょう。



沖縄県薬剤師会
吉田典子



Vol.218 (2020年7月号)

今月のおくすり箱

薬がうまく飲み込めないんです。



粉薬は苦いし、むせたり、喉に引っかかるから苦手、漢方薬の匂いが嫌だという方は多いと思います。よくコップ一杯のお水で服薬を勧めますが、水と薬では喉を通る速さが違う為、一緒にうまく飲み込めずに薬だけが喉に取り残されてしまい、それが原因で炎症や潰瘍を引き起こす事もあります。

そこで薬を飲みやすくする方法としてよく知られている「嚥下補助ゼリー」という商品があります。ドラッグストア等で購入できる「嚥下補助ゼリー」は薬をうまく服薬できるように開発されたゼリー状のオブラートです。「嚥下補助ゼリー」と一緒に服用することでカプセル剤や錠剤なども上手く飲み込むことができます。また、最近では飲みやすくするためにフルーツやココアの味がついている商品もあります。スプーンを利用して、ゼリーで薬を包み込んで一緒に飲み込みます。飲みづらい場合には前後に少量の水を飲むといいでしょう。「嚥下補助ゼリー」を利用すると薬を簡単に服用できるため、小さいお子様から高齢者まで多くの方に利用されています。



沖縄県薬剤師会
吉田典子

Vol.219 (2020年8月号)

今月のおくすり箱

いざという時のための「救急箱」の中身は？



皆さんのご家庭では、救急箱を備えていますか？救急箱は、急なけがや病気の時、災害時などにもいつでも持ち運べるように準備しておくで大変便利です。救急箱の中には体温計、絆創膏（傷テープ）、ガーゼ、包帯、ハサミ、テープなどの医療材料、医薬品としてはやけどなどに使用する軟膏、かゆみ止め、痛み止め、風邪薬や解熱剤、整腸剤などを揃えておくと、いざという時の助けになります。擦り傷などに使用されていた消毒剤は、最近ではあまり使わず、傷口を流水できれいに洗い流してから湿潤療法を目的とした絆創膏を使用すると、傷跡が残りにくいとされています。また、救急箱に入れるものとして注意しておきたいのが開封後の湿布薬です。湿布薬中の芳香成分などが点眼薬などのプラスチック容器を透過し、薬液中に入って点眼時に刺激を感じる場合があります。開封後の湿布薬と目薬は一緒に保管しないようにしましょう。救急箱は必要時にすぐに使用できるように家族がわかる場所に保管し、期限切れや不足薬の補充など定期的なチェックをお願いします。



沖縄県薬剤師会
吉田典子

Vol.220 (2020年9月号)

今月のおくすり箱

「禁忌(きんき)」ってなに？



「禁忌」とは、一般的には「してはいけないこと」の意味ですが、医療現場では、ある医薬品を使用することにより、病状が悪化したり、副作用が起りやすくなったり、薬の効果が減弱又は増強するなどの可能性が高いため、使用しないこととされています。病院から処方されるお薬は、医師や薬剤師によって禁忌事項などのチェックが行われます。しかしながら、市販薬は、自分で選ぶことができるため、お薬についての正しい知識をもつて上手に使用したいものです。市販薬は用法・用量と同様に「禁忌」の確認も重要です。説明書の使用上の注意の「してはいけないこと」がそれにあたります。これらを守らないと、服用する薬の効き目が十分に現れなかったり、逆に効果が強く出すぎてかえって症状が悪化したり、副作用が起ることもあります。「服用後、乗り物の運転操作はしないでください」と注意のあった風邪薬を飲んで正常な運転ができず、交通事故に至った例も報告されています。お薬を正しく使用するために、市販薬の服用時は『説明書をしっかり読む』という習慣を身につけましょう。



沖縄県薬剤師会
吉田典子

※発行元が記事の利用・編集を許諾しています。

転載記事

県内医療者4団体
交通遺児に61万円

県医師会(安里哲好会長)など県内4医療団体は16日、県交通遺児育成会(理事長・玻名城泰山琉球新報社社長)に計61万9477円を寄付した。安里会長=写真左から2人目=と県歯科医師会の真境名勉会長、県薬剤師会の亀谷浩昌会長、県



看護協会の仲座明美会長が同日、那覇市泉崎の琉球新報社を訪れ、目録を手渡した。寄付は31回目で総額は2151万6821円となった。安

里会長は「子どもたちは厳しい生活環境の中で就学や進学に取り組んでいる。頑張ってもらいたい」と述べた。

琉球新報
令和3年3月19日(金)

ぶれいくたいむ



地方紙に掲載された会員の投稿を紹介します！

新聞小説楽しみ

新垣 正次 86歳

本紙3月6日付声欄に、中井美氏が村上由佳氏の新聞小説「星屑」の今後が楽しみという、一文が掲載された。私も、その小説を楽しみに読んでいた一人として共感を覚えた。

新聞小説の面白いところは、先の展開が読めない期待感に、ぞくぞくするところではないだろうか。

これは、人間の生き方にも相通するものがあるように思われる。浄土真宗の中興の祖といわれる蓮如上人いわく「朝には紅顔ありて、夕には白骨となれる身なり」と。明日も知れぬ命を生きているのが人なのである。

今日は無事で生きたとしても、明日の命は分からない。神のみぞ知るである。だからこそ一日一生の思いで生きるところ、人生の醍醐味があるやに思われる。それこそ、新聞小説の先が読めないところに相通じるのではないだろうか。

桐絵とミチルがどのような関わりを続けることとなるのか、今後の楽しみである。

(那覇市、薬剤師)

琉球新報
令和3年3月22日(月)

※発行元が記事の利用・編集を許諾しています。

ぶれいくたいむ



〇〇〇 薬草園だより 〇〇〇

あら？ どうしてこんな所に？
 植えた覚えのない所に、ヒョロっと細い木が一本。
 葉っぱを見てすぐに桜の木であることが分かった。
 そっか～、きっと、薬草園の木の実をついばみ、土の中の虫をつ
 いばんでいた小鳥が、置き土産をしたに違いない。
 桜の木は、ひとりでにスクスクと育っていった。あれから4～
 5年経ったろうか。
 「桜さん、そろそろ花芽を付けてもいいのではないでしようか。
 お隣の桜の木は、花を付けていますよ。」
 そんなふう話し掛けていると、あら？ なんだかピンクのふくら
 みが見えて来ましたよ。とうとう桜が咲いたのです。これを事務局
 の大城さんに伝えたら、
 「どれどれ～、、、ホントだ！ バンザーイ！！
 両手を広げて喜びの叫び!!!



待ちたりし 花のほころび 空に映え

一句詠む。

(文:女性薬剤師部会 薬草園担当 与儀 和子)

会報原稿募集のご案内

広報委員会



おきなわ薬剤師会報は皆様の会報です。
 広報委員会では、会員の皆様からの原稿や
 作品を多方面にわたり募集致します。活発な
 御投稿をお待ち致しておりますので、是非、
 御協力下さいますようお願い致します。

【会報表紙及びカット写真】

写真にタイトルを付けて奮ってご応募願
 います。写真の採否、掲載月については広報委
 員会に一任頂きますのでご了承下さい。表紙
 写真はカラー、カットについては白黒印刷と
 なります。

【会員からの意見箱】

皆様の質問、意見、主張を掲載します（薬
 剤師会活動や社会に対する本音など何でも結
 構です）。日常業務の中での疑問、薬剤師会
 活動、賠償責任保険、医薬分業、一般薬販売
 等について質問を受け付けます。

- ・誌上匿名は可能です。
- ・回答者を指名されても結構です。

【寄稿コーナー】

勤務薬剤師としての立場から見られた日常
 業務、過去、現在の職場に対する長短所・要
 望等。若い先生方からの御意見、御投稿をお
 待ちしております。

同時にベテランの先生方からの店舗経営に
 関する事、開業顛末記等、今後の進路を決め
 る若い先生方へのアドバイス等についても募
 集します。

【会員作品・趣味のコーナー】

会員からの作品・趣味等を随時募集して
 おります（手記、随筆、紀行文、詩、短歌、俳
 句、川柳、写真、絵画、毛筆等の作品、ス
 ポーツ同好会や趣味の集い等の紹介や活動状
 況報告など何でも歓迎します）。

☆原稿送付先（会報に関する問い合わせ）

沖縄県薬剤師会事務局 大城まで 〒901-1105 沖縄県島尻郡南風原町字新川 218-10
 TEL 098-963-8930 FAX 098-963-8932 e-mail: kouhou@okiyaku.or.jp

令和2年度第10回理事会議事概要

日時：令和3年1月9日（土）19:00～20:15

場所：沖縄県薬剤師会 研修室

出席者：亀谷浩昌、金城雄一、佐藤雅美、西川裕、宮城幸枝、村田美智子、新垣秀幸、上原卓朗、川満直紀、笠原大吾、幸地良信、古謝真己、島袋さゆり、知名博樹、中尾滋久、前濱朋子、盛本直也、吉田洋史

WEB：中村克徳、友寄安彦

監事：江夏京子

事務局：大城喜仁、玉寄博之、金城佳樹

議 題

(1) WEB会議参加手当について

＜資料配布＞

（玉寄主任）

コロナ禍でインターネットを利用したWeb会議が増加する中、Web会議運用に関する規定が無い
ため、日本薬剤師会の内規を参考にして作成した。作成案について審議していただきたい。

（亀谷会長）

「本会以外の団体が主催し、且つ手当が無い場合は、この内規に則って支給するものとする。」
の文言を作成案に追記し、今後運用していきたいがよろしいか。

作成案に追記事項を含め、今後運用していくことが、賛成多数で決議された。

報 告（会）

(1) 会営薬局の調剤保険料等について

＜資料配布＞

（玉寄主任）

本会3会営薬局の12月度分の調剤保険料の資料である。

(2) 令和2年度第9回学校薬剤師部会役員会

12月13日（日） 県薬 <資料配布>

（知名理事）

新規で30名程の会員が増えたため、学校配置のマッチング作業を行なった。

(3) 令和2年度第3回薬学生実務実習受入委員会

12月14日（月） 県薬 <資料配布>

（佐藤常務理事）

令和3年度の九州山口地区以外の薬学生26名のマッチング作業を行なった。

(4) 2020年度第1回病院・薬局実務実習九州・山口地区調整機構総会

＜資料配布＞

（佐藤常務理事）

12月15日（火）福岡県薬剤師会館

2020年度実績報告と2021年度事業計画および予算案等について話し合った。

(5) 令和2年度上期監事監査

12月19日（土） 県薬 <資料配布>

（江夏監事）

会計処理について、特に問題は無かった。賛助会員B会費の免除や豊見城中央病院の移転等
で大幅な収益減となったが、研修会等の行事が中止となったことや、薬価交渉を3会営薬局分
一元化したことにより、大幅な経費削減ができていた。

- (6) 薬剤師のための臨床研修入門研修会 12月20日(日) 県薬 <資料配布>
(中村副会長)
薬剤師が研究や学会発表を行うことの重要性について、名古屋市立大学薬学部の鈴木匡教授に分かり易く講演いただいた。参加者は62名(現地11名、Web51名)であった。
- (7) 令和2年度第3回沖縄県自然環境保全審議会 12月24日(木) 八汐荘 <資料配布>
(島袋理事)
自然環境の保全に関する重要事項を調査審議する沖縄県知事への諮問機関であり、温泉掘削申請や自然公園に係る事業変更について審議を行なった。
- (8) 令和2年度第3回沖縄県高齢者福祉対策推進協議会 <資料配布>
(佐藤常務理事) 12月25日(金) 沖縄県教職員共済会館
第8期沖縄県高齢者保健福祉計画(案)について協議した。薬剤師に関わる内容は3つあり、資料の文案を修正し提出予定である。
- (9) 社会保険診療報酬支払基金幹事会 <資料配布>
(亀谷会長) 1月6日(水) 社会保険診療報酬支払基金沖縄支部
令和3年度の審査支払手数料は、35.80円(前年度比マイナス0.10円)となっている。
- (10) 3会営薬局原価率検証について <資料配布>
(玉寄主任)
前年度と今年度の原価率(売上原価÷薬剤料)の差が2.07%あり、10月末時点で約2,000万円の費用削減となった。年間で約3,400万円の費用削減となる見込みである。
(亀谷会長)
これまで様々な事情で購入一元化ができなかったが、ようやく実施することができ、大きな費用削減となった。
(吉田理事)
薬の廃棄料の変動も見ていくべきだと思われる。
- (11) 薬剤師に対する行政処分について <資料配布>
(大城次長)
厚生労働省の薬剤師倫理部会の答申を受けて決定されている。
- (12) 令和3年度各種委員会・部会事業計画案の提出について <資料配布>
(大城次長)
提出していない担当理事は1月29日までに提出をしていただきたい。
- (13) 日本薬剤師会第97回臨時総会代表質問事項について
(大城次長)
質問事項等があれば、1月25日までに提出していただきたい。2月4日の日本薬剤師会九州ブロック会議に提出することになっている。

(14) その他

<資料配布>

(新垣理事)

友愛医療センターのFAXコーナーが、2月から運用開始する予定である。場所は、総合案内の側に設置することになっている。

(佐藤常務理事)

沖縄県の県民意見箱に薬学部創設の要望が提出されている。県民からの声で薬学部創設は進展が期待される。

また、文部科学省の委託事業である沖縄県地域活性・課題解決アドバンスプログラムの教材が沖縄県のPRとなるため、地元紙に取材できるか交渉中である。

(玉寄主任)

会館の防水塗装等の修繕工事は、12月に雨天が多かったため作業に遅れが生じているが、1月中旬頃には全作業完了の予定である。

(大城次長)

琉球大学病院の移転に伴う「福利厚生施設等」における公民連携整備導入に関するサウンディング調査が始まっている。意見があれば提出いただきたい。

報 告 (薬連)

(1) とかしきなおみ君を励ます会 12月15日(火) ホテルニューオータニ東京 <資料配布>

(亀谷会長)

とかしき議員は薬剤師議員であり、今後の関係構築のために出席した。

(2) 小野寺五典衆議院議員来訪

1月5日(火) 県薬

(亀谷会長)

宮古島市長選挙を控えているため、協力以来の来訪であった。小野寺議員と一緒に西銘恒三郎議員、國場幸之助議員、照屋守之県議会議員も来訪された。

(3) その他

(大城次長)

日本薬剤師連盟の神谷まさゆき副会長の紹介者名簿の収集が始まるので、協力いただきたい。

訃報

生前のご功績を偲び、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

仲吉 文男 先生 (享年72歳) 令和3年2月24日ご逝去



会員にかかる弔事に関する薬剤師会への連絡について

会員及び一親等の親族・配偶者のご不幸は、下記まで御一報下さい。
(香典・生花等の手配があります)

※各地区、各支部及び、友人、知人の方、御一報よろしくお願ひします。

【連絡先】 沖縄県薬剤師会事務局: 098-963-8930

令和2年度第11回理事会議事概要

日時：令和3年2月13日（土）19:00～21:00

場所：沖縄県薬剤師会 研修室

出席者：亀谷浩昌、金城雄一、佐藤雅美、西川裕、宮城幸枝、村田美智子、川満直紀、笠原大吾、古謝真己、島袋さゆり、知名博樹、中尾滋久、前濱朋子、盛本直也、吉田洋史

Web：中村克徳、幸地良信、友寄安彦

監事：神谷朝雄

事務局：大城喜仁、玉寄博之、長嶺勇作

欠席者：新垣秀幸、上原卓朗

議 題

(1) 沖縄県薬剤師会第84回定時総会開催日について

(大城次長)

毎年6月に開催している定時総会の開催日について、幹事会から令和3年6月20日（第3日曜日）午後1時30分から開催する提案がある。理由は、日本薬剤師会第98回定時総会が第4日曜日の6月27日に予定されていること。また、第2日曜日の6月13日に開催すると、前日の12日土曜日が理事会開催日となっており、急な事案が発生すると資料作成等の対応に支障をきたすこともありえるからである。

ちなみに、同総会前の午後1時から、沖縄県薬剤師連盟評議員会を開催することになっている。

幹事会提案で、特に異議無く、全会一致で承認された。

(2) 会営薬局移転推進特別委員会について

〈資料配布〉

(亀谷会長)

去る1月13日の日本薬剤師会都道府県会長協議会において、開設が相次いでいる敷地内薬局に山本日本薬剤師会会長が、「薬剤師会が主体となって敷地内薬局に乗り出すことは勘弁いただきたい」「敷地内への進出の流れを食い止めていきたい」「国と敷地内薬局に求められる新たなルールの整備を検討している」との発言があり、本会においても改めて敷地内への移転を考え直さないといけない。

(古謝理事)

敷地内へ移転しないと決議しても、会の収益や現在勤務している職員のことも考慮し、喫緊の課題として門前への移転も検討していかなければならないのではないかと。

(村田常務理事)

日本薬剤師会会長の今回の発言も鑑み、今後の同委員会のあり方について話し合わせ、同委員会の目的が、「会営薬局うえはらを新琉球大学病院の敷地内に移転することを推進していく」ことで設置されたことにより、解散した方が良いとの意見も出た。

(亀谷会長)

敷地内に移転はしなくても、「門前に構える、もしくは移転無しとする」、また、「会の収益

や勤務している職員の件」、「他の会営薬局を充実させていく」等、今後も検討していかないといけないため、同委員会を解散することは考えていない。

審議の結果、新琉球大学病院敷地内へは移転しないこと、今後の会営薬局うえはらの移転のあり方については継続して会営薬局移転推進特別委員会が審議していくことが、賛成多数で承認された。

(3) 琉球大学医学部及び琉球大学病院移転に伴う福利厚生施設における (資料配布)
(大城次長) 公民連携整備導入に関するサウンディング調査について

前記の協議において、琉球大学病院の敷地内に移転しないことが決議されたことにより、同サウンディング調査にエントリーしないこと、また、今後の公募にもエントリーしないことでのよろしいか。

特に異議無く、賛成多数で承認された。

(4) FAXコーナー職員の慰労金について

(玉寄主任)

2月5日開催の財務委員会で、財務状況を考慮した結果、FAXコーナー職員への慰労金は支給可能であると判断された。1人当たり1万円を予定しているが、理事会で審議していただきたい。

(亀谷会長)

地区のFAXコーナー職員だけではなく、事務局も含めた県薬の職員に対しても同じように支払ってあげたい。

(吉田理事)

地区薬剤師会の事務職員も含めていただけないだろうか。

県薬剤師会職員全員と地区薬剤師会職員にも支給することで、承認された。

報 告 (会)

(1) 会営薬局の調剤保険料等について (資料配布)

(玉寄主任)

本会3会営薬局の1月度分の調剤保険料の資料である。

(2) 健康サポート薬局AB研修会 1月10日(日) 県薬 (資料配布)

(笠原理事)

A研修は19名、B研修は20名の参加があった。本研修会はグループ討議や演習を主としているが、感染予防のために換気を行いながらアクリル板を設置して開催した。

(3) 沖縄県地域活性・課題解決アドバンスプログラム 1月10・11日(日・月) 県薬 (資料配布)

(佐藤常務理事)

1月10日～11日の2日間にわたり行った。同プログラムは、ふるさと・遠距離出身地、出身地外の遠距離地域において、参加型、課題解決型で地域医療を学習し、関連職種や職能団体、

行政、企業等と連携し、地域・雇用の活性・課題解決を目指すことを目的に開催した。

- (4) 令和2年度第2回沖縄県後期高齢者医療制度運営懇話会 (資料配布)
 (佐藤常務理事) 1月12日(火) 沖縄県後期高齢者医療広域連合
 予算関係や、後期高齢者医療に関する条例の改正、沖縄県後期高齢者医療広域連合第2期保健事業実施計画中間報告書案について確認を行った。
- (5) 令和2年度第3回日本薬剤師会都道府県会長協議会 1月13日(水) 日薬 (資料配布)
 (亀谷会長)
 薬剤師の養成及び資質向上等に関する検討会についての部分にて、日本薬剤師会安部副会長より、国民に対し、薬剤師・薬局の意義を理解させる機会を増やしたほうが良いと提案があった。また、日本薬剤師会の森昌平副会長より、社会保障審議会医療部会にて保険者からもかかりつけ薬局・薬剤師を持つことの大切さを伝えていきたいとの発言があったとのことであった。その他、次第に沿って進められた。
- (6) 令和2年度薬剤師認知症対応力向上研修会 1月17日(日) 県薬 (資料配布)
 (中尾理事)
 今年度は県の方針で現地開催のみとなった。参加人数は、ここ2～3年は20名ほどであったが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のために研修会が減ったことが影響し認定研修単位取得のために45名と参加が増えた。内24名は新規参加者であった。また、厚労省作成のテキストがアップデートされていたが、各講師がそれをまとめた資料を作成したため、解り易く構成されていた。
- (7) 令和2年度第10回学校薬剤師部会役員会 1月17日(日) 県薬 (資料配布)
 (知名理事)
 各地区で、新規で学校薬剤師となる会員の担当学校の割り振りを行った。また、今年度は新型コロナウイルス感染防止の影響により新人研修会が開催できなかったため、ハイブリット形式で開催を予定している。
- (8) 令和2年度第2回医療保険委員会 1月18日(月) 県薬 (資料配布)
 (宮城常務理事)
 新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱い、令和3年度事業計画、九州山口薬剤師会「医療保険協議会」に関する確認事項を行った。診療報酬上の臨時的な取扱いについては、随時、各薬局へ一斉同報にて知らせている。
- (9) 令和2年度第5回広報委員会 1月18日(月) 県薬 (資料配布)
 (大城次長)
 次年度の事業計画の作成、おきなわ薬剤師会報新年号の編集を行った。令和2年誌上ギャラリー作品賞には、大賞に平良博文氏の「琉球マンハッタン」、優秀賞に成川玲子氏の「ロンドン自然史博物館」選出された。

- (10) 管理者会議 1月19日(火) 県薬 〈資料配布〉
(大城次長)

会営薬局うえはらでは、12月から薬剤師が1名就職し、2月から中曾根鳴香氏が管理薬剤師に就任する。管理薬剤師をしていた與世平千夏氏は会営薬局とよみに異動となった。各部署からの報告は配布資料のとおりである。

- (11) 令和2年度第2回会営薬局委員会 1月22日(金) 県薬 〈資料配布〉
(佐藤常務理事)

各会営薬局の現況報告として、コロナ禍における受付回数の減少や豊見城中央病院の移転などもあり、前年度より収益減となった。また、各薬局の適正人数について、今後検討していくことになった。

- (12) 令和2年度女性薬剤師部会第31回漢方講座 1月24日(日) 県薬 〈資料配布〉
(村田常務理事)

89名の参加(現地:13名、Web:76名)があった。今回は、本会理事でもある盛本直也理事の薬局(ヴァインドラッグあがり浜薬局)であった漢方相談の1年間の実証例を基に講演していただいた。

- (13) 令和2年度第1回薬事情報センター委員会 1月25日(月) 県薬 〈資料配布〉
(中尾理事)

県は、新型コロナウイルス感染症対策本部にて対応しているワクチン接種に関する問い合わせについて、対応困難な専門的な相談等に対する体制の確保のため、外部委託等を含め、予め検討及び準備を進めており、その委託先として本会薬事情報センターを想定している。今後は医師会等の関係団体と連携を取りながら対応していく。

- (14) 令和2年度第2回災害対策委員会 1月28日(木) 県薬 〈資料配布〉
(吉田理事)

次年度の事業計画の確認、九州山口薬剤師会「災害対策協議会」の回答の確認を行った。新型コロナワクチンの優先接種では、全保険薬局に確認を行ったところ、約2,500名の方が希望していることが分かった。また、日本薬剤師会からコロナワクチンの予防接種の実施に係る協力体制の構築について通知が出ている。同通知には薬剤師会・薬剤師等として協力が想定される業務が記載されており、今後は県や自治体からも同様の依頼が来ることが想定されるため、事前に協力薬剤師を募る。

- (15) 令和2年度第2回会営薬局移転推進特別委員会 1月29日(金) 県薬 〈資料配布〉
前記協議事項(2)(3)にて報告。

- (16) 令和2年度第1回日本薬剤師会九州ブロック会議 1月30日(土) WEB 〈資料配布〉
(亀谷会長)

薬剤師会を巡る最近の課題、新型コロナウイルス感染症への対応、改正医薬品医療機器法の施行、医療に係るICTの動向について協議した。

(17) 令和2年度第3回九州山口各県薬代表者会議

2月4日(木) WEB 〈資料配布〉

(亀谷会長)

日薬の最近の動向について、令和3年度会費分担について、第54回日本薬剤師会学術大会準備状況について協議した。また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止になった第80回九州山口薬学大会にかかった会場キャンセル料等の費用を、九州各県薬剤師会で負担することになった。

(18) 九州ブロック日薬代議員予備会議

2月4日(木) WEB 〈資料配布〉

(亀谷会長)

第97回日本薬剤師会臨時総会のブロック代表質問を沖縄県が担当することになっている。各県薬剤師会からあがった質問を2つに絞り質問することになった。

(19) 2021年版アンチ・ドーピング研修会

2月4日(木) 沖縄県スポーツ協会 〈資料配布〉

(笠原理事)

薬事情報センターの吉田典子氏と講演を行った。「沖縄県アンチ・ドーピング」とネット検索すると講演の様子が視聴できる。

(20) 令和3年度薬学生実務実習受入薬局指導薬剤師事前説明会

2月4日(木) 県薬 〈資料配布〉

(佐藤常務理事)

令和2年2月22日から令和3年度第1期がスタートする。それに伴い、コアカリキュラムにおける実務実習の事前説明会、年度スケジュール、サポート体制、トラブル対応等について確認を行った。また、今回は3期に分けて計56名の実習を行う予定である。

(21) 令和2年度薬事情報センター実務担当者等研修会

2月5日(金) 県薬 〈資料配布〉

(中尾理事)

薬事情報センターの吉田典子氏が参加した。主に新型コロナウイルス感染症に関する研修会であったと配布資料のように報告を受けている。

(22) 令和2年度第4回沖縄県がん診療連携協議会

2月5日(金) WEB 〈資料配布〉

(亀谷会長)

がん緩和ケアについて、医師や緩和ケア認定看護師の役割や人口10万人あたりの員数について示されていたが薬剤師については調査中となっていた。本県における薬剤師のデータを示し、認定薬剤師養成にかかる行政の力の入れ方について検討していただきたい旨伝えた。

(23) 令和2年度第2回財務委員会

2月5日(金) 県薬 〈資料配布〉

(川満理事)

令和2年度上期監事監査は、神谷朝雄・江夏京子両監事により滞りなく監査が行われ、特に問題無く終了した。また、次年度の会費については引き続き同じ基準に則って徴収することで決議された。

- (24) 令和2年度学校薬剤師九州ブロック連絡会議 2月6日(土) WEB 〈資料配布〉
(知名理事)

毎年開催している会議であり、各九州山口薬剤師会から協議事項を提出し、それに対して各県薬剤師会の状況等を共有している。本会からは、学校環境衛生検査全項目実施に向けての予算化について議題提出した。

- (25) 実務実習指導薬剤師養成・更新講習会 2月7日(日) 県薬 〈資料配布〉
(佐藤常務理事)

養成講習に15名、更新講習に6名が参加した。養成講習会の後にワークショップへの参加確認をしたところ、ほとんどが参加の意向を示した。今年度は8名の枠があり、選定して参加していただく。

- (26) 令和2年度第2回医療安全対策委員会 2月9日(火) 県薬 〈資料配布〉
(中尾理事)

今年度のDEM事業にご協力いただきたい。また、2月21日に開催の令和2年度医療安全講習会には著名な亀井美和子氏の特別講演を設けているのでぜひご参加いただきたい。

- (27) 社会保険診療報酬支払基金幹事会 〈資料配布〉
(亀谷会長) 2月10日(水) 社会保険診療報酬支払基金沖縄支部

毎月開催されている会である。今回も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面議決であった。

- (28) 令和2年度薬局ビジョン実現に向けた 2月11日(木) WEB 〈資料配布〉
薬剤師のかかりつけ機能強化事業「次世代薬剤師指導者研修会」
(西川常務理事)

今年で4回目となる研修会である。「薬機法改正に全ての薬局が対応できるように」と山本信夫日本薬剤師会会長の冒頭の挨拶で始まり、次第に沿って講義1～4までが行われ、その後グループワークを行った。本会から私の他に、保険薬局から玉城武範氏(ミドリ薬局美里店)と病院薬剤師として鈴木毅氏(琉球大学病院)が参加した。

- (29) 令和3年度各種委員会・部会事業計画案の提出について 〈資料配布〉
(大城次長)

全ての委員会・部会から事業計画が提出されたが、改めて訂正等が無いかご確認いただきたい。

- (30) 2021・2022年度代議員選挙立候補者について 〈資料配布〉
(大城次長)

代議員選挙について、2月12日の立候補届出締切日までに定数51名中50名から届出があった。2月22日の立候補辞退締切まで辞退届出が無ければ、3月12日の選挙期日を待って、選挙管理委員会委員長名にて3月15日に選挙結果の告示(50名当選の告示)をする予定である。

(31) 2021・2022年度予備代議員について

〈資料配布〉

(大城次長)

予備代議員の選出は、選挙ではないため、総会（3月開催の臨時総会）において選任されることになっている。未だ選出していない選挙区においては、3月理事会までに選出していただきたい。

報 告（薬連）

(1) 日本薬剤師連盟九州ブロック協議会

1月30日(土) WEB 〈資料配布〉

(亀谷会長)

次期参議院議員通常選挙において、神谷まさゆき氏の活動をいかに効率よく行っていくかを協議した。

(2) 西銘恒三郎衆議院議員訪問

2月5日(金) パシフィックホテル沖縄

(亀谷会長)

県内薬学部創設および薬剤師の人材育成について情報交換を行った。

(3) その他

〈資料配布〉

(大城次長)

来年7月予定の参議院議員選挙において、「神谷まさゆき氏」を当選に導くための手始めとして、非常に大事な支援者名簿の収集を始める。第25回参議院議員通常選挙における本田顕子選挙では、日本薬剤師会会員に占める紹介者率が上昇した。紹介者数を増やすことは得票を増やすことに繋がる。「紹介者数と得票数」「支援者数と得票数」には強い相関が見られ、組織選挙が行われたと推測できる。特に、「支援者数と得票数」の相関係数は0.9122となり、支援者名簿が得票を得るための「鍵」になっていることが証明された。日本薬剤師連盟の選挙結果解析をみても、①紹介者数を増やすことが得票を増やすことになること、②支援者名簿の獲得が得票を増やすための「鍵」になること、③名簿収集の期限は告示前日までとすべきであること、などが明確になった。以上を鑑み、紹介者・支援者名簿の収集活動は、非常に重要な活動である。

今回配布の記載用紙である紹介者用名簿（オレンジ色）は、薬局・薬店や薬剤師会事務局等に配布し、5月末日迄に提出していただく。未提出薬局には6月以後再案内する。最初の欄に施設名を記入し、開設者、勤務する薬剤師（会員・非会員不問）、事務員等の氏名を記載していただく。この名簿に記載した者が紹介者となり、6月以後に配布する支援者用名簿（グリーン色）の最初の欄（紹介者欄）に紹介者として印字されてくる。この支援者用名簿6月以後に配布し、令和4年6月に予定される告示日の前日まで収集活動を行っていく。紹介者（紹介者用名簿に氏名を記載した方）のほか、病院診療所薬剤師や卸勤務薬剤師等にも配布する。紹介者は、家族および親類・友人等に記載してもらっていただく。

神谷まさゆき氏は、既に全国薬局訪問（現在はwebで対応）を開始し、沖縄県には11月30日から12月3日の4日間で県内の薬局を訪問する予定となっている。それまでに多くの支援者名簿を収集していく。それには、会員のみならず、薬局・薬店等スタッフ全員の協力が必要である。

令和3年1月

- 4月○令和2年度第11回幹事会 県薬研修室
- 6水○社会保険診療報酬支払基金幹事会 社会保険診療報酬支払基金沖縄支部 亀谷会長
- 9土○令和2年度第10回理事会 県薬研修室
- 10日○**令和2年度健康サポートのための多職種連携研修会（研修会A）および薬剤師の対応研修会（研修会B）** 県薬ホール 宮里治（沖縄県保健医療部健康長寿課課長）、佐久川碧（沖縄県栄養士会管理栄養士）、小嶺衛（沖縄県理学療法士協会会長）、笠原大吾・西川裕・盛本直也・松本圭吾・上原卓朗（健康サポート薬局推進委員会）
- 10日○沖縄県地域活性・課題解決アドバンスプログラム（11日迄） 県薬研修室、他 亀谷会長、中村副会長、佐藤・宮城両常務理事、川満理事、姫野さやか（沖縄県病院薬剤師会）、下地睦夫（宮古地区薬剤師会会長）、渡真利国浩（沖縄県立宮古病院薬局長）
- 11月○第2回腎臓病薬物療法セミナー（WEB） 県薬ホール
- 12火○令和2年度第2回沖縄県後期高齢者医療制度運営懇話会 沖縄県後期高齢者医療広域連合 佐藤常務理事
- 13水○令和2年度第3回日本薬剤師会都道府県会長協議会 日本薬剤師会 亀谷会長
- 14木○第1回ぎのわがねこ地域薬学ケア協働・連携懇話会 沖縄病院 主催：国立病院機構沖縄病院
- 17日○**令和2年度薬剤師認知症対応力向上研修会** 県薬ホール・研修室 講師：中尾理事
- 18月○令和2年度第2回医療保険委員会 県薬研修室
- 18月○令和2年度第5回広報委員会 県薬ホール
- 19火○管理者会議 県薬研修室 亀谷会長、吉田典子（薬事情報センター）、城間・與世平・宮里管理薬剤師、大城次長、小泉試験検査センター主任検査技師、當山・玉寄両主任
- 19火○かかりつけ薬剤師の「地域活動」に関する打ち合わせ 県薬会議室 笠原・中尾・盛本各理事
- 21木○令和2年度新規個別指導 那覇第一地方合同庁舎 喜屋武芳美（医療保険委員会）
- 21木○沖縄県保健医療部新型コロナウイルス感染症対策本部ワクチン対策チームより来訪 県薬研修室 吉田典子（薬事情報センター）、大城次長、長嶺主任
- 22金○令和2年度第2回会営薬局委員会 県薬ホール
- 24日○**令和2年度女性薬剤師部会第31回漢方講座** 県薬ホール 講師：盛本直也（漢方みず堂 ヴァインドラッグあがり浜薬局）
- 25月○令和2年度第1回薬事情報センター委員会 県薬研修室 吉田典子（薬事情報センター）
- 27水○在宅診療における麻薬の管理と適正使用を考える WEB配信 主催：第一三共株式会社
- 28木○令和2年度新規個別指導 那覇第一地方合同庁舎 照屋林一郎（医療保険委員会）
- 28木○沖縄県U・Iターンガイダンス事前打合せ会議 県薬会議室 吉本尚志（沖縄県保健医療部衛生薬務課）、大城次長、沖縄県病院事業局職員、沖縄県立病院薬剤師
- 28木○「認定薬剤師育成支援事業」に関する打ち合わせ 県薬会議室 吉本尚志（沖縄県保健医療部衛生薬務課）、大城次長、事務局金城
- 28木○令和2年度第2回災害対策委員会 県薬研修室
- 29金○令和2年度第2回会営薬局移転推進特別委員会 県薬研修室
- 30土○令和2年度第1回日本薬剤師会九州ブロック会議 WEB会議 亀谷会長

令和3年2月

- 1月○令和2年度第12回幹事会 県薬研修室
- 4木○令和2年度新規個別指導 那覇第一地方合同庁舎 喜屋武芳美（医療保険委員会）
- 4木○令和2年度第3回九州山口各県薬代表者会議 WEB会議 亀谷会長
- 4木○九州ブロック日薬代議員予備会議 WEB会議 亀谷会長
- 4木○2021年版アンチ・ドーピング研修会 沖縄県スポーツ協会 笠原理事、吉田典子（薬事情報センター）
- 4木○令和3年度薬学生実務実習受入薬局指導薬剤師事前説明会 県薬ホール 佐藤・宮城両常務理事
- 5金○日本薬剤師会令和2年度薬事情報センター実務担当者等研修会 WEB配信 吉田典子（薬事情報センター）
- 5金○令和2年度第4回沖縄県がん診療連携協議会 WEB会議 亀谷会長
- 5金○沖縄県薬剤師リモートセミナー WEB配信 主催：小野薬品工業株式会社
- 5金○令和2年度第2回財務委員会 県薬ホール
- 6土○令和2年度学校薬剤師九州ブロック連絡会議 WEB会議 亀谷会長、知名理事、村田成夫（学校薬剤師部会長）
- 7日○**実務実習指導薬剤師養成・更新講習会** 県薬ホール 佐藤常務理事、福地健治（薬学生実務実習受入委員会）
- 9火○沖縄タイムス記者来訪 県薬会長室 亀谷会長、佐藤常務理事、大城次長
- 9火○令和2年度第2回医療安全対策委員会 県薬研修室
- 10水○社会保険診療報酬支払基金幹事会 書面開催 亀谷会長
- 11木○第3回腎臓病薬物療法セミナー WEB配信
- 11木○令和2年度薬局ビジョン実現に向けた薬剤師のかかりつけ機能強化事業「次世代薬剤師指導者研修会」 WEB配信 西川常務理事、鈴木毅（医薬分業対策委員会）、玉城武範（ミドリ薬局美里店）
- 13土○令和2年度第11回理事会 県薬研修室
- 14日○**薬剤師の臨床判断に基づく要指導医薬品・一般用医薬品の適正販売等に関する研修会** 県薬研修室・ホール 講師：笠原・盛本両理事
- 16火○沖縄県保健医療部新型コロナウイルス感染症対策本部 ワクチン対策チームより来訪 県薬研修室 亀谷会長、吉田典子（薬事情報センター）、大城次長、長嶺主任
- 17水○沖縄県U・Iターンガイダンス（徳島文理大学薬学生向け） 県薬研修室 吉本尚志（沖縄県保健医療部衛生薬務課）、大城次長、沖縄県病院事業局職員、沖縄県立病院薬剤師
- 18木○日本薬剤師会薬事関連情報評価・調査企画委員会の予定事業に関する説明会 県薬研修室
- 18木○沖縄県による新型コロナワクチン市町村説明会 WEB配信 亀谷会長、吉田典子（薬事情報センター）、大城次長、長嶺主任
- 21日○**令和2年度第2回地区薬剤師会会長会議** 県薬研修室
- 21日○**令和2年度医療安全講習会** 県薬ホール 亀谷会長、司会：中尾理事
- 22月○令和3年度第1期薬局実務実習オリエンテーション 県薬ホール 佐藤常務理事、古謝理事、兼城崇（薬学生実務実習受入委員会）
- 22月○令和2年度小児救急電話相談（#8000）連絡協議会 沖縄県医師会 吉田理事
- 25木○令和2年度日本薬剤師会学校薬剤師部会全国担当者会議 WEB会議 知名理事、村田成夫（学校薬剤師部会長）

- 25木○中部地区医師会糖尿病医療ネットワーク委員会推奨講演会 WEB配信 主催：MSD株式会社
27土○令和2年度薬局実務実習受入に関する九州山口地区ブロック会議 WEB会議 亀谷会長、佐藤常務理事
27土○令和2年度九州山口薬剤師会災害対策協議会 WEB会議 吉田理事
27土○令和2年度九州山口薬剤師会医療保険協議会 WEB会議 宮城常務理事
27土○令和2年度九州山口薬剤師会在宅医療推進協議会 WEB会議 笠原・盛本両理事
28日○**令和2年度薬剤師継続学習通信教育講座スクーリング（女性薬剤師部会）** 県薬研修室・ホール
28日○令和2年度第11回学校薬剤師部会役員会 WEB会議

令和3年3月

- 1月○令和2年度第13回幹事会 県薬会議室
2火○沖縄県国民健康保険課来訪 県薬研修室 亀谷会長、西川常務理事、盛本理事、大城次長、長嶺主任
3水○第14回美ら島薬学ネットワーク WEB 共催：持田製薬株式会社
3水○**令和2年度会営薬局うえはらの無菌調剤室を共同利用するための説明会** 会営薬局うえはら
4木○第2回地域医療支援病院運営委員会 友愛医療センター 亀谷会長
6土○日本薬剤師会第97回臨時総会 ホテルイースト21東京 亀谷会長（現地参加）、川満理事（書面表決）
10水○社会保険診療報酬支払基金幹事会 書面開催 亀谷会長
10水○**令和2年度第1回健康サポート薬局県内100軒実現に向けての研修会** 県薬ホール及びWEB
11木○沖縄県医療事故調査等支援団体連絡協議会・沖縄県医師会医療事故調査支援委員会合同会議 沖縄県医師会 亀谷会長、中尾理事、吉田典子（薬事情報センター）
11木○QABテレビ放送（がんじゅうタイム） 出演：亀谷会長
13土○OTVテレビ放送（がんじゅうタイム） 出演：亀谷会長
13土○令和2年度第12回理事会 県薬研修室
14日○**令和2年度自殺予防対策事業ゲートキーパー（薬剤師）スキルアップ研修会** 県薬ホール
14日○RBCテレビ放送（がんじゅうタイム） 出演：亀谷会長
16火○沖縄県交通遺児育成会募金贈呈式 琉球新報社 亀谷会長、大城次長
16火○沖縄県新型コロナウイルスワクチン相談業務のキックオフミーティング 県薬研修室
17水○令和2年度第4回沖縄県後期高齢者福祉対策推進協議会 八汐荘 佐藤常務理事
18木○**令和2年度第2回健康サポート薬局県内100軒実現に向けての研修会** 県薬ホール 講師：盛本理事
19金○令和2年度日本薬剤師会研究倫理に関する全国会議 WEB配信 潮平英郎（学術研修委員会委員長）、事務局金城
21日○令和2年度第11回学校薬剤師部会役員会 県薬部会室及びWEB
21日○**沖縄県薬剤師会第83回臨時総会** 県薬ホール
21日○第2期薬剤師のための緩和ケア研修会：第6回（Web） WEB 主催：福岡県薬剤師会
23火○星薬科大学来訪 県薬会議室 亀谷会長、佐藤常務理事
24水○社会保険診療報酬支払基金沖縄支部来訪 県薬会長室 亀谷会長
25木○令和2年度第4回薬学生実務実習受入委員会 県薬研修室

会 務 報 告

- 26金 ○ 令和2年度第2回沖縄県保険者協議会 WEB 上原理事
- 26金 ○ 令和2年度第2回スポーツ医・科学委員会 WEB 笠原理事、吉田典子（薬事情報センター）
- 26金 ○ 第22回OCEAN研究会 WEB 共催：大日本住友製薬株式会社
- 29月 ○ 令和2年度九州厚生局沖縄事務所との連絡会議 県薬会議室（医療保険委員会）宮城常務理事、吉田理事、荒井千春、喜屋武芳美、川上善久、長嶺主任
- 29月 ○ 血栓症マネジメント WEB 共催：バイエル薬品株式会社
- 29月 ○ 令和2年度第6回広報委員会 県薬研修室
- 30火 ○ 沖縄県保健医療部衛生薬務課来訪 県薬会長室 亀谷会長、新城光雄課長、中村章弘班長、大城次長
- 30火 ○ 心不全重症化予防を考える会 P's SQUARE及びWEB 共催：アストラゼネカ株式会社
- 30火 ○ 令和2年度第3回健康サポート薬局推進委員会 県薬研修室
- 31水 ○ 合併症に配慮した糖尿病治療を考える会 WEB 共催：小野薬品工業株式会社

沖縄県薬剤師連盟

令和3年1月

- 5火 ○ 小野寺五典衆議院議員他来訪 県薬会長室 小野寺五典衆議院議員、國場幸之助衆議院議員、西銘恒三郎衆議院議員、照屋守之県議会議員、亀谷会長、大城次長
- 6水 ○ 第4回選挙対策チーム会議 県薬会議室 亀谷会長、大城次長、長嶺・玉寄両主任
- 9土 ○ 自由民主党第2選挙区支部「新春の集い」 ラグナガーデンホテル 亀谷会長
- 30土 ○ 日本薬剤師連盟九州ブロック協議会 WEB会議 亀谷会長、石川幹事長、新垣紀子総務、大城次長

令和3年2月

- 1月 ○ 日本薬剤師連盟 神谷まさゆき後援会「名簿管理システム」説明会 WEB会議 大城次長、長嶺・玉寄両主任
- 2火 ○ 第5回選挙対策チーム会議 県薬会議室 亀谷会長、大城次長、長嶺・玉寄両主任
- 5金 ○ 西銘恒三郎衆議院議員を訪問 パシフィックホテル沖縄 亀谷会長、大城次長
- 5金 ○ 令和2年度日本薬剤師連盟組織強化ブロック会議 福岡県薬剤師会 石川幹事長
- 14日 ○ 沖縄県薬剤師連盟役員会議 県薬研修室
- 14日 ○ 沖縄県薬剤師連盟令和2年度若手薬剤師フォーラム 県薬ホール・ 講師：神谷政幸（日本薬剤師連盟副会長）、原口亨（日本薬剤師連盟常任総務）
- 26金 ○ 組織強化担当役員全国会議 WEB会議 石川幹事長
- 28日 ○ 自由民主党沖縄県選挙区支部長との意見交換会 県薬会長室・会議室 國場幸之助第1選挙区支部長、宮崎政久第2選挙区支部長、島尻安伊子第3選挙区支部長、西銘恒三郎第4選挙区支部長、亀谷会長、佐藤常務理事、前濱・盛本・吉田各理事、江夏監事、大城次長

令和3年3月

- 2火 ○ 島尻安伊子氏来訪 県薬会長室 亀谷会長、大城次長
- 9火 ○ 神谷まさゆき中央後援会主催：広報活動についての説明会（幹事長向け）WEB 石川幹事長
- 19金 ○ 神谷まさゆき中央後援会主催：広報活動についての説明会（事務職員向け）WEB 大城次長、玉寄主任、長嶺主任
- 24水 ○ 日本薬剤師連盟令和2年度定時評議員会 書面表決 亀谷会長

国保・社保

令和3年度 レセプト受付日と診療報酬等支払日（国保）

	レセプト受付協力日	レセプト受付締切日	診療報酬等の支払日
令和3年 4月	9日(金)	10日(土) *開所	20日(火)
令和3年 5月	7日(金)	10日(月)	20日(木)
令和3年 6月	9日(水)	10日(木)	21日(月)
令和3年 7月	9日(金)	10日(土) *開所	20日(火)
令和3年 8月	6日(金)	10日(火)	20日(金)
令和3年 9月	9日(木)	10日(金)	21日(火)
令和3年 10月	8日(金)	10日(日) *開所	20日(水)
令和3年 11月	9日(火)	10日(水)	22日(月)
令和3年 12月	9日(木)	10日(金)	20日(月)
令和4年 1月	7日(金)	10日(月) *開所	20日(木)
令和4年 2月	9日(水)	10日(木)	21日(月)
令和4年 3月	9日(水)	10日(木)	22日(火)

※ レセプトの受付締切は、10日(必着)です。(請求省令により毎月10日までと定められています)

※ 受付窓口は、午前9時から午後5時までです。

※ 12月は早期提出に御協力をお願いします。

※ 令和3年10月9日(土)及び令和4年1月8日(土)・9日(日)は閉所となり、支払基金の受付日程とは異なりますのでご注意ください。

郵便等により送付される場合は、安全確実な方法にて毎月1～10日必着をお願いします。

お問合せ先
 沖縄県国民健康保険団体連合会
 TEL 098-863-2473 (審査課)
 098-862-2063 (審査管理課)

国保・社保

**令和3年度診療（調剤）報酬請求書等受付
及び返戻レセプト等発送予定日について
（支払基金）**

令和3年4月～令和4年3月における診療（調剤）報酬請求書等の受付締切日等についてお知らせいたします。

なお、診療（調剤）報酬請求書等の提出については、請求省令により「診療翌月の10日まで」と定められておりますのでご留意願います。

受付月	受付締切日	備 考	返戻等 発送予定日
令和3年 4月	10日（土）	10日（土）は開所しています。	4/5（月）
5月	10日（月）		4/30（金）
6月	10日（木）		6/4（金）
7月	10日（土）	10日（土）は開所しています。	7/5（月）
8月	10日（火）		8/3（火）
9月	10日（金）		9/3（金）
10月	10日（日）	9日（土）・10（日）は開所しています。	10/4（月）
11月	10日（水）		11/4（木）
12月	10日（金）		12/6（月）
令和4年 1月	10日（月・祝）	8日（土）・10日（月・祝）は開所しています。	1/4（火）
2月	10日（木）		2/4（金）
3月	10日（木）		3/4（金）

※ 受付時間は9:00～17:30までとしておりますので、ご協力の程よろしく願います。

医療保険

調剤報酬請求業務Q&A

沖縄県薬剤師会医療保険委員会では、適切な調剤報酬請求業務に努めて頂くよう、審査支払機関から査定や返戻の多い事例を本会報誌にシリーズで掲載しています。

なお、調剤報酬請求業務について、ご質問がある場合には次頁掲載の質問票をご利用のうえ、FAXまたはメールにて本会事務局へご提出下さいますようお願い致します。

事例1

処方	調剤数量	調剤料	加算料
[外用] 【調子が悪い時】 ヒアレイン点眼液0.1% 5m L 3瓶 両眼	1	10	
[外用] 1日4回 両眼 ティアバランス点眼液0.3% 5m L 3瓶	1	10	

用法が異なるということで摘要コメント「その他」を付けて請求された事例です。
先発品と後発品の組み合わせで別算定での請求とされています。
どちらも同一有効成分で同一剤形であることから1剤のみ算定となります。

事例2

処方	調剤数量	調剤料	加算料
[外用] 発熱時 挿入 アセトアミノフェン坐剤小児用200m g 10個	1	10	
[外用] 発熱時 挿入 アセトアミノフェン坐剤小児用100m g 10個	1	10	

同一用法で別力価の薬剤をそれぞれ算定されている事例です。
こちらも同一有効成分で同一剤形であることから、使用状況に関わらず1剤での算定となります。

調剤報酬請求業務質問票

薬局名		電話番号	
担当者		メールアドレス	
【ご質問事項】			

質問のご提出は、沖縄県薬剤師会事務局へできるだけメールでお願いします。

質問受付メールアドレス : nagamine@okiyaku.or.jp

FAX 返信先 : 098-963-8932



誌上ギャラリー（裏表紙）について

上 「空一面のオーロラ」 photo by 成川玲子（有限会社成和興産） 撮影地：アイスランド

左下 「モンテ デイ カプチャーニからアントネッリアーナの塔を望む」

photo by 廣川直子（ハイジア薬局） 撮影地：北イタリア トリノ <2018年撮影>

トリノ中心地から徒歩40分くらいのところにある小高い丘？名前は“モンテ”（山ですが、登山というほどではありません。）そこからトリノ市街が一望でき、空気が澄んでいればその向こう側に素晴らしいアルプス山脈が見られるはずなのですが、霞んでいます。。残念。でも、市街地の眺めは素晴らしいかったです！てくてく登って正解でした。

右中 「Beautifully lady」 photo by 伊集智英（くはら薬局） 撮影地：南城市 知念
蘭は優雅で美しいですね。

右下 「桜の杜」 photo by 宮本直樹（クララ薬局ティエラ） 撮影地：名護城（名護市）

編 集 後 記

2020年12月上旬、英国でコロナワクチン接種が始まり、英国から遅れること二ヶ月、日本で、2月17日からファイザー社の新型コロナワクチンの医療従事者への接種が始まった。データから世界の状況を見てみると、接種完了人数は、人口100人あたりではイスラエルが52.6人で、すでに2人に1人以上が接種を終えた計算になるとのこと。日本はというと0.1人でまだまだお寒い状況である。国・地域別では米国、中国の接種回数が出出し、2カ国で全体の45.3%を占める。ワクチンの契約状況をみるとファイザーが断然一位かと思っていたが、そうではなく英アストラゼネカが24.1億回で最大のシェアを持ち、少なくとも44カ国・地域と契約しているらしい。1回接種の利便性で注目度が高いJ&Jのワクチンも契約数を増やしている。沖縄の医療機関では二回目の接種が始まるようだが、ある医療機関では、接種した人のかなりの割合で、全身のだるさ、接種部位の腫脹、痛みで腕が上がらないなど副反応が出ているらしい。中には仕事を休む人もいたとのこと。二回目は一回目より強い副反応が出る予想とのこと、覚悟して接種に臨むとのことであった。（ピアナ）

県が独自に出していた緊急事態宣言が解除された3月1日以降、コロナ感染者がリバウンドのごとく急激に拡大しつつある傾向にある。皆ずっと我慢してきた状況の中、限界のリミッターが外れてしまったのであろうか。気持ちは分からないでもないが、重要なのは誰かがではなく、各々が真剣に向き合わないといけないということだ。取り返しのつかない状況に陥ってしまうのだけは絶対に避けたいものである。皆さん、家で楽しみながら自粛期間を過ごす方法はいくらかもあるかと思う。あるいは、密集を避けながら気分転換で外出するのもいいのではないだろうか。私の場合、飲み会の回数が激減したおかげで、嫁から激怒される機会もだいぶ減ったのが最大のメリットである。家族と過ごす時間が増えたのも嬉しい限りだ。この辛い時期を乗り越えて、早く以前の状態に戻れることを強く願いたい。（ごり）



コロナ感染第4波といわれ、飲食業への時短要請など、まだまだ予断を許さない状況である。県下の薬局チェーンでも新型コロナウイルスPCR唾液検査受託した記事も大きく報道され、県薬では沖縄県からのコロナ感染症相談窓口事業を受けている。さて、広島市ではワクチン接種会場で薬剤師がコロナワクチンの注射器への充填業務にあたりと、メディアにも研修の様子が取り上げられた。沖縄県でも100名／日を超える感染者の報告があるなか、東京の友人が来沖した。ちょうど緊急事態宣言が解除になり予約した旅行である。こんな状態なので、ホテルロビーでお土産を渡すだけで別れた。別れ際、「食事と一緒にできないなんて、こんなこと、後になったら笑い話よね」といって笑った友人。医療と関係がないと、そんな感覚なのかもしれない。(TOMO)

近頃、無趣味な自分に気付いた。このコロナ禍で、外出もせず、仕事と自宅とを行き来していると日々潤いが欠けていることがわかる。そんな中、広報委員会で本誌の裏表紙に載せる写真を見て、自分も一つ撮ってみようと思いつく。思いつくがそこから先に中々進まない。撮った写真が紙面を飾れば意欲が出るかも…。紙面を飾れば…。広報委員会の皆さん、どうぞよろしく願いいたします。(松)

小林化工事件に続き、日医工にも業務停止命令が出ました。個人的には先発・ジェネリックの問題ではなく企業の体制や人為的な問題だと考えていますが、一部の患者さんのジェネリックへの信頼が揺らいでいることも事実です。私が勤めている薬局でも先発品に戻したいとの問い合わせが数件ありました。患者さんの不安を取り除くことも薬剤師の大切な仕事なので、しっかりと正確な情報を把握して一人ひとり丁寧に説明していきたいと思えます。(ハンバーグ)

新年度が始まり、春の温かさを乗り越してもはや暑さを感じています。1年前の4月には第1回目の緊急事態宣言が発令されました。1年経てばもとの生活に戻れるだろうと思いましたが、状況はあまり変わらずといったところです。今年の4月には好きなアーティストのライブの予定がありましたが延期になってしまいました。中止にならなかつただけよかったとは思いつつ、去年から楽しみにしていたイベントだけにショックが大きいです。今年のライブの開催は厳しいかもしれませんが、来年こそは、、、とコロナ禍が終息するよう願っています。(ちゃげ)

沖縄県薬剤師会

〒901-1105 沖縄県島尻郡南風原町字新川218-10 <http://www.okiyaku.or.jp> e-mail: kouhou@okiyaku.or.jp
 ■事務局 TEL 098-963-8930 FAX 098-963-8932 ■薬事情報センター TEL 098-963-8931 FAX 098-963-8937
 ■会営薬局医療センター前 TEL 098-963-8940 FAX 098-963-8946 ■試験検査センター TEL 098-963-8934 FAX 098-963-8932
 ■会営薬局うえはら 〒903-0125 沖縄県中頭郡西原町字上原241-1 TEL 098-946-1185 FAX 098-944-0567
 ■会営薬局とよみ 〒901-0244 沖縄県豊見城市字宜保271-1 TEL 098-856-4160 FAX 098-856-3415

おきなわ薬剤師会報

第307号 令和3年4月7日発行

◇次号は、令和3年7月中旬発行予定です。

発行人：沖縄県薬剤師会 会長 亀谷浩昌

編集：広報委員会 委員長／宮城敦子 委員／前濱朋子・池間記世・石川恵市・伊敷松太郎・伊差川サヤカ
 運天芳生・宮本直樹 久米島通信員／山城晶 宮古地区通信員／前里由紀子
 八重山地区通信員／坏徳子 事務局／大城喜仁

印刷：株式会社 東洋企画印刷



誌上ギャラリー（会員作品）
お気軽にご投稿下さい。

